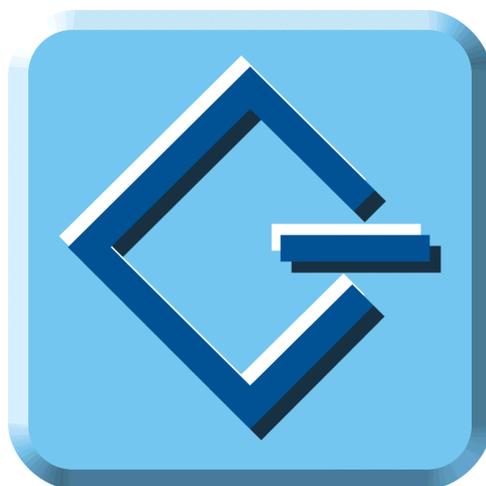




Ultra Wide SCSI PCI BOARD

REX-PCI 32V

For DOS/V
ユーザーズマニュアル



1999年 12月
第 1.0 版

目次

ユーザーズマニュアル

はじめに	1
ご注意	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
本文中の記号説明	2
製品の特徴	4
対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)	5
梱包品について	6
お問い合わせをする前に	7
製品に関するお問い合わせ	8
1 . REX-PCI32 について	9
添付のソフトウェアについて	9
制限	9
空きの IRQ を確認する	10
Windows 98/95 の場合	10
Windows NT の場合	11
DOS/Windows 3.1 システムの場合	12
2 . SCSI ボードの取り付け	13
接続できる台数とケーブルの長さ	16
ケーブル接続例	17
3 . パソコンの PCI バスの確認・設定	21
PCI バスの確認	21
4 . SCSI コンフィギュレーションの設定	23
SCSI-BIOS メニュー	23
5 . Windows 98/95 インストール済みにて使用する	29
Windows 98 ミニポートドライバのインストール	29
Windows 95 ミニポートドライバのインストール	33
Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認	35
SCSI ユーティリティのインストール	38
SCSI 機器の確認	39
スワップファイルを SCSI ハードディスクに	40
6 . Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて	41
REXFMT95 - Windows 98/95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ	41
WinSSC - Windows 98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ	43

目次

7 . 起動ディスク (DOS)での使用について	45
Windows 98 起動ディスクの編集	45
Windows 95 起動ディスクの編集	46
Drive Image 起動ディスクの編集	47
SCSI CD-ROM をアクセスする	48
SCSI DVD-RAM をアクセスする	48
ASP950.SYS のパラメタ	49
REXCD.SYS のパラメタ	49
REXDISK.SYS (REXDISKW.SYS) のパラメタ	51
8 . Windows NT インストール済みにて使用する	55
Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加	55
ドライバ起動の確認	57
ドライバの有効/無効の切り替え	59
スワップファイルを SCSI ハードディスクに	60
9 . DOS/Windows 3.1 で使用する	61
DOS システムのインストール	61
CONFIG.SYS の書き換え	62
AUTOEXEC.BAT の書き換え	62
Windows 3.1 での ASPI モジュールの組み込み方法	62
10 . DOS 用 SCSI ユーティリティについて	63
REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド	63
書式 1 - ハードディスクの初期化	63
書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化	64
書式 3 - 区画の確保	64
書式 4 - 区画の削除	64
書式 5 - 区画属性の変更	64
SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド	64
11 . Windows 2000 での REX-PCI32 のインストール	66
使用上での制限	66
Initio SCSI Host Adapter としての認識	66
ドライバインストールの確認	67
12 . 仕様について	71
REXPCI32 SCSI ・ BUS 仕様	71
REXPCI32 環境仕様	71
J1 接続コネクタ仕様	72

目次

13 . トラブルシューティング	73
オペレーティングシステム共通トラブル	73
SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合	73
IDE の CD-ROM が使えない場合	73
FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合	74
SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合	74
REX-PCI32 を装着するとシステム起動が遅くなる場合	74
PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合	75
Windows98/95 のトラブル	76
REX-PCI32 のドライバを完全削除するには	76
Windows 98 でドライバ更新する場合	78
Windows 95 でドライバ更新する場合	81
データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合	83
SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合	83
ドライバがインストールされていないとなる場合	83
全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合	84
その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合	84
その他のデバイスに PCI Bridge として登録される場合	84
PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合	84
SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	85
UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合	85
不明なデバイスが検出されると表示の場合	85
フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR,CDRW,DVD が認識されない	86
SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される	86
WindowsNT のトラブル	87
スキャナを検出できない場合	87
ドライブ名が割り当たらない場合	87
SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	87
MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合	88
DOS/Windows3.1 のトラブル	89
PD、Changer の一部が認識できない場合	89
「ASP950.SYS Installation Successful」と表示後ハングする場合	89

はじめに

このたびは REX-PCI32V Ultra Wide SCSI PCI ボードお買い上げ頂き誠にありがとうございます。今後もドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-PCI32Vの導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-PCI32Vを正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

なお、次ページからの「安全にお使いいただくためにはじめにお読みください」をまずお読みください。

本書では、特に断りのない限りREX-PCI32VのSCSI PCIボードをREX-PCI32と表記します。また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

REX-PCI32VとREX-PCI32の違いについて：

以前より販売していたREX-PCI32と本製品REX-PCI32Vのハードウェア上の違いはありません。

これらの違いはBIOSがサポートする機能および添付ソフトで以下のとおりです。

機能	REX-PCI32V	REX-PCI32
CDブートのサポート	あり	なし
NEC PC-9821サポートのBIOS	なし	あり
NEC PC-9821用ドライバ	なし	あり

ご注意

- ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- ・運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- ・本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・SmartSCSIとはInitio Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ASPIマネージャ、miniportドライバの著作権は、Initio Corporationにあります。
- ・MS-DOS、Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・“REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により、本商標の使用を認められています。
- ・本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本製品のハードウェアおよびソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザーズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味を理解してからお読みください。

本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



 分解禁止：発火のおそれがあります

ボードの分解や改造等は絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。



パソコン本体の電源（メイン電源）をオンのまま、REXPCI32 の抜き差しをしないでください。パソコン本体や REX-PCI32 が故障するおそれがあります。また、パソコンによってはフロントパネルスイッチでの電源オフではスタンバイやサスペンド状態になるだけでメイン電源がオフにならない場合がありますので、パソコン本体の取扱説明書でご確認ください。



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。
故障するおそれがあります。



ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与え誤動作することがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。



保管に関するご注意：

本製品を保管する場合、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

- ◆ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
- ◆ チリやほこり、湿気の多い場所
- ◆ 振動や衝撃の加わる場所

製品の特徴

- PCI ローカルバスインターフェース上で動作する Ultra Wide SCSI ボードです。
- 外部コネクタは、ハーフピッチ 50 ピン (Narrow) を採用して従来の SCSI 機器をそのまま接続可能です。
- パソコンとの転送は 32bit データバス、33MHz バスクロック、バスマスタ転送方式により最高 132MB/sec の転送を行います。
- Ultra Wide SCSI 機器との転送は同期転送で最高 40MB/sec (理論値) の転送を行います。
- 将来の BIOS アップグレードに備え、書き換え可能な Flash メモリを採用しています。
- SCSI 機器接続状態を自動検出、ターミネーション自動設定回路を採用しています。
- 高速化の技術でマルチタスク、タグキュー、マルチスレッド、スキップギャザー、ディスクコネクト/リコネクトをサポートしています。
- SCSI-BIOS メニューより、ハードディスク、MO の物理フォーマットをサポートしています。
- SCSI-BIOS は、REX-PCI32 に接続された CD-ROM からのブートをサポートしています。

対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は、PCIローカルバス2.0仕様以降のPCIスロットを装備しているPC/AT互換機、NEC PC98-NXパソコン（ 1 ）に対応しています。

また、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

オペレーティングシステム	DOS/Vパソコン	NEC PC98-NX
Windows 95	対応	対応
Windows 98	対応	対応
Windows NT4.0	対応	対応
DOS/Windows 3.1	対応	未対応 2

1 : NEC PC-9821シリーズには、対応していません。

2 : PC98-NX本体がDOS/Windows 3.1をサポートしていません。

ただし、Windows 98/95起動ディスクでの使用は可能です。

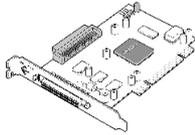
一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社ホームページ(<http://www.rexpccard.co.jp>)でご確認頂くか、弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

梱包品について

REXPC132には以下のものが梱包されています。

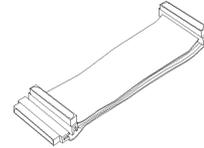
不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

PCI ボード



内蔵用 (UltraWide-68pin)

SCSI ケーブル(注 1)



Setup Disk 1 枚



ユーザズマニュアル



保証書(注 2)



(注1) SCSI ケーブルの長さは約 70cm です。

(注2) 保証書は必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

(注3) 内蔵用 SCSI ケーブル (Narrow-50 ピン)、外付け用 SCSI ケーブルおよび外付け用ターミネータは添付しておりません。
必要に応じてお買い求めください。

お問い合わせをする前に

Windows 98/95 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. REXPCI32 を装着するとパソコン起動時に、SCSI-BIOS の画面が表示されましたか？
詳細記載ページ(P21)を参照ください。

YES NO

2. 新しいハードウェアを見つけましたと表示されましたか？
詳細記載ページ(P29) (P33)を参照ください。

YES NO

3. ドライバインストールの確認で、RATOC REXPCI32 SCSI PCI Host Adapter と表示されましたか？
詳細記載ページ(P35)を参照ください。

YES NO

4. 2. で YES の場合、このデバイスは正常に動作していますと表示されていますか？
詳細記載ページ(P36)を参照ください。

YES NO

5. 3. で YES の場合、SCSI 機器確認ユーティリティ (P39) で接続してある SCSI 機器は表示されていますか？
詳細記載ページ(P39)を参照ください。

YES NO

Windows NT4.0 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. ドライバインストールの確認で、RATOC REX-PCI32 SCSI HOST Adapter と表示されましたか？
詳細記載ページ(P57)を参照ください。

YES NO

2. SCSI アダプタの RATOC REX-PCI32 SCSI HOST Adapter のもとに接続してある SCSI 機器が表示されていますか？
詳細記載ページ(P57)を参照ください。

YES NO

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社
サポートセンター
TEL 0120-033555(SCSI専用 Free Dial)
月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く
FAXでの受付は24時間行っております。
FAX 06-6633-3553
〒556-0012
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

インターネットのホームページでも受け付けております。

ラトックシステムのホームページ
<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor Station E
(SPCVE)
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。

また、インターネット、NIFTY Serve でのご質問時には、Setup Disk 内の quest.txt の書式をご利用ください。

ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

1. REX-PCI32 について

REX-PCI32VはUltra Wide SCSI PCI ホストアダプタボードです。パソコンにUltra Wide SCSI (68pin)のハードディスクや、Ultra SCSI(50pin)のハードディスクを接続するために使用します。

また、50pinSCSIケーブルを使用してMOドライブ、CD-R/RWドライブ、スキャナ等も接続して使用することが可能です。

添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスク (SetupDisk)には次のソフトウェアが含まれます。

[Windows 98/95 用]

- Windows 98/95 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPCI32.MPD)
- Windows 98/95 用インストーラ(SETUP.EXE)
- ハードディスク / 光磁気ディスク用フォーマッタ(REXFMT95.EXE) 1
- 接続 SCSI 機器確認ユーティリティ(WINSSC.EXE) 1

1 : ユーティリティのインストール(P38)を行わないと実行できません。

[Windows NT4.0 用]

- Windows NT4.0 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPCI32.SYS)

[DOS/Windows 3.1 用]

- DOS/V 用 ASPI マネージャ(ASP950.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 DISK ドライバ(REXDISK.SYS, REXDISKW.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 CD-ROM ドライバ(REXCD.SYS)
- Windows 3.1 用 16bit WinASPI (WINASPI.DLL, VASPIREX.386)

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内の README ファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

制限

- ・ SCSI ボードに複数の UltraWideSCSI および UltraSCSI 機器を接続する場合は、ケーブルの総延長が 1.5m を越えないようにしてください。
また、終端には必ずアクティブターミネータを接続してください。
- ・ パソコン本体の割り込み番号 (IRQ) が空いている必要があります。
詳しくは、「空きの IRQ を確認する」(P10)を参照してください。
- ・ PC-9821 で使用していた SCSI ハードディスクは、再フォーマットの必要があります。

第 1 章 REX-PCI32 について

- ・ DOS/V の環境で使用していた LBA 管理されていない SCSI ハードディスクは、再フォーマットが必要な場合があります。
- ・ REXFMT95、REXFMT ではブートディスクの作成はできません。FDISK、FORMAT コマンドをお使いください。
- ・ Windows NT での使用時、SCSI 機器によっては WNASPI32.DLL が必要となる場合があります。別途お買い求めください。
- ・ クロックアップしたパソコンでは誤動作する場合があります。標準の設定でご使用ください。
- ・ パソコンをスリープにする時、SCSI 機器の電源を切ることはできません。

空きの IRQ を確認する

REX-PCI32 を取り付ける前に、使用しているパソコンのリソース、特に IRQ について最低 1 つ以上空きのある状態かどうかを確認してください。

この確認を行わずに REX-PCI32 を装着した場合、パソコンが新しいハードウェアを見つけることができず、インストールを行えなくなります。

ただし、IRQ シェアリングモードで使用可能な PCI スロットおよび PCI ボードが装着されている場合は、必ずしも空きの IRQ を確保する必要はありません。

Windows 98/95 の場合

1. Windows 98/95 の [コントロールパネル] [システム] を開いて [デバイスマネージャ] のタブを選択し、コンピュータのところをダブルクリックします。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。この例では、03, 04, 09 が空いています。

Windows NT の場合

1. Windows NT の [スタート] [プログラム] [管理ツール] [Windows NT 診断プログラム] を開いて [リソース] のタグを選択します。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。
 上の画面では、00,05,07,08,09,10,11,13 が抜けているので空いている可能性があります。一般的に IRQ00 (システムタイマ)、IRQ02 (割り込みコントローラ)、IRQ07 (プリンタポート)、IRQ08 (リアルタイムクロック)、IRQ13 (数値演算プロセッサ) が使用します。したがって、この例では IRQ5, IRQ9 ~ IRQ11 が空いていることになります。

DOS/Windows 3.1 システムの場合

プラグ・アンド・プレイ ドライバ(DWCFGMG.SYS)を CONFIG.SYS に登録してある場合、プラグ・アンド・プレイユーティリティを起動して確認してください。
詳しい使用方法については、パソコンに添付のマニュアルを参照してください。

2. SCSIボードの取り付け

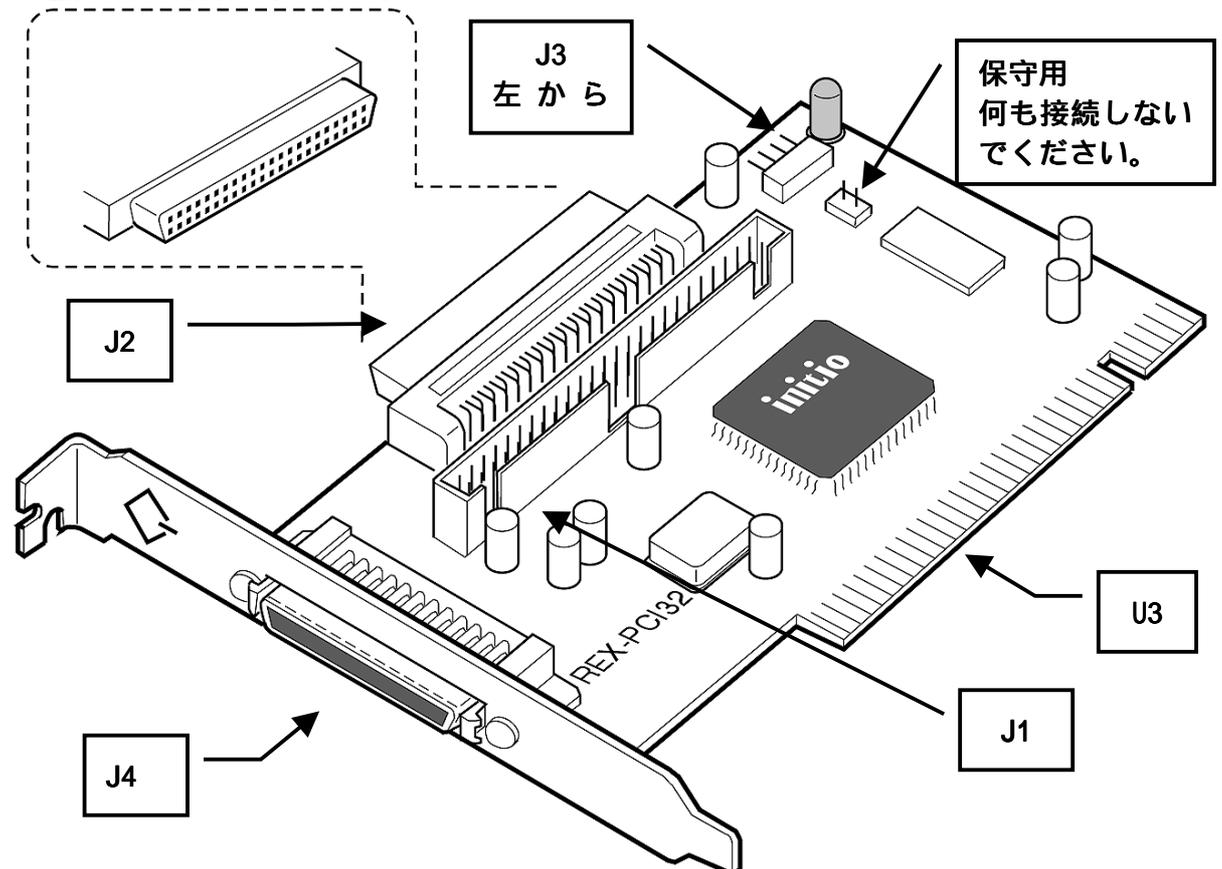
SCSIボードにSCSI機器を接続して使用するには次の取り付け作業が必要です。

万が一の場合に備えて作業の前に、現在使用しているハードディスクの内容をリムーバブルメディア等にバックアップしておくことをお勧めします。

1. SCSIボードに存在する3つのSCSIコネクタ（J1, J2, J4）を確認します。

コネクタ名	用途
J1	内蔵 SCSI 機器接続用 68 ピンコネクタ
J2	内蔵 SCSI 機器接続用 50 ピンフラットコネクタ
J4	外付 SCSI 機器接続用ハーフピッチピンタイプ 50 ピンコネクタ
J3	SCSI Bus ビジー 点燈用信号コネクタ（2 口の場合 3 と 4） ピン 1 と 4 - 電源 ピン 2 と 3 - シグナル(Active Low)
U3	PCI スロット接続用コネクタ

68 ピン WIDE SCSI のコネクタ



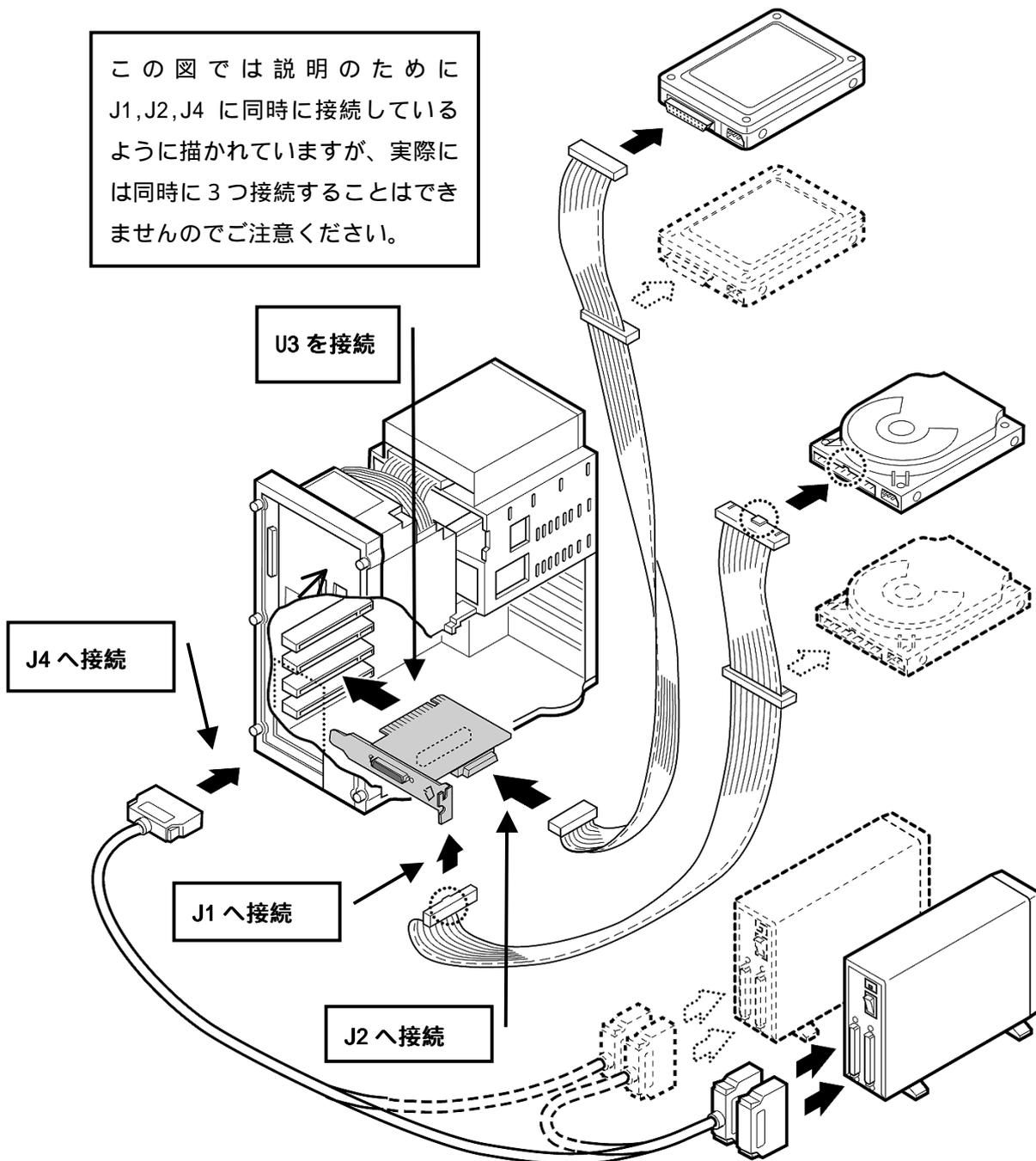
2. パソコンの電源（メイン電源）をオフにします。そして、電源ケーブルを外します。
パソコンによってはフロントパネルスイッチでの電源オフでは、スタンバイやサスペンド状態になるだけでメイン電源がオフにならない場合がありますので、パソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

パソコンのふたを開いてください。

また、あらかじめ静電気を放電します。

パソコン本体、およびSCSIボードの裸金属部に手を触れてください。

第2章 SCSI ボードの取り付け



3 . PCI Bus スロットを確認し図のようにセットします。この例では IDE HD は接続されていません。SCSI 環境の接続レイアウトを示しています。

外部コネクタ (J4) がシステムユニットの背面に面するように設置し、 PCI Bus スロットに合うように挿入してください。金色の接触部 (U3) が白いソケットに完全に入り見えなくなるまで挿入します。相当の力が必要な場合があります。挿入されたら取り付けパネルのネジを締めボードを固定します。ネジは不要な場合があります。

図中の 50pin 内部接続用ケーブル、外部接続用ケーブル、外部ターミネータは添付してありません。68pin 内部接続用ケーブルは添付してあります。

SCSI コネクタ 3 系統ありますが、同時に使用できるのは 2 系統です。

- 4 . 外部接続 SCSI 機器と内部接続 SCSI 機器をそれぞれのマニュアルに沿ってインストールします。
内蔵 SCSI 機器がない場合は、J1, J2 へは何も接続する必要はありません。
SCSI 機器は 50pin 接続総計 7 つまでと内部 68pin 接続の総計 8 つまで接続が可能です。
接続方法例とターミネータの設定方法を説明します。
ターミネータは必ず SCSI Bus ライン上の両端に設定しなければなりません。
- 5 . 内蔵 SCSI の最終端の機器は、ターミネータを有効にする必要があります。
外付け SCSI の最終端の機器にも、ターミネータが必要です。
REXPIC132 のボード上でのターミネータは、通常 BIOS 設定で Automatic の設定で接続状態を検出して自動的に動作します。
たとえば、内蔵 50pin と内蔵 68pin の SCSI 機器がある場合や、外部 50pin と内蔵 68pin の SCSI 機器がある場合、SCSI ボードの low ターミネータは OFF で、high ターミネータは ON として動作します。
- 6 . SCSI ID の設定例を示します。
SCSI ID は一つの SCSI Bus ライン上に同じ番号があってはなりません。50pin 内蔵機器は 0 ~ 4 を 50pin 外部機器は 5 ~ 6 を 68pin 内部機器は 8 ~ 15 を使うと決めておくといよいでしょう。50pin 内蔵機器は 0 ~ 2 で 50pin 外部機器は 3 ~ 6 を使うと決めてもかまいません。守らなければならないことは、同じ番号があってはならないことです。
- 7 . 50pin 内部接続用 SCSI ケーブルは別途用意してください。ボードの J2 コネクタに 50 ピンフラットケーブルを差し込みます。
コネクタにはピン 1 を示す マークがついています。50 ピンフラットケーブル上の端に 1 本のみある色付きストライプの線が マークに合うように差し込みます。
J1 コネクタには内蔵用 68 ピンケーブルを差し込みます。
コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
- 8 . 外部接続用 50pin SCSI ケーブルは J4 コネクタを使用して接続します。
コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
- 9 . 必須事項ではありませんが内蔵 SCSI 機器にアクセスしているときのアクセスランプを点灯することができるパソコンがあります。
パソコンの取扱説明書に書かれているハードディスク LED Cable を J3 のコネクタに差し込みます。2 口ケーブルの場合、3 番 4 番に差し込みます。
詳しくはお手持ちのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。

第2章 SCSI ボードの取り付け

10. パソコンのカバーをもとに戻します。これで REX-PCI32 のハードウェアの取り付け完了です。

次にパソコンの PCI バスの確認・設定を行います。

接続できる台数とケーブルの長さ

SCSI デিজィーチェイン接続して使用する場合、REX-PCI32 に添付してあるケーブルのインピーダンス特性と一致したものを使用する必要があります。

インピーダンスが、90 Ω タイプの SCSI ケーブルをご使用ください。

SCSI 機器は理論上 15 台まで接続可能です。ただし、Wide に対応していない機器は 7 台までです。

SCSI 機器が、Ultra Wide および Ultra SCSI 対応か FAST SCSI 対応かによって接続できる SCSI 機器の台数と接続に使用する SCSI インターフェイスケーブルの長さの合計が異なります。

以下に表記してある長さは、SCSI 機器の内部配線および内蔵ケーブルを含みます。

UltraWide および Ultra SCSI 機器が 1 台でもある場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 3 台	3 メートル以下
4 ~ 15 台	1.5 メートル以下

すべて FAST SCSI 機器の場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 7 台	3 メートル以下

上記の記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器や SCSI ケーブルの性能に影響されます。

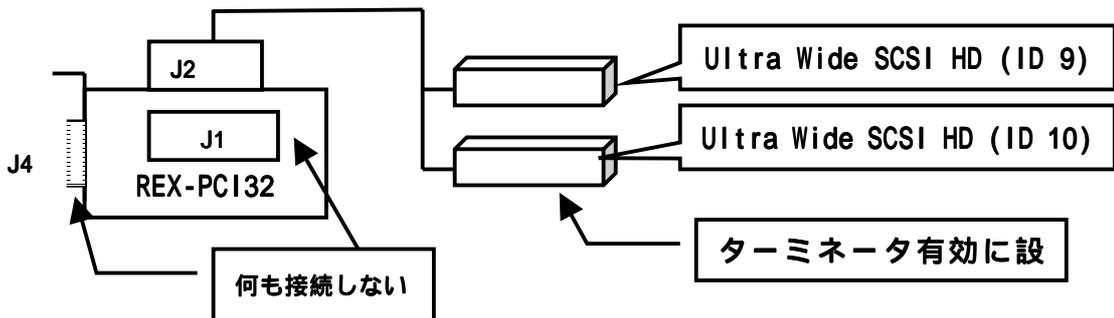
また、SCSI 変換コネクタを使用すると SCSI バスの状態が悪くなる場合があるため、SCSI 変換コネクタでの接続はお勧めしません。

ケーブル接続例

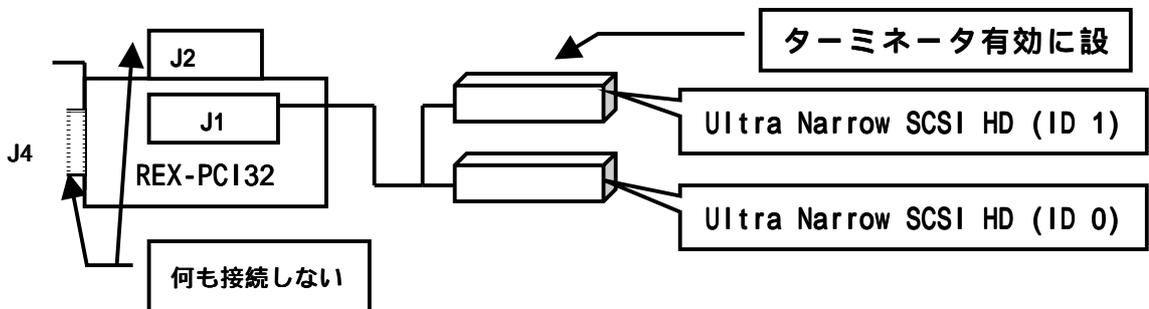
ここでは、色々な組み合わせでの機器接続の例を説明します。

J1, J2, J4 の SCSI コネクタへ同時に SCSI ケーブルを接続して使用することはできません。!!!

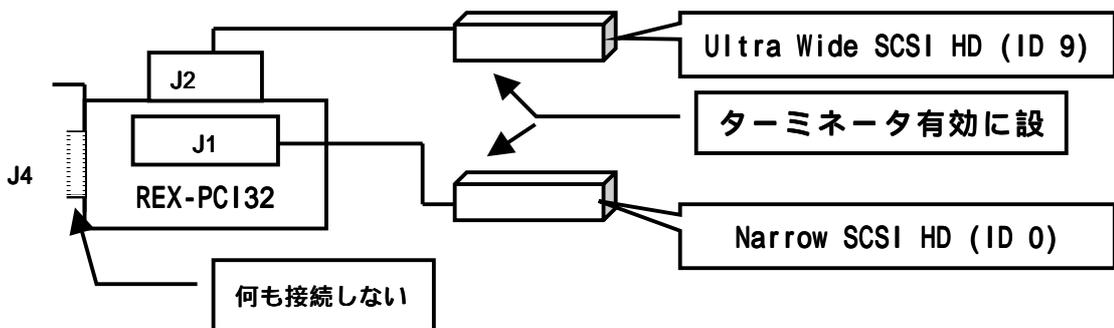
内蔵 Ultra Wide SCSI 機器のみの場合



内蔵 Narrow SCSI 機器のみの場合

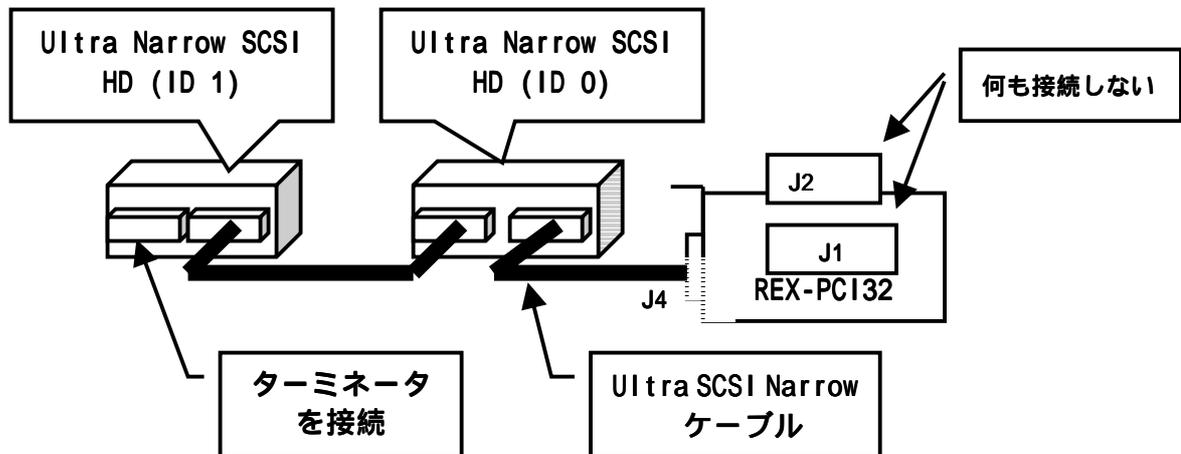


内蔵 Ultra Wide SCSI 機器と内蔵 Narrow SCSI 機器の場合

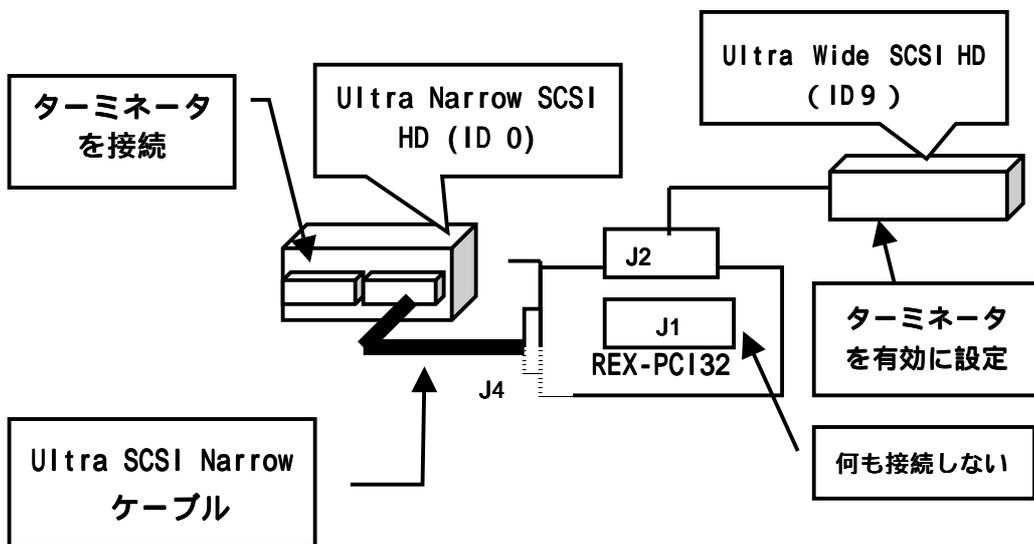


第2章 SCSIボードの取り付け

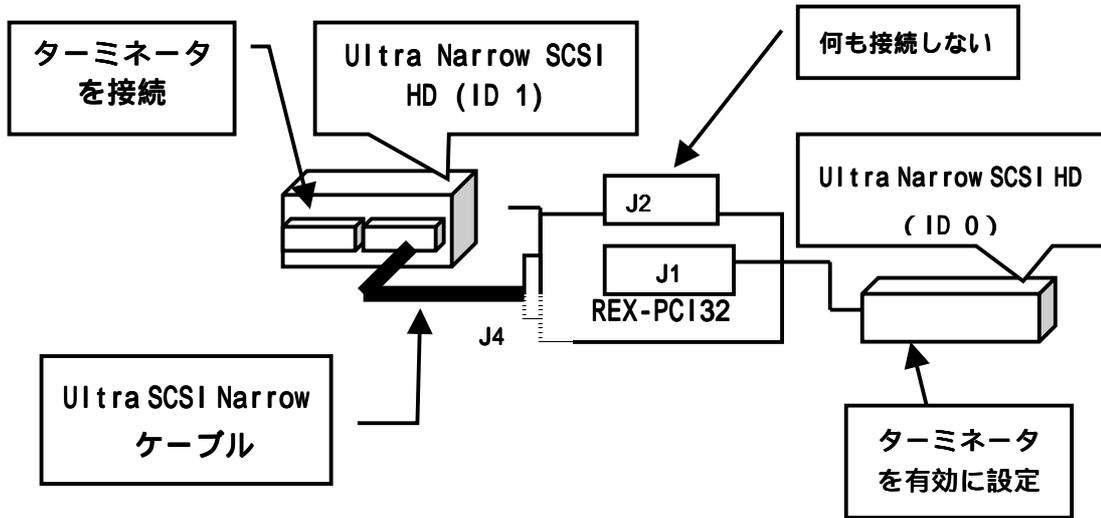
外部 Ultra SCSI 機器 (Narrow) のみの場合



外部 Ultra SCSI 機器と内蔵 Ultra Wide SCSI 機器を接続する場合



外部 SCSI 機器と内蔵 Ultra Narrow SCSI 機器を接続する場合





3. パソコンのPCIバスの確認・設定

REXPCI32 を取り付けたパソコンのPCIバスの確認および設定を行います。
これらの作業は、インストールのトラブルを避けるためにも行ってください。

PCIバスの確認

パソコンのBIOSメニューから以下の項目を探してみます。
これらの項目は、パソコンによって表記が異なります。パソコンのマニュアルを参照してください。

PCIスロットの有効/無効

該当するスロットを有効にします。

ISAスロットのIRQの設定

“USED”を選択します。

PCIスロットの使用するIRQの範囲

1つ以上確保してください。

接続しているSCSI機器の電源をONにした状態で、システム立ち上がり時、以下の画面が表示されれば、PCI-BIOSレベルでは正常に動作しています。

SCSI-BIOS スタート画面

```
RATOC REXPCI32 BIOS Ver XXX
Copyright Initio Corporation / RATOC Systems, Inc.
!!! Press < Ctrl > <I> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < Ctrl > <B> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < ESC > to continue.                !!!

    SCSI ID 0A SEAGATE ST34502LW   - Drive X: (8xh)
    SCSI ID 0B SEAGATE ST39102LW   - Drive X: (8xh)

SCSI BIOS install   1
```

- 1 ブート可能ディスクが接続されていない場合、表示されません。SCSI-BIOSは常駐されません。
- 2 パソコンメーカーのロゴ画面が表示していて、SCSI BIOS スタート画面が表示されない場合は、ロゴ画面の裏で表示されている場合があります。試しにパソコンメーカーのロゴ画面の表示中に [ESC] キーを押してみてください。
- 3 SCSI-BIOS 画面の表示が速すぎて確認できない場合は、SCSI-BIOS 画面の表示と同時に [Pause] を押してください。[Enter] キーで表示が続きます。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、「SCSI ボードの取り付け」(P13)を再度確認してください。



4. SCSI コンフィギュレーションの設定

この章では、REX-PCI32 に対する SCSI 環境の設定を行う方法を説明します。
システム立ち上がり時、SCSI-BIOS のスタート画面表示中に<Ctrl+I>で表示させます。
通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の MO ドライブ
(転送速度を 10MB/S に設定が必要)
- ・ 一部の Scanner
(転送速度を非同期に設定が必要)

また、システムの異なる環境で使用していたハードディスク等を新たに接続する場合、Disk Utility にて Format Disk (物理フォーマット) を実行することをお勧めします。
メニュー構成を示します。

SCSI-BIOS メニュー

Main Menu

```
RATOC REX-PCI32 SmartSCSI™ Setup Utility Ver XXX (C)1994-xx
  PCI Bus : 00   Device : 13H   Port : FC00H   IRQ : 10

Scan Bus  Device Setup  Adapter Setup  BIOS Setup  Disk Utility
```

キー操作方法

ESC : 終了します。 Exit Setup ? を表示されます。終了する場合、Yes を選択します。

第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Scan Bus SCSI 機器が正しく接続されているか、確認できます。

```
                Press any Key to exit
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST39102LW           0004
ID:2  FIJITSU M2513A             1500
ID:   省略
ID:7  RATOX REX-PCI32 H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34502LW           0004
ID:   省略 (以下 ID 15 まで続く)
```

確認したら何かキーを押してください。

接続した SCSI 機器が表示されない場合、以下の項目（電源 - 接続 - ターミネータ）を確認して、もう一度 Scan Bus を選択します。

電源：SCSI 機器の電源が入っていない。

接続：SCSI 機器へのケーブルが正しく接続されていない。

機器の設定：SCSI ID 番号が他の機器または、REXPCI32 と重なっている。

（ REXPCI32 は、出荷時の SCSI ID 番号は 7 番に設定されています。 ）

ターミネータ：SCSI 機器側のターミネータが取り付けられていない。

Device Setup

```
SCSI Device ID      #0  #1  #2  #3  #4  #5  #6  #7
Asynchronous Transfer  no
Max Synchronous Transfer 40
DOS.Space > 1GB      Yes           省略
Spin up Disk Drive    Yes
Enable Disconnect     Yes
Enable Wide Negotiation Yes

SCSI Device ID      #8  #9  #10 #11 #12 #13 #14 #15
Asynchronous Transfer  no
Max Synchronous Transfer 40
DOS.Space > 1GB      Yes
Spin up Disk Drive    Yes           省略
Enable Disconnect     Yes
Enable Wide Negotiation Yes
```

Asynchronous Transfer

非同期の転送に設定する場合、Yes にします。(初期値 No)

Max Synchronous Transfer (初期値 40)

同期時の最大転送速度を 40.0, 26.6, 20.0, 16.0, 13.2, 11.4, 10.0 で設定します。

DOS.Space > 1GB

Yes : 1GB ~ 8GB までのハードディスクに対して 255 ヘッド、トラックあたり 63 セクタのパラメタでアクセス。途中で設定を変更するとデータは破壊されます。(初期値)

No : 1GB 以下のハードディスクに対して 64 ヘッド、トラックあたり 32 セクタのパラメタでアクセス。途中で設定を変更するとデータは破壊されます。

Spin up Disk Drive

SCSI ハードディスクの完全な始動をパソコン立ち上がり時に行うかを指定します。

Yes : 始動を行います。(初期値)

No : 始動を行いません。

Enable Disconnect

切断を行い、他の SCSI デバイスへのサービスを行うかどうかを選択します。

Yes : ディスコネクト/リコネクトを行います。(初期値)

No : ディスコネクト/リコネクトを行いません。

Enable Wide Negotiation

Yes : 16bit バスの接続を有効にします。接続されている機器が 8bit バスの場合自動的に Wide ネゴシエーションを行いません。(初期値)

No : 8bit バスの SCSI 機器が接続されていることを設定します。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
設定値を保存しない場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Adapter Setup

Host Adapter SCSI Bus ID	7
Boot Device ID	0
SCSI Terminators	Automatic
SCSI Parity Check ON	Yes

Host Adapter SCSI ID

ホストアダプタの NO を変更する場合、指定します。0-15 （初期値 7）

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0~7 の範囲で設定してください。

Boot Device ID

SCSI ハードディスクからブートする場合その SCSI ID NO を指定することができます。
（初期値 0）

SCSI Terminators

Automatic : SCSI Board のターミネータ設定は、自動設定になっています。（初期値）

High ON / Low ON : ターミネータ有効

常に 50 ピンコネクタのみ使用し、68 ピン Wide コネクタを使用しません。

High ON / Low OFF : High ターミネータ有効、Low ターミネータ無効

常に 50 ピンと 68 ピンコネクタを同時に使用します。

High OFF / Low OFF : ターミネータ無効

常に 68 ピンコネクタのみ使用し、50 ピン Wide コネクタを使用しません。

SCSI Parity Check ON

SCSI 機器のパリティチェックの有効 / 無効を選択します。

Yes : パリティチェックする。（初期値）

No : パリティチェックしない。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
変更を破棄する場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

BIOS Setup

Enable Host Adapter BIOS	Yes
BIOS Support for More Than 2 Drives	No
BIOS Support for Bootable CD-ROM	No
BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk	No

Enable Host Adapter BIOS

SCSI-BIOS をメモリに常駐するかどうかを設定します。

Yes : 常駐します。(初期値)

ただし boot UP 可能なデバイスが接続されている場合に限りです。

No : 常駐しません。SCSI-BIOS から SCSI 機器をコントロールしません。

BIOS Support for More Than 2 Drives

SCSI-BIOS から 3 台以上のハードディスクサポートを設定します。

Yes : 3 台以上をサポートします。

No : 2 台以下のみサポートします。(初期値)

BIOS Support for Bootable CD-ROM

SCSI-BIOS から SCSI CD-ROM のブート可能な CD-ROM を読み込みブートします。

Yes : 常にブートしようとします。

No : Ctrl + B を押したときだけブートします。(初期値)

Windows NT4.0 の CD-ROM からのブートはサポートしていません。

BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。ただしイジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

No : 固定ディスクと同様に扱いません。(初期値)

Yes : 固定ディスクと同様に扱います。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
保存しない場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

第4章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Disk Utility

```
                Select Device ID
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST39102LW           0004
ID:2  FIJITSU  M2513A             1500
ID:   省略
ID:7  RATOOC  REX-PCI32  H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34502LW           0004
ID:   省略 (以下 ID 15 まで続く)
```

ハードディスクおよびリムーバブルディスクを選択できます。
選択後、Verify Disk または Format Disk を選択します。

Verify Disk を選択し実行すると、ハードディスクに不良セクタがあるかどうかの確認ができます。

Format Disk を選択し実行すると、ディスクの物理フォーマットを行います。
ディスクが以前に PC-9821 のシステム、または Macintosh などの DOS/V と異なる場合、
まず Format Disk を行いクリアな状態にしてから使用することをお勧めします。
ディスクの内容は消去されますのでご注意ください。

物理フォーマットの所要時間は、接続した HD、MO 等の性能により大きく異なります。
例のような、SEAGATE ST34502LW の場合、約 10 分かかります。
SEAGATE ST39102LW の場合、約 20 分かかります。
SEAGATE ST34501W の場合、約 90 分かかります。

実際にドライブとして使用するには、各オペレーティングシステム上でフォーマット操作も必要になります。

5. Windows 98/95 インストール済みにて使用する

Windows 98/95 のインストール済みパソコンへ REX-PCI32 を取り付ける場合を説明します。本製品添付の Setup Disk を用意してください。

REX-PCI32 を装着したあと SCSI ハードディスク等の SCSI 機器にアクセスするには Windows 98/95 のミニポートドライバの登録が必要になります。Windows95 での登録は「Windows95 ミニポートドライバのインストール」(P33)を参照してください。

98

95

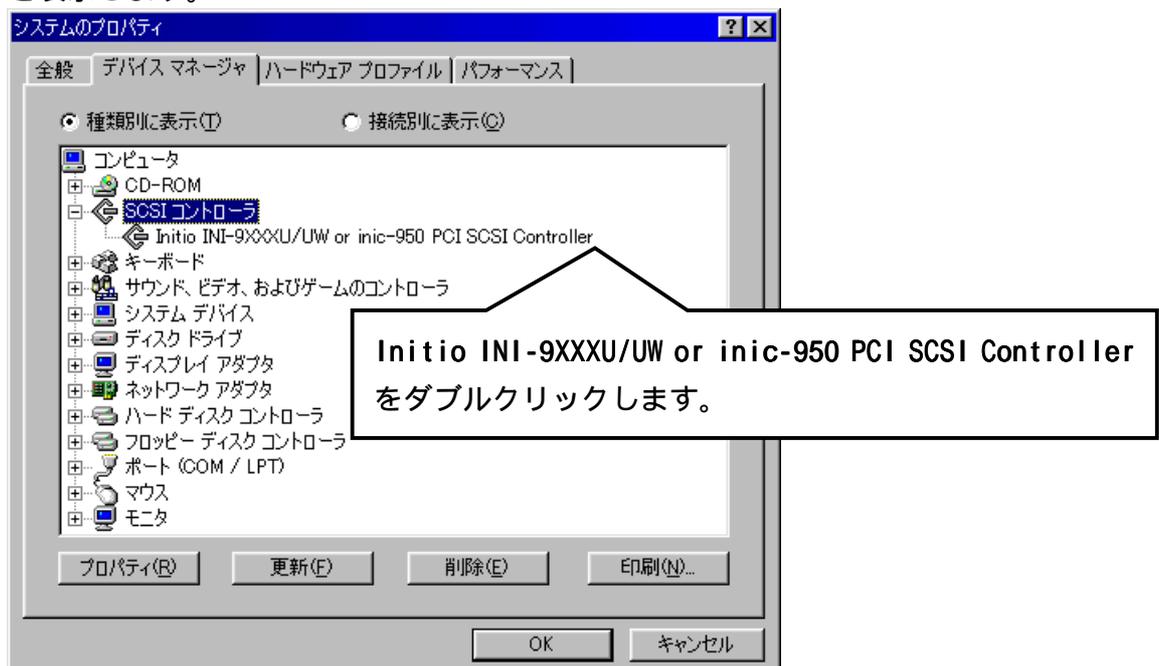
Windows 98 ミニポートドライバのインストール

Windows 98 のミニポートドライバの登録は以下の手順で行います。

1. 以下のメッセージが表示されます。



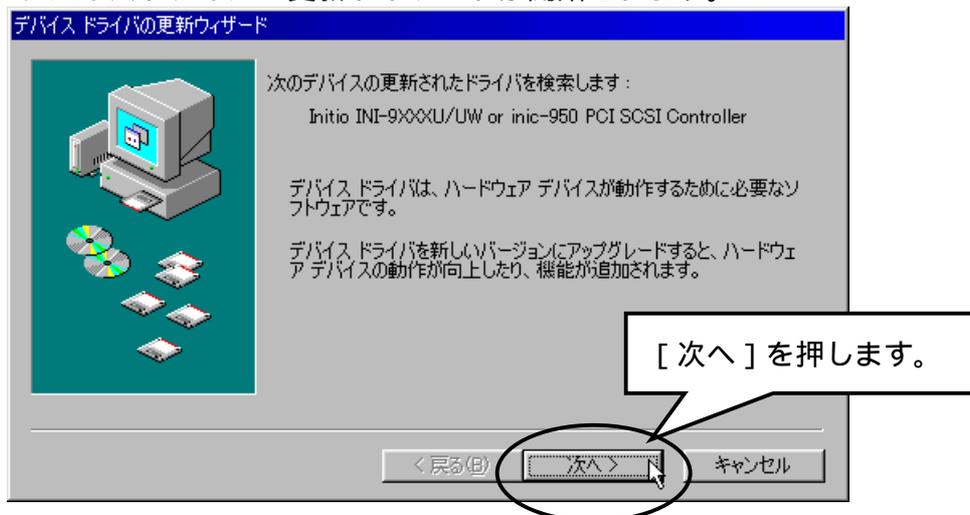
2. インストール完了後、[コントロールパネル][システム][デバイスマネージャ]を表示します。



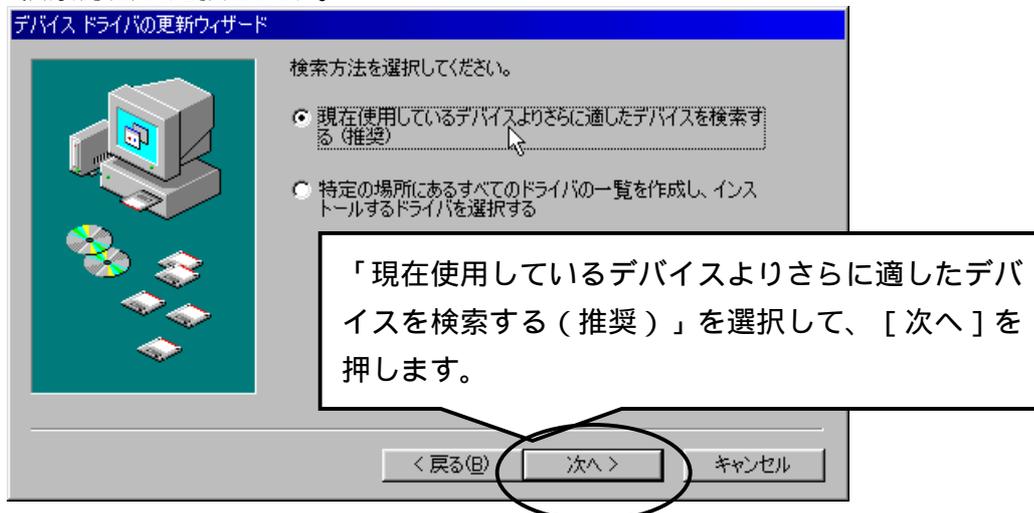
3. [ドライバ] タグを表示します。



4. デバイスドライバの更新ウィザードが開始されます。



5. 検索方法を選択します。



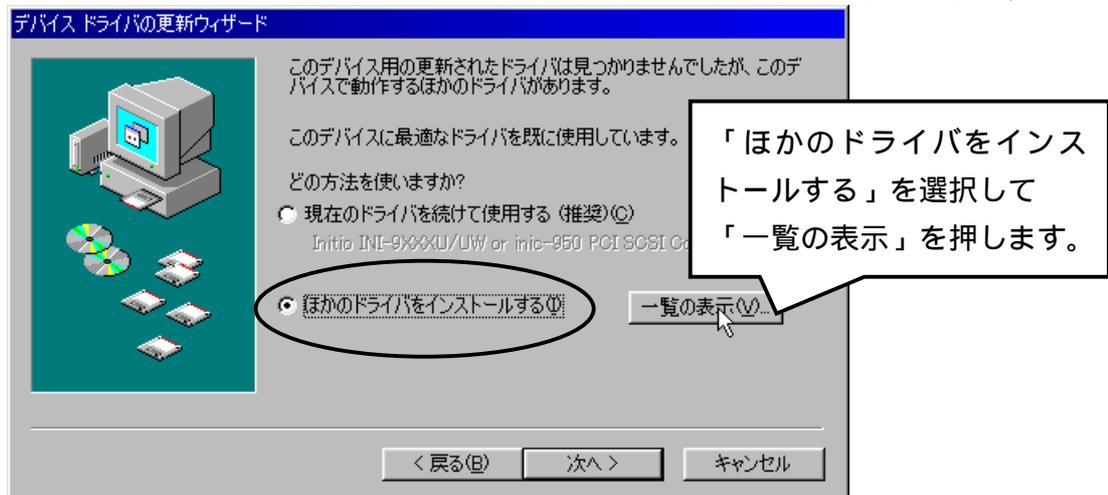
6. どこからドライバを検索するか検索先の場所を指定します。



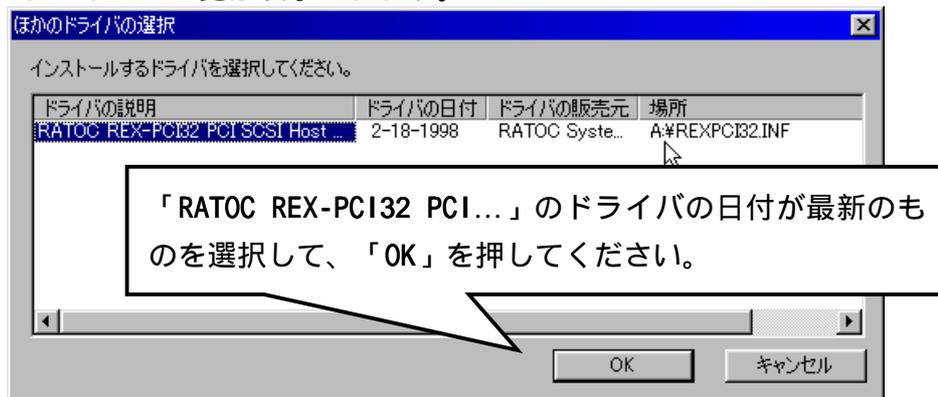
98

95

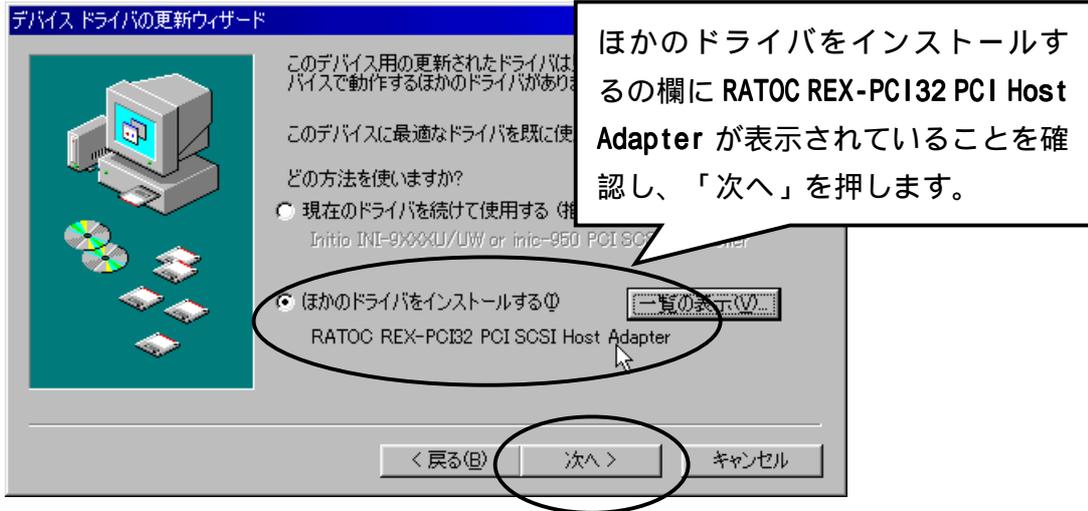
7. 「このデバイスに最適なドライバを既に使用しています」と表示されます。



8. ドライバの一覧が表示されます。



9. 再度、元の画面に戻ります。



10. 検索確認画面になります。



11. ドライバのコピーが行われます。

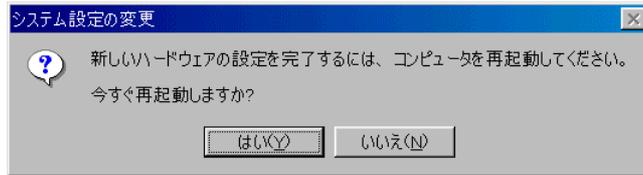
それからしばらくして、完了メッセージが表示されます。



98

95

12. 再起動画面になります。



Setup Disk を抜いていることを確認して「はい」を押して、システム再起動します。以上でインストールは終了です。次にインストールの確認を行います。Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認(P35)に進んでください。

98

95

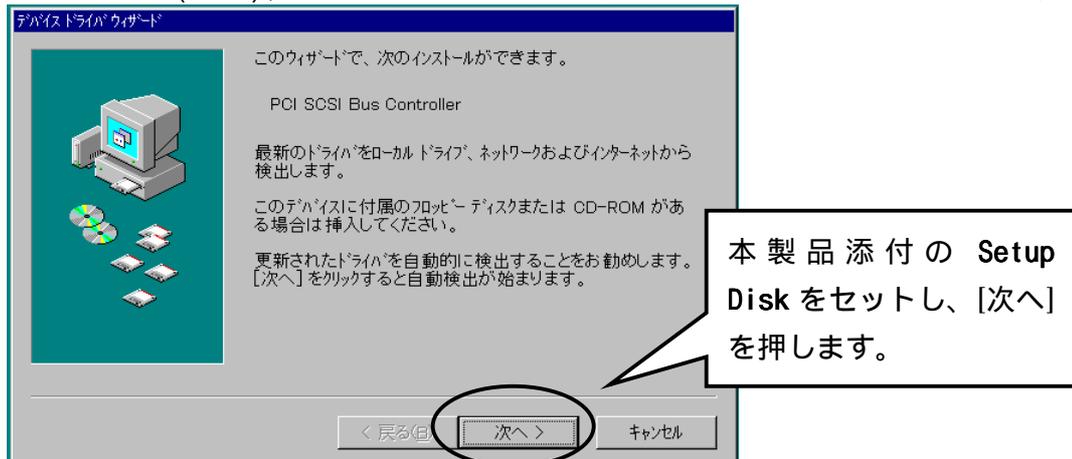
Windows 95 ミニポートドライバのインストール

Windows 95 のミニポートドライバの登録は以下の手順で行います。

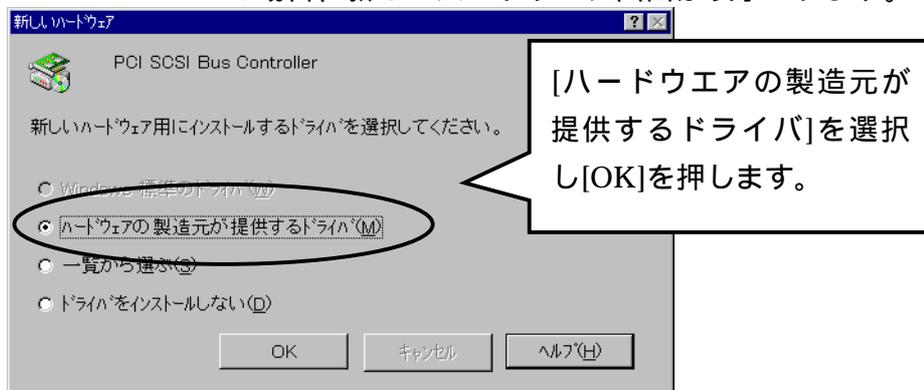
コントロールパネルの“ハードウェア”（ハードウェアウィザード）によるインストールを行っても、ドライバは正しく組み込まれません。

1. 新しいハードウェアを検出した画面が表示されます。

Windows 95B(OSR2), 95C の場合、右のメッセージウインドウが表示されます。



Windows 95/95a の場合、新しいハードウェア画面が表示されます。



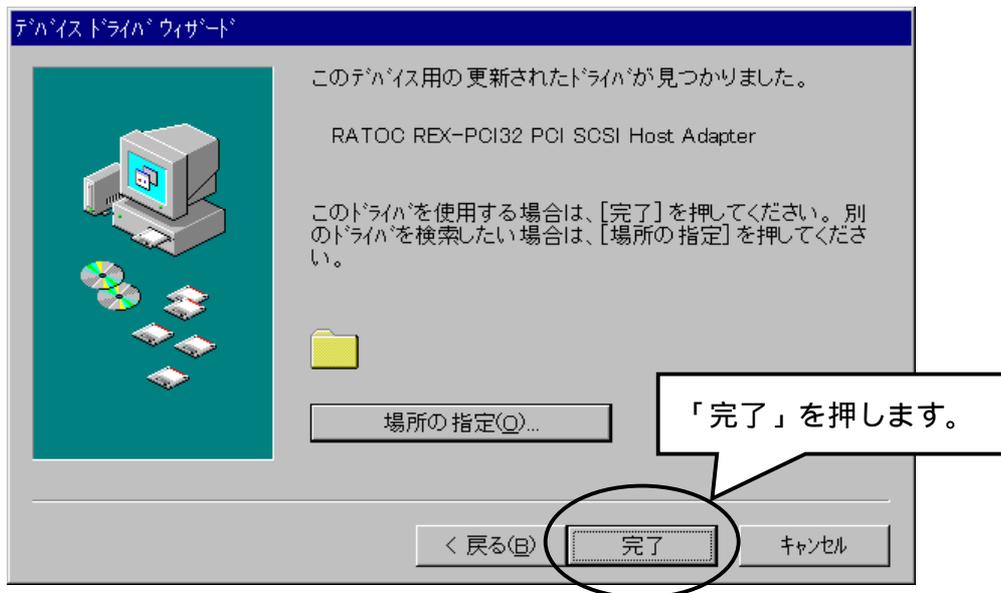
画面の説明に沿ってドライバをインストールしてください。

以降説明では Windows 95B(OSR2) の場合で説明します。

2. ドライバ発見の画面が表示されます。

98

95

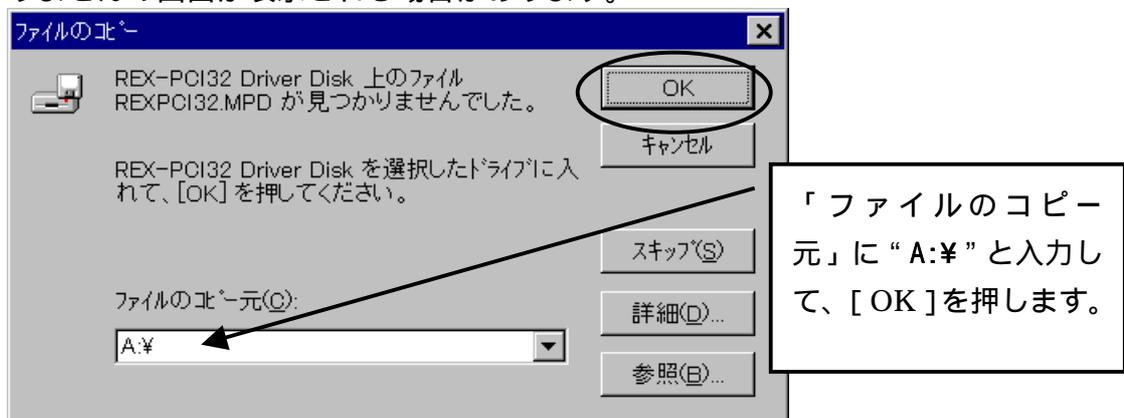


3. 以前、何かのドライバの組み込みに失敗等があった場合、以下のメッセージが表示されることがあります。



[OK]を選択すると再度インストール画面が表示されます。

4. ドライバのコピー中にコピーするドライバが見つからなく、REXPCI32.MPD が見つかりませんの画面が表示される場合があります。



“xxxx.xxxx”ファイルが見つかりませんと表示された場合も同様に、「ファイルのコピー元」に指定したフロッピーディスクのドライブ名を入力してください。

5. コピーが終わってしばらくすると、システム再起動画面になります。
6. Setup Disk を抜いてシステム再起動してください。
- 以上で Windows 95 ミニポートドライバのインストールは終わりです。
続いてインストールの確認を行います。

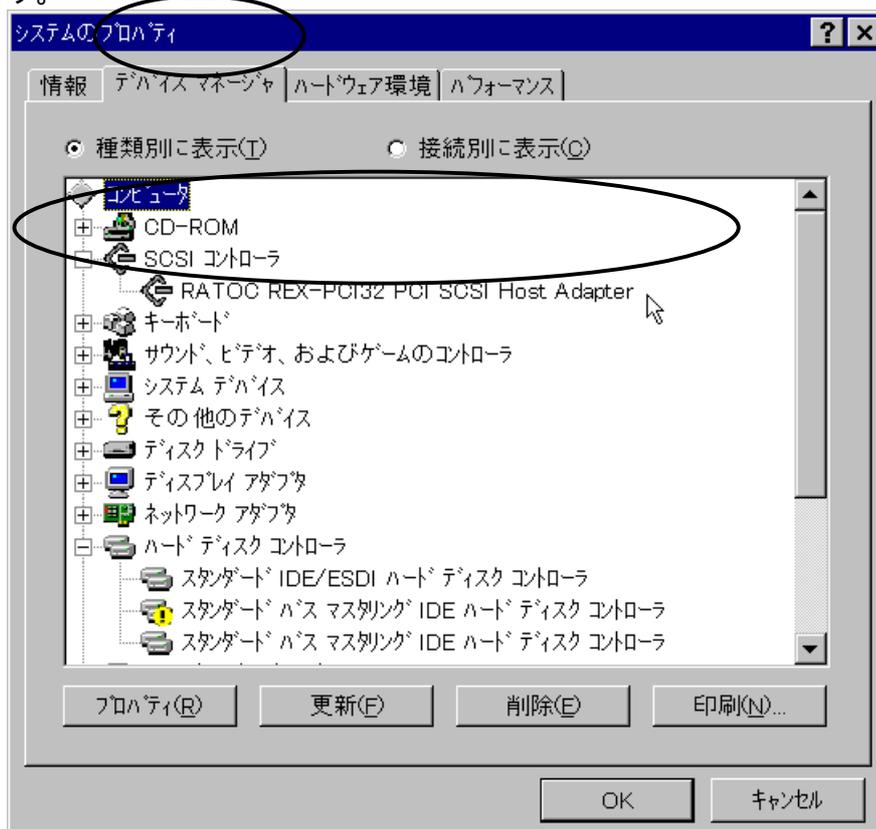
Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 98/95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、 [デバイス マネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目左のプラス記号(+)をクリックして、 [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]が表示されていることを確認します。

98

95



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されたか確認してください。

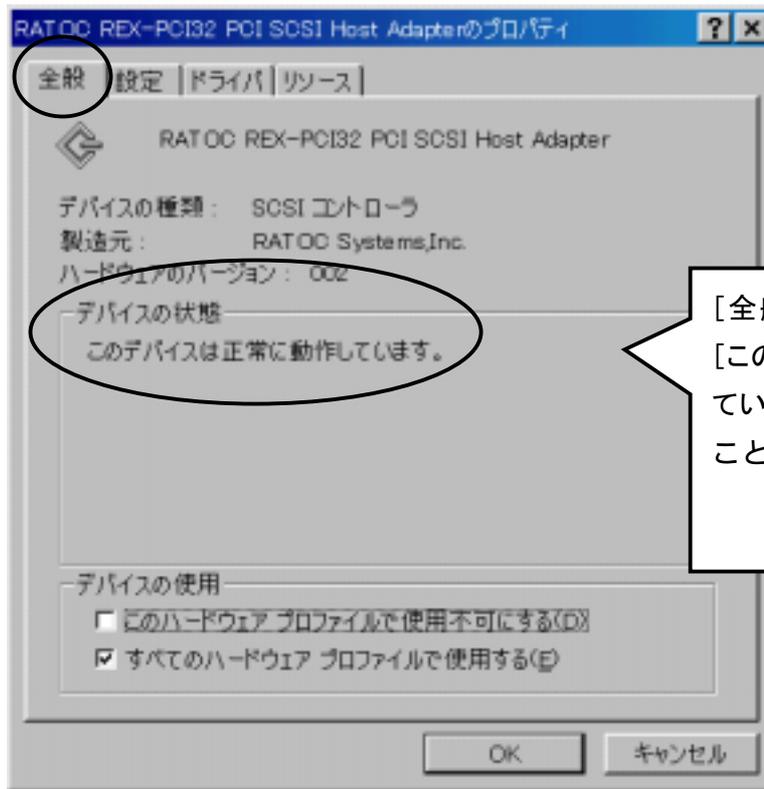
表示されなかった場合、PCI バスの確認 (P21)に戻ってください。

[RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter 項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。

「!」「?」表示がある場合は、ドライバが正しくインストールされていません。

「X」表示がある場合は、ドライバの動作を停止しています。

4. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]のプロパティウィンドウを表示してドライバが正常に動作されているか確認します。

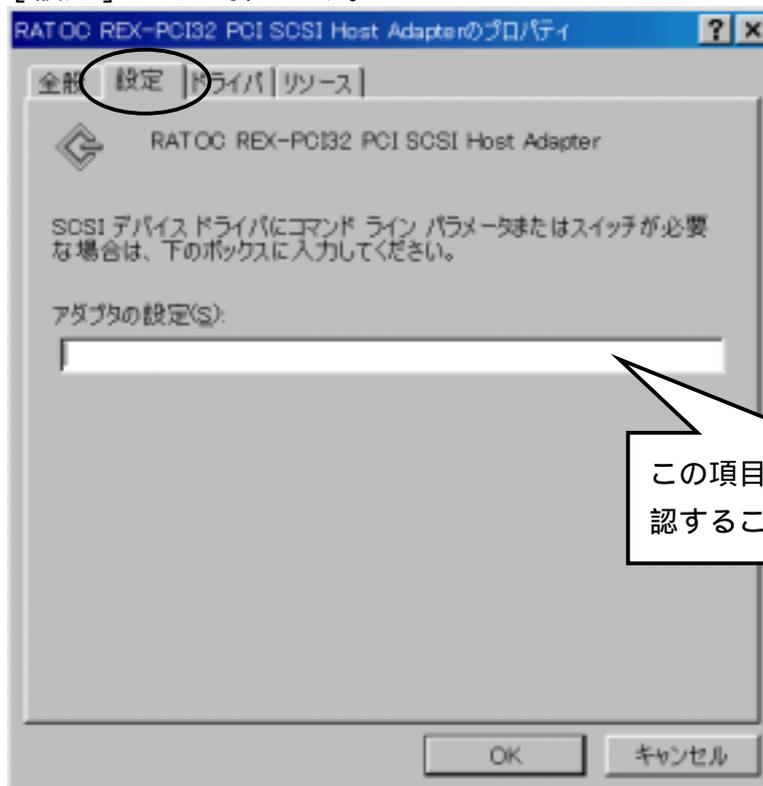


98

95

[全般] タグをクリックして [このデバイスは正常に動作しています] が表示されていることを確認します。

5. [設定] タグを押します。



この項目では、設定および確認することはありません。

6. [ドライバ]のタブを押します。

ミニポートドライバの場所とバージョン等を確認できます。

Windows 95 では、「このデバイスには、ドライバファイルが必要でないか、または読み込まれていません。」と表示されますが正常です。問題ありません。

98

95

7. [リソース]のタブを押します。

IRQ、メモリ、I/O アドレスが確保されており「競合なし」になっていることを確認します。本製品は、プラグアンドプレイ機能により、競合しないように自動的に設定をおこないます。基本設定を変更しても競合する場合、システム資源不足により使用できません。他のボードを取り外してください。もしくは、COM1、COM2、パラレルポートを無効にしてシステム資源を確保してください。

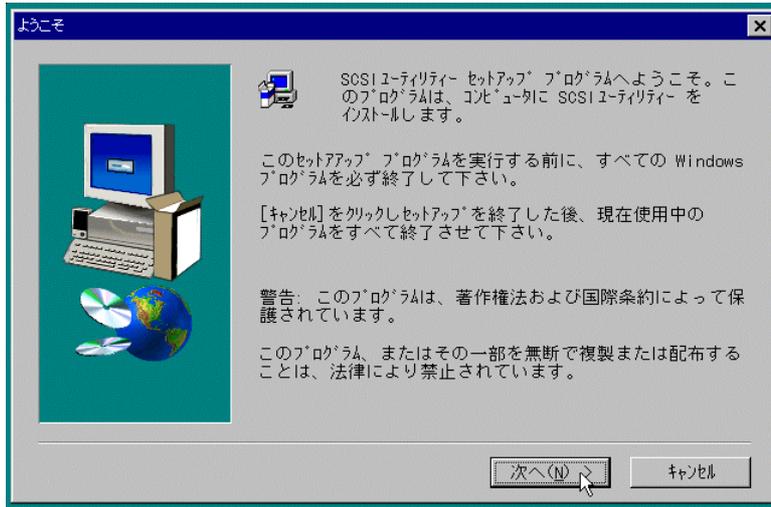
SCSI ユーティリティのインストール

98

フォーマットユーティリティ (REXFMT95.EXE)、SCSI 機器確認 (WINSSC.EXE) のインストールを行います。

1. 本製品添付の Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の [マイコンピュータ] からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。

95



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると [スタート] ボタンからのプログラムメニューの中に [REX SCSI ユーティリティ] が追加されています。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95.EXE) とは :
HD, MO の WINASPI 対応フォーマッタです。
REXPC132 に接続された MO, PD をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。HD は FDISK プログラムをご使用ください。
詳しくは、フォーマットユーティリティ (P41) を参照してください。

SCSI 機器確認 (WINSSC.EXE) とは :
REXPC132 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。
SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。詳しくは、SCSI 機器確認ユーティリティ (P43) を参照してください。

SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

まだ、SCSI 機器を接続していない場合、または電源が入っていない場合、SCSI 機器の接続を行い、電源をいれてパソコンの再起動をしてください。

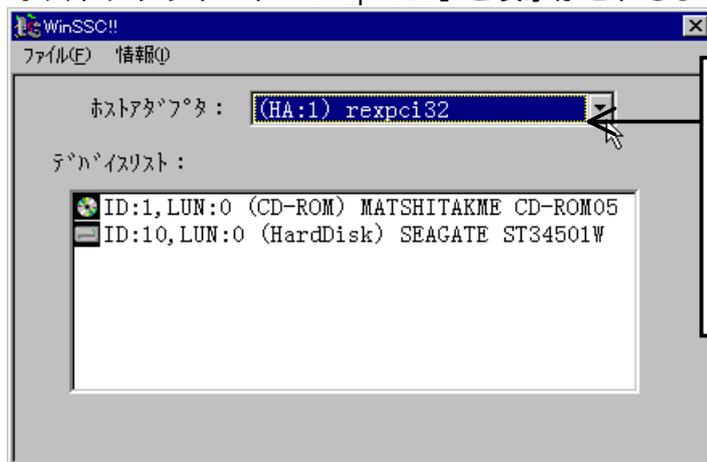
98

1. SCSI 機器の接続確認をします。

[スタート] [プログラム] [REX SCSI ユーティリティ] [SCSI 機器確認] を実行します。

95

2. ホストアダプタ：に「rexpci32」と表示がされるように変更します。



ホストアダプタに ESDI と表示されることがあります。これは、パソコン本体の IDE CD-ROM が表示されるためです。「rexpci32」に変更します。

例のように接続されている機器が表示されていれば、REX-PCI32 と SCSI 機器は完全に正しく動作しています。表示されない場合および「rexpci32」に変更できない場合、「WinSSC- Windows98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ」(P43) を参照してください。

3. HD/MO/CD-ROM を接続した場合、マイコンピュータにそれぞれのアイコンが表示されています。

スワップファイルを SCSI ハードディスクに

98

この項目は SCSI ハードディスクより Windows 98/95 を起動している場合、関係ありません。 EIDE ハードディスクより Windows 98/95 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

95

C ドライブ(EIDE)に設定されているスワップファイルを D ドライブ(SCSI)に変更する例を示します。

マイコンピュータのアイコンを右クリックし[プロパティ]を選択します。

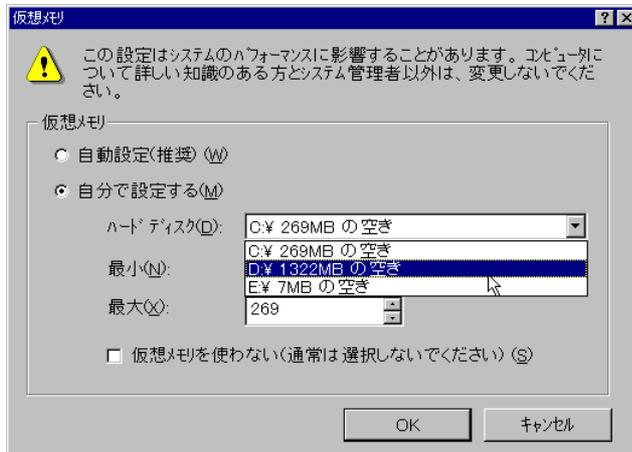
パフォーマンスのタグを選択します。



仮想メモリを選択してください。

[自分で設定する]を選択しハードディスクを D ドライブに変更します。

再起動すると設定が有効になります。



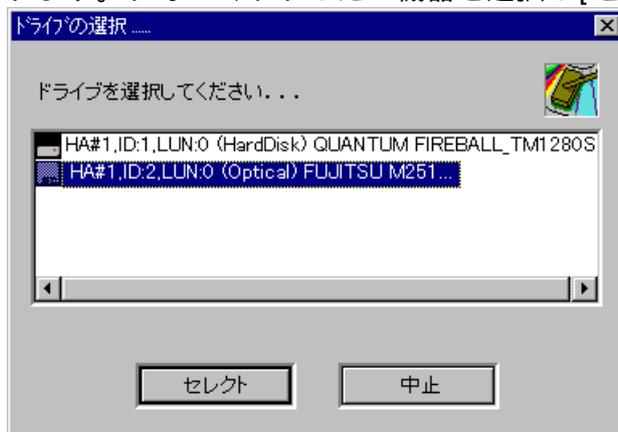
6. Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

この章では、添付ディスク (Setup Disk) に含まれるユーティリティソフトウェアについて説明していきます。

REXFMT95 - Windows 98/95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ

REXPC132 に接続された SCSI 機器のフォーマットを行うには本プログラムをご使用ください。

1. [スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中にある [REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] を起動します。
次のように接続されている機器のインクアイリ情報がホストアダプタごとに表示されます。フォーマットしたい機器を選択し [セレクト] を押します。



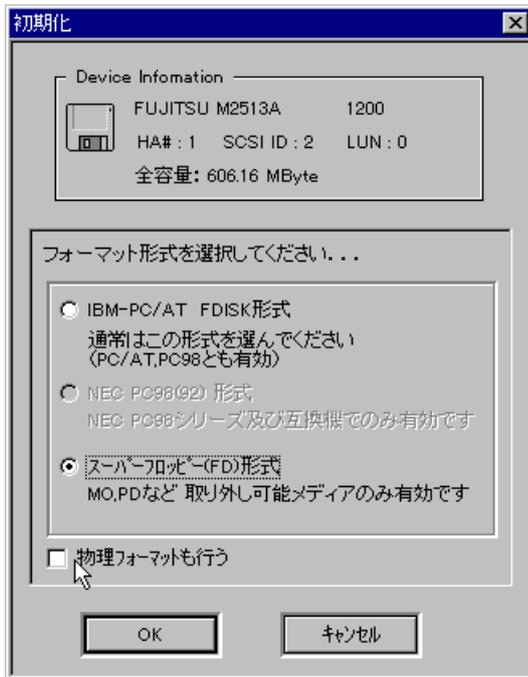
2. 選択後、次の画面が表示されます。区画番号に対して右クリックで [メディアの初期化] を選択します。[処理] タグの [メディアの初期化] を選択する方法もあります。



本プログラムの制限 :

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。DOS/V ブートディスクの作成はできません。ブートディスクを作成する場合は、FDISK および FORMAT コマンドをご使用ください。

3. 初期化の指定画面が表示されます。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、物理フォーマットも行うにチェックします。



この例では、640M0 をフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式]を選択します。

4. フォーマット後、区画をどのように設定するかを指定します。
本プログラムはFAT32をサポートしていますのでファイルシステムにてFAT32を選択することが可能です。



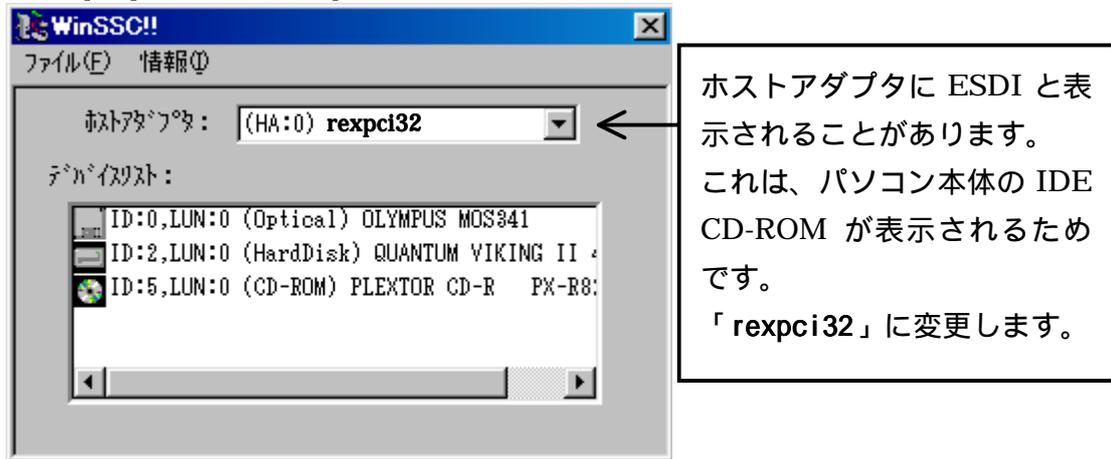
FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。
(Windows95B(OSR2), Windows 98 でのみサポートしています)

5. フォーマット完了後、次に示す操作が必ず 1 つ必要です。
- システムを再起動する。
 - MO 等のリムーバブルメディアの場合、メディアが自動的に排出されるので再度挿入する。

WinSSC - Windows 98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI PCカードに接続されているSCSI機器をWindows 98/95上から確認するためのユーティリティです。必ずパソコン起動前に、SCSI機器の電源を入れてください。

[スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[SCSI 機器確認]を起動します。



[ホストアダプタ:]

接続されている SCSI インターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンでは、この覧を [rexpki32] が表示されるように変更してください。

「rexpki32」と表示されないまたは変更できない場合、以下の原因が考えられます。

- REX-PCI32 のドライバが正しく動作していない。
- SCSI ケーブルが正しく接続されていない。(断線の可能性)
- 他メーカーの SCSI PC カードケーブルを使用している。
- SCSI 機器の電源が入っていない またはターミネータの設定がされていない。
- SCSI 機器の接続台数が多すぎる。

[デバイスリスト:]

接続されている SCSI 機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- SCSI 機器 ID 番号 (ID:)
- ロジカルユニット番号 (LUN:)
- デバイスタイプ (カッコ内)
- ベンダ名および型番

[再スキャン]

[ファイル]メニューの[再スキャン]は、最新情報を表示させるための機能です。

98

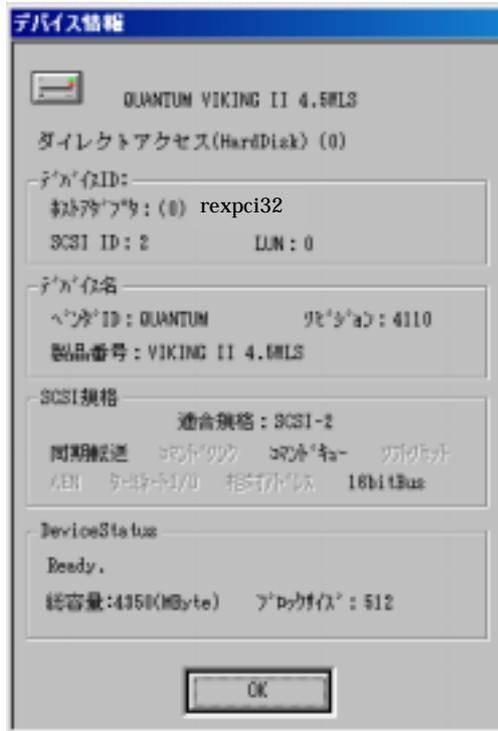
95

第6章 Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

また、情報を確認したい機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

SCSI機器の詳細情報の例

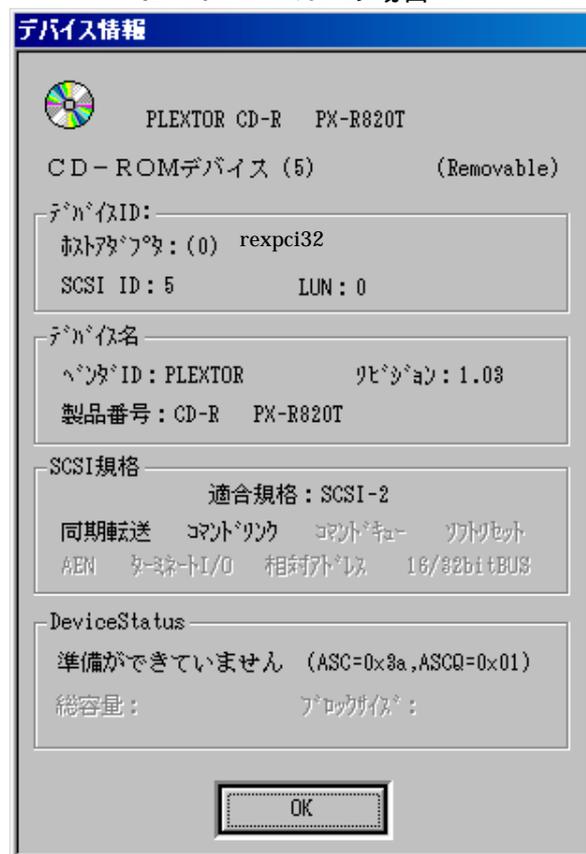
ハードディスクドライブの例



MOドライブの例



CD-ROM Writer の場合



Device Status の欄に「準備ができていません」と表示されますが、CD-ROM、CD-R、リムーバブルディスク等では、メディアが挿入されていない場合も「準備ができていません」と表示されます。これで正常な状態です。

7. 起動ディスク(DOS)での使用について

この章では、Windows 98 起動ディスク（フロッピーディスク）または Windows 95 起動ディスク（フロッピーディスク）よりシステム起動して REX-PCI32 に接続した SCSI CD-ROM をアクセスする方法について説明します。

SCSI CD-ROM をアクセスできるようになったあと Windows 98/95 の CD-ROM より SETUP.EXE を起動することが可能となり Windows 98/95 のインストールを行えます。

Windows 98 起動ディスクの編集

Dos

Windows 98 の起動ディスクより、REXP32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 98 の起動ディスクの初期メニューで“Start computer with CD-ROM support”が選択できますが、そのままでは SCSI CD-ROM をアクセスできません。

この CD-ROM は IDE の CD-ROM を示します。SCSI CD-ROM からのインストールの場合以下の手順で編集が必要です。

1. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

変更後：

[CD]

device=himem.sys /testmem:off

device=oakcdrom.sys /D:miscd001

device=btosm.sys

device=flashpt.sys

device=btcdrom.sys /D:miscd001

device=aspi2dos.sys - > 削除

device=aspi8dos.sys - > 削除

device=aspi4dos.sys - > device=ASP950.SYS /D

device=aspi8u2.sys - > 削除

device=aspicd.sys /D:miscd001 - > device=REXCD.SYS /D:miscd001

2. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys を削除します。
3. REX-PCI32 の Setup Disk の DOS ディレクトリより ASP950.SYS と REXCD.SYS を、Windows 98 の起動ディスク(1/2)にコピーします。
4. Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Start computer with CD-ROM support を選択します。

以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

Windows 95 起動ディスクの編集

Windows 95 の起動ディスクより、REX-PCI32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 95 をインストールしたい場合、次の様に行います。
Windows 95 の起動ディスクのままでは、SCSI CD-ROM をアクセスできません。

1. Windows 95 の起動ディスクの CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

```
DEVICE=HIMEM.SYS
BUFFERS=20
FILES=60
DEVICE=BILING.SYS
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC
DEVICE=JKEYB.SYS
```

変更後：

```
                挿入                - > DEVICE=ASP950.SYS /D
                挿入                - > DEVICE=REXCD.SYS /D:OEMCD001
REM  DEVICE=SAMPLE.SYS /D:OEMCD001
LASTDRIVE=Z
```

2. Windows 95 の起動ディスクの AUTOEXEC.BAT に次の記述があることを確認してください。

```
@echo off
PROMPT $P$G
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001    (この記述があることを確認)
```

3. Windows 95 の起動ディスクの SAMPLE.SYS を削除します。
4. REX-PCI32 の Setup Disk の DOS ディレクトリより ASP950.SYS と REXCD.SYS を、Windows 95 の起動ディスクにコピーします。
5. Windows 95 の起動ディスクよりシステム起動します。
以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

Drive Image 起動ディスクの編集

Drive Image にて使用する MO (光磁気ディスク) 等を起動ディスクから認識できるようにします。

ドライブイメージソフトウェアの起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。CONFIG.SYS の内容は次のようになっています。追加部を書き加えます。

```
LASTDRIVE=Z
REM Put Network or CD-ROM Drivers here.
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)      追加
DEVICE=REXDISK.SYS /E        (DISK ドライバ)      追加
```

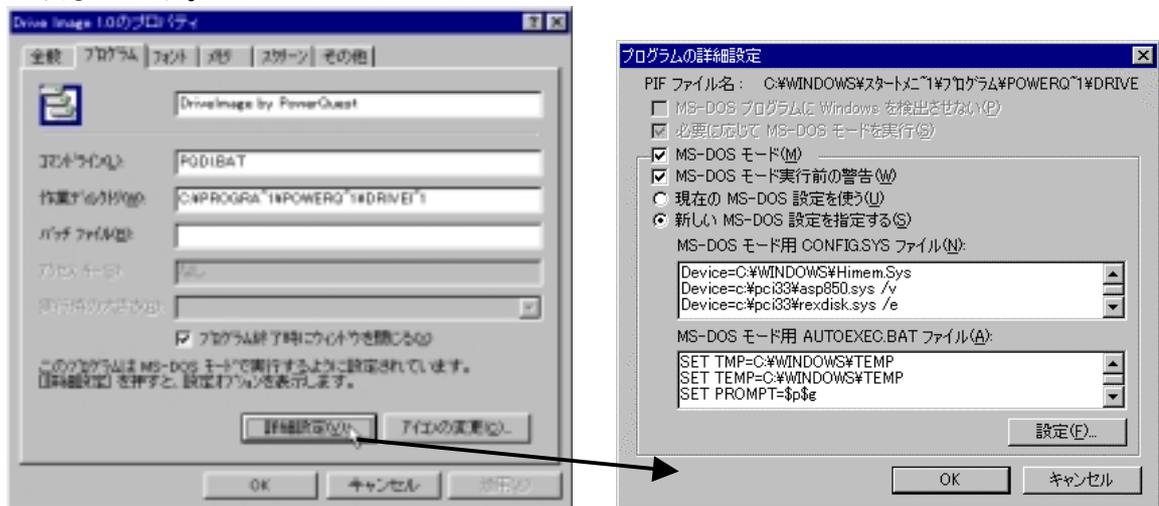
ASP950.SYS、REXDISK.SYS は、本製品添付の Setup Disk よりコピーしてください。REXDISK.SYS が実行されると、MO / ハードディスク等にドライブ名を割り当てます。ドライブイメージのリストア時に、このドライブ名を指定します。

また、MO 等リムーバブル等へバックアップする場合は、REXDISK.SYS 行に /REMOVABLE オプションを追加してください。



Windows 98/95 の Drive Image アイコン起動で、MO 等を認識させるには、以下の場所にある CONFIG.SYS を上記のように修正する必要があります。

[スタート] より右クリックし [開く] を選択し Drive Image のアイコンのプロパティを表示します。



詳細設定を押すと右の画面が出てきますので、新しい MS-DOS 用設定を指定するを選択し MS-DOS モード用 CONFIG.SYS ファイルを編集します。

例のように追加します。

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)      追加
DEVICE=REXDISK.SYS /E        (DISK ドライバ)      追加
```

PCI32 ディレクトリを作成し、ASP950.SYS と REXDISK.SYS をコピーします。

Drive Image アイコンをクリックするだけで、Drive Image から REXDISK.SYS の割り当てたドライブ名が使用できます。

第7章 起動ディスク(DOS)での使用について

SCSI CD-ROM をアクセスする

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。
CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)  
DEVICE=REXCD.SYS /D:PCMCIACD (CD-ROM ドライバ)
```

の2行を追加します。

AUTOEXEC.BAT の最終行に、以下の記述を追加します。

```
A:¥DOS¥MSCDEX /D:PCMCIACD (CD-ROM Extension)
```

Dos

の1行を追加します。

ASP950.SYS、REXCD.SYS は、本製品添付の Setup Disk よりコピーしてください。MSCDEX は、MS-DOS 6.2 以降の OS よりコピーしてください。

REXCD.SYS が実行されると、デバイス名 PCMCIACD を登録します。

MSCDEX.EXE が実行されると、デバイス名 PCMCIACD を探しそのドライブにドライブ名を割り当てます。

AUTOEXEC.BAT の中に既に MSCDEX の記述がある場合がありますのでそこは削除します。
DVD の CD-ROM のみをアクセスする場合も上記の方法で使用可能です。

SCSI DVD-RAM をアクセスする

Panasonic DVD LF-100J においては MS-DOS をサポートしてありますので以下の方法で使用できます。

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。
CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)  
DEVICE=DVDHOOK.EXE          (DVD Emuration ドライバ)  
DEVICE=MSDRVR.SYS -ot3 -ob -th- -L -o2k (DISK ドライバ)  
DEVICE=MCDPD.SYS /D:OEMCD001 /T3      (PD/CD ドライバ)
```

の4行を追加します。

ASP950.SYS は、添付の Setup Disk よりコピーしてください。

DVDHOOK.EXE、MSDRVR.SYS、MCDPD.SYS は、DVD に添付 (CD-ROM) の DOS 用ドライバからコピーしてください。

MSDRVR.SYS が実行されると、DVD-RAM にドライブ名を割り当てます。

ASP950.SYS のパラメタ

REX-PC132 SCSI ボードのASPI マネージャです。

ASP950.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP950.SYS [/L] [/D]
```

オプション

- /L LUN(Logical Unit NO)
ロジカルユニット NO の取り扱いを指定します。初期値は LUN=0 のみサーチします。
PD、CD-ROM Changer を使用する場合、/L オプションを付加します。
- /D Display (表示)
このオプションを付加すると実行時、各種情報の表示を行います。
表示項目として I/O ポートアドレス、IRQ、接続機器情報があります。

Dos

実行時の表示例

```
REX Universal ASPI Manager x.xx  
ASPI HOST Adapter #0 I/O Port 1000h IRQ 10 SCSI ID 7  
SCSI ID #4 TYPE 5 : MATSHITA PD-2 LF-D100 A106
```

REXCD.SYS のパラメタ

ASPI マネージャ対応の DOS 上で動作する CD-ROM デバイスドライバです。

REXCD.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/U:1]  
[ /ScanID:id+id+.... ] [ /NoScanID:id+id+.... ] [ /N:1 ] [ /E ] [ /HA:0 ]
```

オプション

- /D:<デバイス名>
この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。このデバイス名が「MSCDEX.EXE」の「/D:」オプションに指定するデバイス名になります。
- /U:1
接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合の指定です。
CD-ROM ドライブが 1 台だけ接続されていることを前提として動作する CD-ROM ソフト用のオプションです。接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合は、必ずこのオプションを指定してください。
このオプションを省略した場合、SCSI-ID 番号「0」から「6」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブをすべて登録します。

第7章 起動ディスク(DOS)での使用について

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYSが対象とするCD-ROMドライブのSCSI-ID番号を指定します。

REXCD.SYSは通常SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているCD-ROMドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定のSCSI-IDのみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0と1のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6のSCSI機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対にREXCD.SYSの対象外とするSCSI-ID番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5と6のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6のSCSI機器については検索しません。

Dos

/N:1

接続するCD-ROMドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

「REXCD.SYS」は起動時に、ロジカルユニット番号「0」から「7」を順に検索して接続されているCD-ROMドライブの論理ドライブ数を調べます。ところが、旧型のCD-ROMドライブでロジカルユニット番号「0」以外でアクセスするとドライブ側が異常になる場合があります。このような場合には、必ずこのオプションを指定してください。

また、CD-Changer等ロジカルユニットの指定が必要なドライブの場合にはこのオプションは指定しないでください。

/E

ドライバの表示メッセージを英語にします。

英語DOS環境で使用する場合に指定します。

/HA:0

対象とするホストアダプタの番号を指定します。

省略した場合、0（1枚目）が仮定されます。

/NoPreFetch

ドライブに対してSCSIのPreFetchコマンドを発行しません。

TEAC製CD-RドライブCD-R824K、CD-R56Sを接続する場合、必ず指定してください。

実行時の表示例

```
ASPI マネージャ対応 CD-ROM デバイスドライバ
  REX-CD Ver x.xx yymmdd
  RATOC System, inc.

CD-ROM SCSI_ID: 6 : MATSHITA PD-2 LF-D100
デバイス名 : PCMCIA CD
```

REXDISK.SYS (REXDISKW.SYS) のパラメタ

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するハードディスク / 光磁気ディスク用デバイスドライバです。REXDISKW.SYSは、SCSI-ID番号が 8~15のWideSCSI機器にも対応しています。REXDISK.SYSが対応しているディスクフォーマットは、FAT12およびFAT16です。FAT32には対応していませんのでご注意ください。

REXDISK.SYS (REXDISKW.SYS) の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXDISK.SYS [/Rn1+n2+n3+....] [/LOCK | /UNLOCK]
[A] [/DUMMY] [/REMOVABLE] [/ScanID:id+id+....]
[/NoScanID:id+id+....] [/Hxx[:id+....]] [/E] [/HA:0]
```



オプション

/Rn1+n2+n3+....

光磁気ディスク(M0)等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。SCSI-ID 番号の若い順に指定します。

また、「0」を指定した場合は、ドライバ起動時の状態によって割り当てるパーティション数が決定します。

メディアが挿入されている	メディアに存在する全パーティション数
メディアが挿入されていない	1パーティションのみ

この記述を省略すると「0」を指定した場合と同じ意味になります。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク(M0)等の取り外し可能なメディア用のドアのロック / アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。

この記述を省略すると「/UNLOCK」を指定した場合と同じ意味になります。

/A メディアのフォーマットが「NEC ハードディスク・フォーマット」と同等の場合に、「スリープ属性」のパーティションもドライブとして認識させる指定です。

第 7 章 起動ディスク(DOS)での使用について

/DUMMY

PC-DOS J6.1/V のディスク圧縮機能による不具合を回避するための指定です。

これにより、実際に割り当てるより 1 論理ドライブ余分に論理ドライブを確保します。

ただし、余分に割り当たったドライブにはアクセスできません。

たとえば、接続された機器で 4 ドライブ有効な場合、「/DUMMY」を指定すると以下のようになります。

A	フロッピー (1.44MB モード)	
B	フロッピー (1.44MB モード)	
C	内蔵ハードディスク	
D	フロッピー (1.2MB モード)	
E	フロッピー (1.2MB モード)	
F	SCSI 接続のハードディスク (区画 1)	
G	SCSI 接続のハードディスク (区画 2)	
H	SCSI 接続のハードディスク (区画 3)	
I	SCSI 接続のハードディスク (区画 4)	
J	ディスク圧縮機能との不具合回避用	x
K 以降	ディスク圧縮ドライブ	

Dos

/REMOVABLE

光磁気ディスク(MO)が Windows 3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

光磁気ディスク(MO)を「フロッピーディスクのフォーマット」で初期化することはできません。

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク / 光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

REXDISK.SYS は通常 SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているハードディスク / 光磁気ディスクドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定の SCSI-ID のみ検索させることが可能となり、ドライブの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0 と 1 のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6 の SCSI 機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/Nostart Start Unit の SCSI コマンドを発行しない場合に指定します。

/E ドライバの表示メッセージを英語にします。
 英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

/HA:0
 対象とするホストアダプタの番号を指定します。
 省略した場合、0 (1 枚目) が仮定されます。

実行時の表示例

ASPI マネージャ対応 ハードディスク・MO デバイスドライバ		
REXDISK Ver x.xx yymmdd		
Copyright(C) RATOC System, inc.		
SCSI ID	デバイスタイプ	割り当てドライブ
#1	Hard Disk	F: G:
#6	Removable Media(MO)	H:

Dos

640MB の MO メディアを使用する場合の注意事項

640MB の MO 等の 2K バイト/セクターのリムーバブルメディアを使用する場合で、CONFIG.SYS で SMARTDRV.EXE を組み込んでいる環境では、SMARTDRV.EXE のオプションで「ドライブ名」指定で必ずキャッシュの対象外にしてください。



Dos

8. Windows NT インストール済みにて使用する

Windows NT へのインストール手順を、Windows NT インストール済みのパソコンに REX-PC132 を取り付ける場合で説明します。Server および Workstation は同様に行えます。

本製品添付の Setup Disk を用意してください。

Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加

既に Windows NT がインストールされている環境に REX-PC132 のドライバを組み込む方法を説明します。この作業を進める前に SCSI ボード、SCSI ターミネータ、および Windows NT が正しくインストールされているかを確認してください。

1. パソコンの電源を入れ Windows NT セッションを Administrator のユーザ権限のあるユーザで開始してください。

NT

2. コントロールパネルから [SCSI アダプタ] のアイコンを起動します。

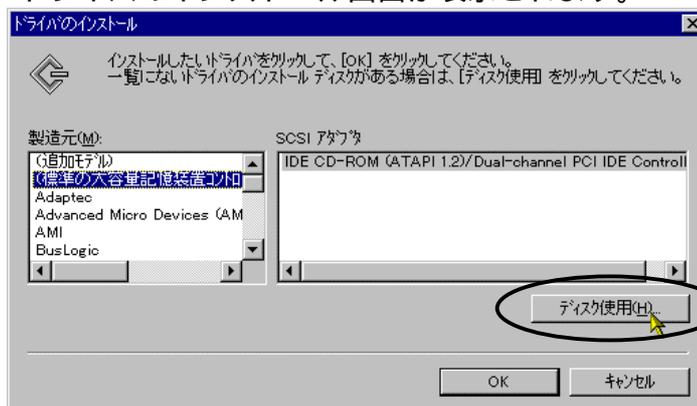


3. SCSI アダプタの画面が表示されます。



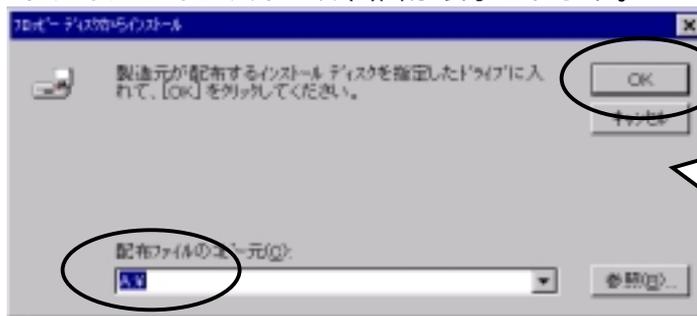
[ドライバ]を選択し、
[追加]を選択します。

4. ドライバのインストール画面が表示されます。



追加するドライバの一覧
から [ディスクを使用] を
選択します。

5. ドライバのインストール画面が表示されます。



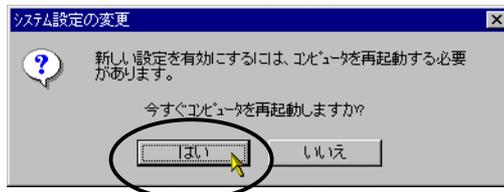
Setup Disk をセットし [A:¥] と入力します。セットアップダイアログで[OK]を選択します。

6. SCSI アダプタの選択画面になります。



RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter を選択し、「OK」を押します。

7. ファイルのコピーが完了するとシステム再起動画面になります。



実行中のプログラムがないことを確認し、Setup Disk を抜き再起動してください。

NT

ドライバ起動の確認

システム再起動時、エラーが出ないことを確認してください。

エラーが出た場合、スタートメニューの管理ツール(共通)のイベントビューワを起動して何がエラーを起こしているか確認してください。

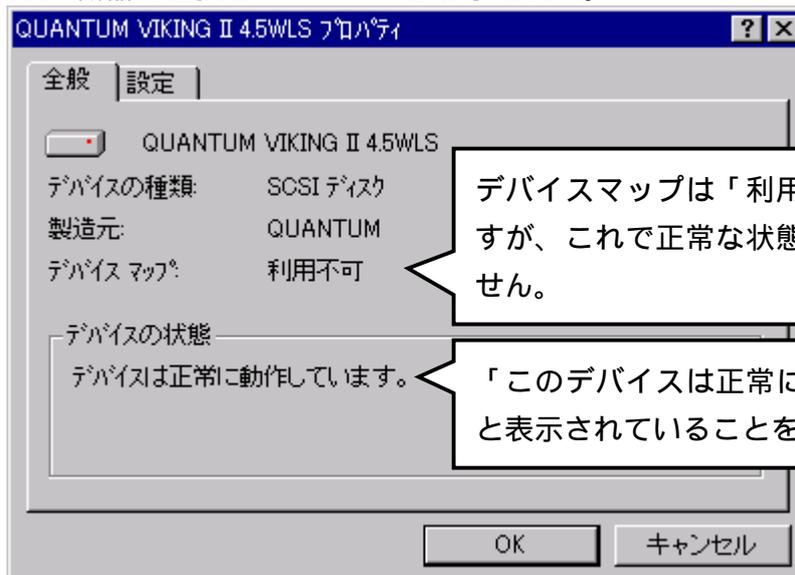
ここでは、ドライバが正しく動作しているかの確認方法について説明します。

再起動後、コントロールパネルの SCSI アダプタを再度起動し、[RATOC REX-PCI32 SCSI HOST Adapter]が追加されていることを確認してそれを更にダブルクリックすると接続してある SCSI 機器が表示されます。

各項目に異常がないか [プロパティ] を押して確認し [OK] を選択します。



SCSI 機器を選択しプロパティを表示します。



第 8 章 Windows NT インストール済みにて使用する

また、システム全体から調査するには、スタートメニューから管理ツールの Windows NT 診断プログラムを起動します。[リソース]のタグで REX-PCI32 が IRQ のどれかに割り当たっていることを確認してください。



REX-PCI32 が表示されていることを確認します。

NT

ドライバの有効/無効の切り替え

資源の衝突等の問題でドライバの起動を一時的に無効にすることができます。

SCSI HD より Windows NT を起動している場合、無効の設定をすると再度 Windows NT が立ち上がらなくなりますので行わないでください。

もし、誤って無効の設定を行ってしまった場合は、Windows NT 起動時のメニューで前回のシステム構成に戻すを選択してください。

1. コントロールパネルの
[デバイス] アイコンを
起動します。



2. デバイスの一覧から REXPCI32 を探します。



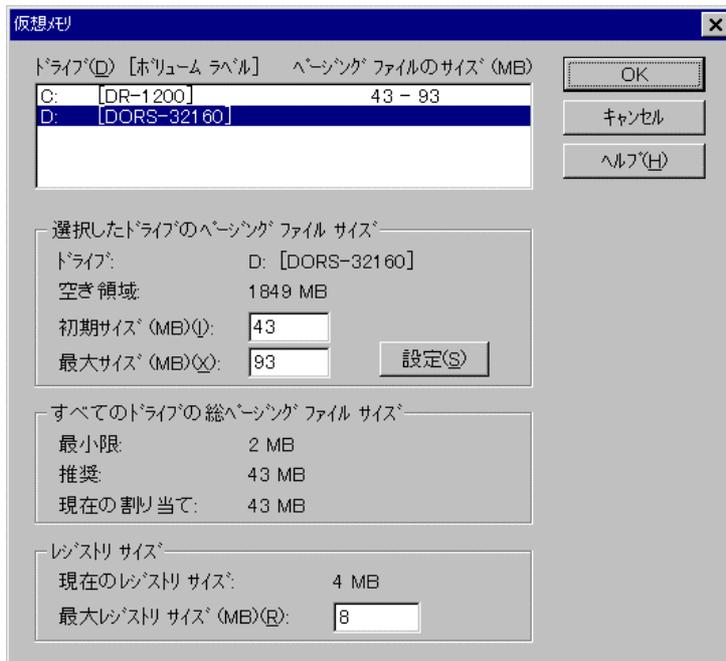
3. 状態が [開始] となっていれば、動作しています。
[ハードウェアプロファイル] を選択します。
次に、[無効] を選択します。
次回システム立ち上がり時、REX-PCI32 は動作しません。
REX-PCI32 と同じ資源を使用する拡張ボードが有効になる可能性があります。

NT

スワップファイルを SCSI ハードディスクに

SCSI ハードディスクより Windows NT4.0 を起動している場合、関係ありません。 EIDE ハードディスクより Windows NT4.0 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

1. マイコンピュータのアイコンを右クリックしプロパティを選択します。
2. システムのプロパティ [パフォーマンス] のタブを選択します。
3. [仮想メモリ] の欄の [変更] を選択します。
4. 仮想メモリの構成を変更します



この例では、C ドライブが EIDE ハードディスクで D ドライブが SCSI ハードディスクです。

D ドライブの構成で初期サイズ、最大サイズを C ドライブと同様の容量を確保するとよいでしょう。

C ドライブの構成は “ なし ” に設定します。

5. システムを再起動してください。
仮想メモリの設定が有効となります。

9. DOS/Windows 3.1で使用する

DOS/Windows 3.1 のインストール手順を SCSI ハードディスクの初期化作業より説明します。

SCSI ハードディスクを御使用頂くと EIDE タイプのハードディスクより、Windows 3.1 の立ち上げ、およびアプリケーションの起動、マルチタスク処理等が快適になります。

DOS システムのインストール

MS-DOSまたはPC-DOSのシステムフロッピーディスクを用意します。

ここでは、例としてIDEハードディスクは接続されてなく、SCSIハードディスクをCドライブとしてここにインストールする場合について説明します。

1. インストールシステムディスクの NO.1 をセットしてシステムリセットしてください。インストーラが立ち上がります。
2. 指示に従って、インストールを行ってください。
インストールの中で FDISK.EXE および FORMAT.EXE が起動されます。
画面の中で、FDISK.EXE で SCSI ハードディスクが参照できれば、基本 DOS 領域の作成を行ってください。できない場合、ハードウェアの接続に問題があります。
接続の確認は、SCSI-BIOS の SCSI コンフィギュレーション <Ctrl + I > を使用して設定の確認ができることを確認してください。
3. SCSI CD-ROM、SCSI MO 等を接続する場合、ASPI マネージャ (ASP950.SYS) をインストールします。また ASPI 対応 CD-ROM ドライバ、ASPI 対応 DISK ドライバをインストールする必要があります。
インストール方法は、後述の「CONFIG.SYS の書き換え」を参照してください。

Dos

CONFIG.SYS の書き換え

本製品添付の SCSI ボード用の各種ドライバを CONFIG.SYS に登録します。
例えば次のような記述を追加します。

```
REM ----REXPC132----  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥ASP950.SYS /L /D  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXCD.SYS /D:MSCD001  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXDISK.SYS
```

Dos

ASP950.SYS

REX-PC132 SCSI ボードのASPIマネジャ。
パラメタの詳細はASP950.SYSのパラメタ(P49)を参照願います。

REXCD.SYS

ASPI仕様のCD-ROMドライバ (ASPIモジュール)。
パラメタの詳細はREXCD.SYSのパラメタ(P49)を参照願います。

REXDISKW.SYS (REXDISK.SYS)

ASPI仕様のハードディスク/MO用ディスクドライバ (ASPIモジュール)。
REXDISK.SYSはWide SCSIに対応していません。
パラメタの詳細はREXDISK.SYSのパラメタ(P51)を参照願います。

AUTOEXEC.BAT の書き換え

DOS システムの CD-ROM エクステンションを AUTOEXEC.BAT に登録します。
例えば次のような記述を追加します。

```
REM ----REXPC132----  
C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001
```

Windows 3.1 での ASPI モジュールの組み込み方法

1. vaspirex.386 と winaspi.dll を
Windows システムディレクトリ (C:¥Windows¥System) にコピーします。
2. SYSTEM.INI ファイルに次の行を追加します。
[386Enh]セクション
device=vaspirex.386 この行を追加
3. システム再起動します。

第 10 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

ハードディスクのフォーマットを実行します。

書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /MO:[ FD | IBM | NEC ] [ /INIT ]  
[ /LABEL:<ボリュームラベル> ] [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

光磁気ディスク (MO) のフォーマットを実行します。

書式 3 - 区画の確保

書式

Dos

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /PAT[<:確保容量>] [/Hxx]  
[ /LABEL:<ボリュームラベル> ]  
[ /KNAME[<:区画名>] ] [ /SLEEP | /ACTIVE ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクに区画を確保します。

書式 4 - 区画の削除

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /DEL:<区画番号> [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクから区画を削除します。

書式 5 - 区画属性の変更

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] [ /SLEEP:<区画番号> | /ACTIVE:<区画番号> ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

NEC HD形式でフォーマットしたメディアの区画属性を変更します。

SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド

REX-PC132に接続されているSCSI機器を確認するためのコマンドです。

このプログラムを実行するには、ASPIマネージャが登録されている必要があります。

Wide-SCSI機器を接続の場合、SSCW.EXEをご使用ください。

ID番号15まで順番にスキャンします。

書式

```
SSC [%Adapter_No] [#SCSI_ID]
```

%Adapter_No ホストアダプタ番号を指定します。
 この指定は、REXFMT.EXE と同様です。

#SCSI_ID 対象 SCSI 機器の SCSI-ID 番号を指定します。
 省略時は、ID 番号 0 から 6 まで順番にスキャンして表示します。

Dos

11. Windows 2000でのREX-PCI32のインストール

ここでは、REX-PCI32 Ultra Wide SCSI PCI BoardをWindows2000上で使用するためのドライバ組み込み手順を説明しています。

本書は、日本語版Windows2000 3で確認した内容を基に説明しています。Windows2000 正式版において内容が異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

使用上での制限

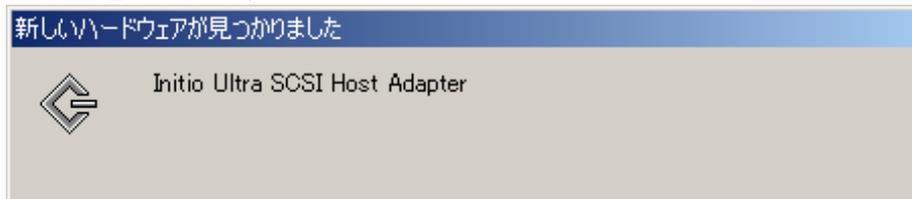
- ・ Device のプロパティにある SCSI プロパティ画面の「タグ付きキューを無効にする」「同期転送を無効にする」を設定しても実際の動作には反映されません。同期転送の設定は、REX-PCI32 の SCSI-BIOS の SCSI コンフィギュレーション「Device Setup」から設定してください。

Win
2000

Initio SCSI Host Adapter としての認識

Windows2000 では、REX-PCI32 が Initio Ultra SCSI Host Adapter として認識され、そのまま自動的にドライバが組み込まれます。

1. 新しいハードウェアとして検出した画面が表示されます。
REX-PCI32 を Initio Ultra SCSI Host Adapter として認識して、ドライバが自動的に読み込まれます。



ドライバインストールの確認

ドライバのインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。
ここでの確認は、パソコン上で REX-PCI32 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。



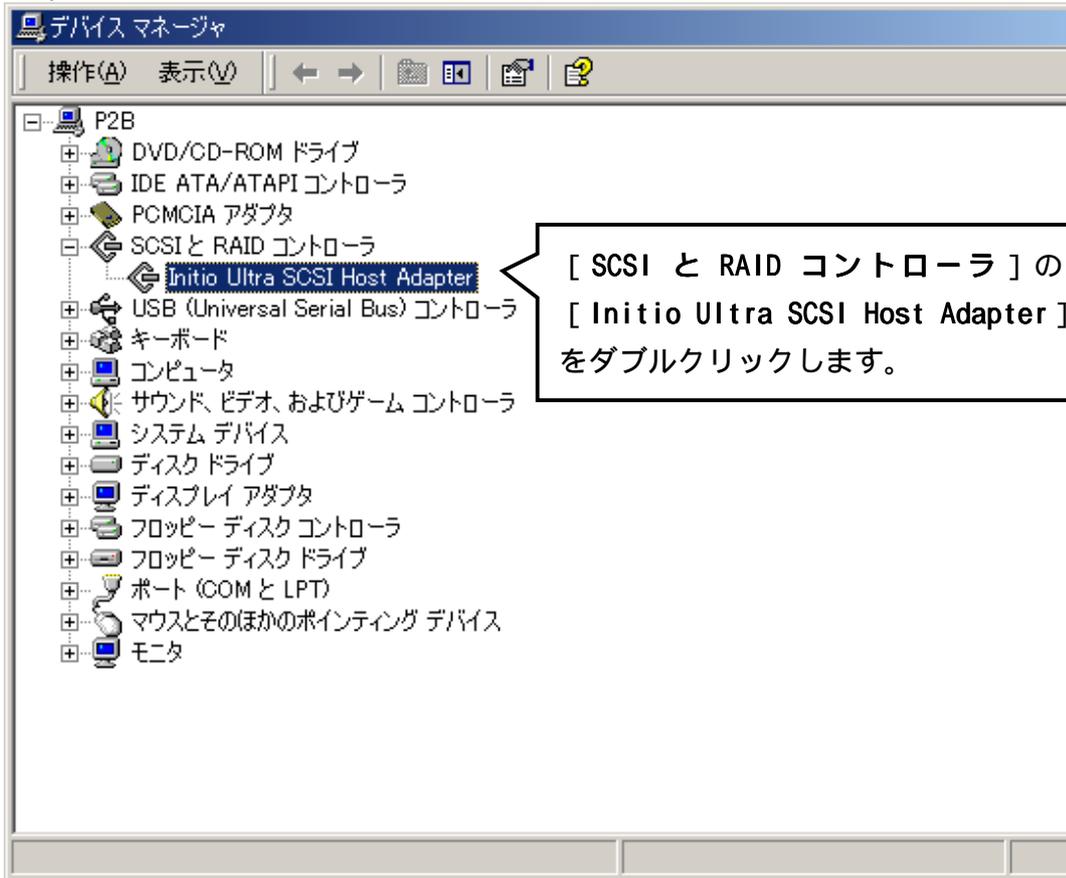
Win
2000

2. [ハードウェア] の画面で「デバイスマネージャ」を選択します。

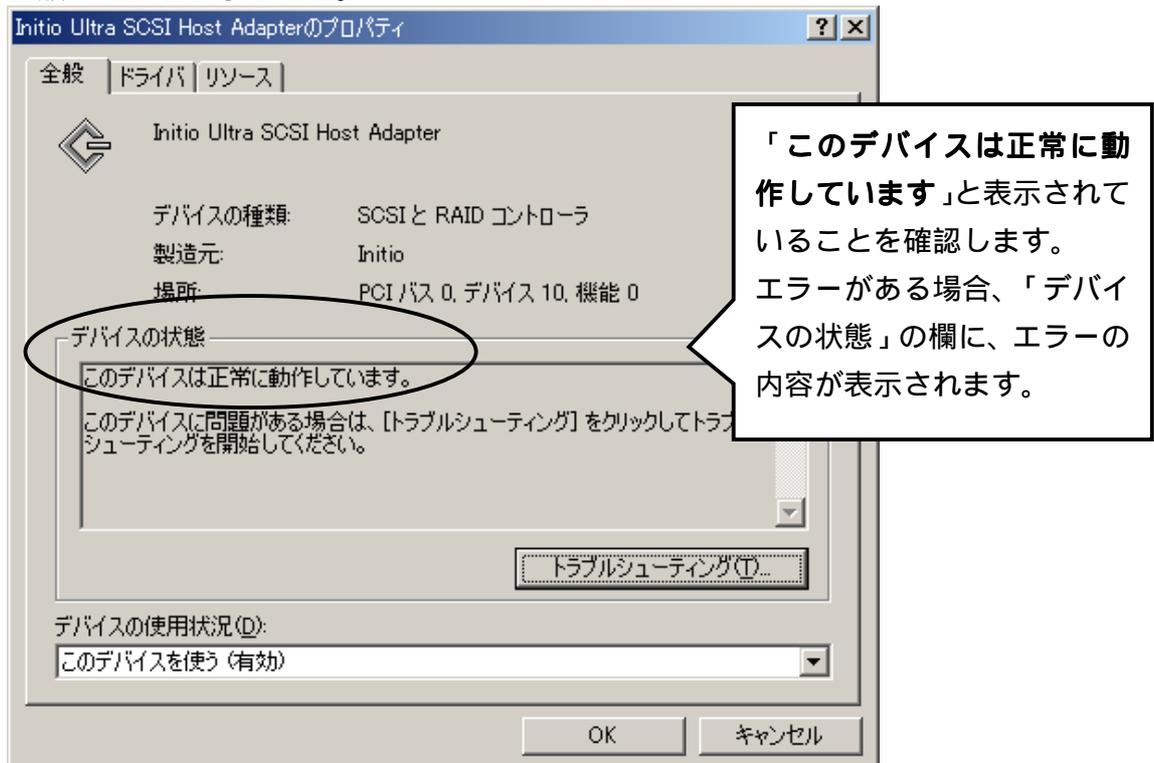


第 11 章 Windows2000 での REX-PCI32 のインストール

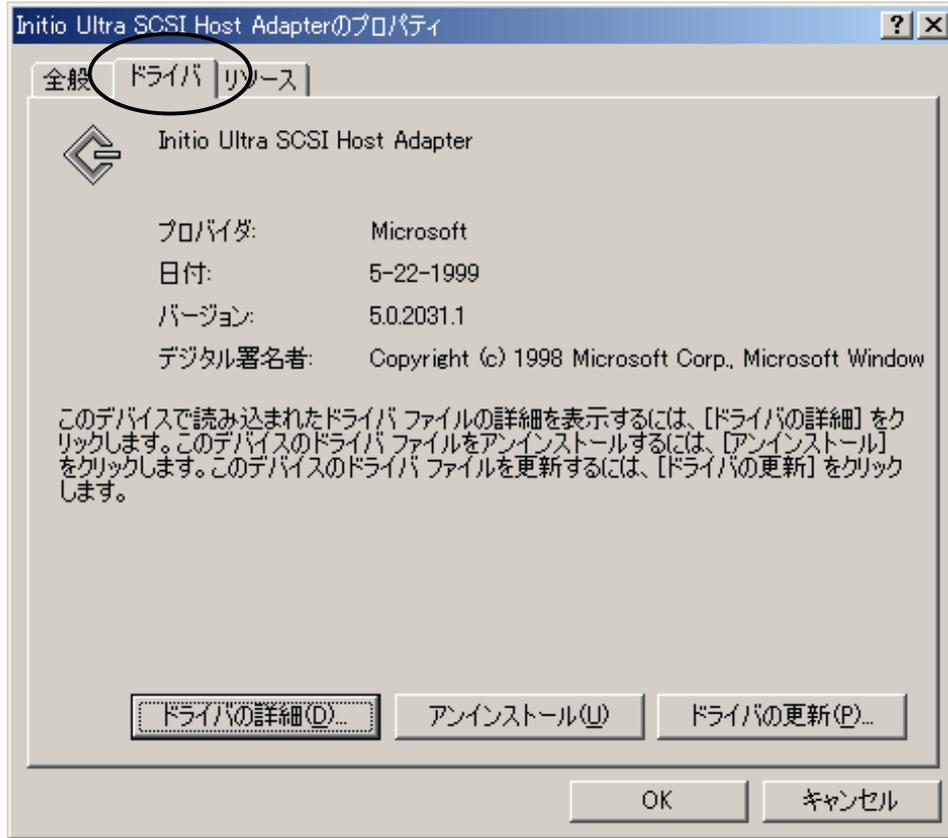
3. [SCSI と RAID コントローラ] をダブルクリックし、[Initio Ultra SCSI Host Adapter] と表示されていることを確認して、さらにダブルクリックします。



4. 全般のタブを表示します。

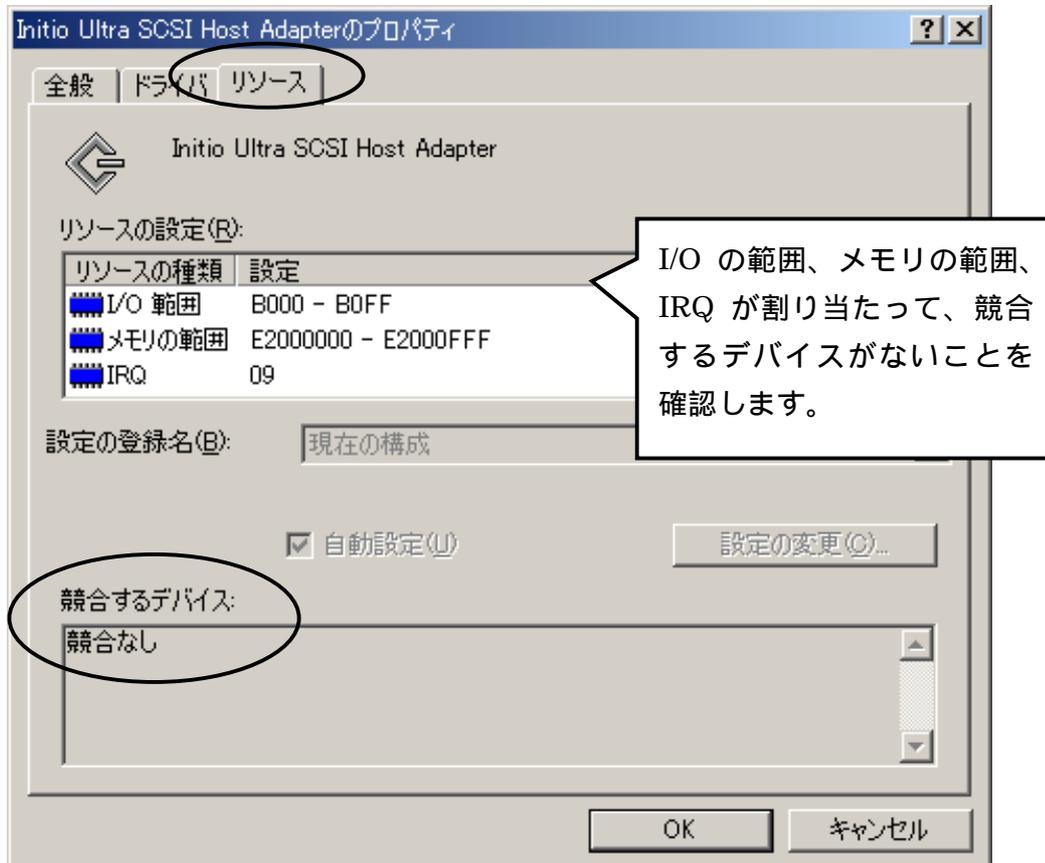


5. ドライバのタブを表示します。



Win
2000

6. リソースのタブを選択します。



以上でドライバインストールの確認は終わりです。

12. 仕様について

この章では、SCSI に関する補足説明を行います。

REXPCI32 SCSI・BUS 仕様

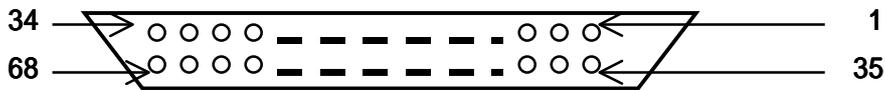
項目	内容
SCSIインターフェイス	Ultra Wide SCSIおよびUltraSCSI シングルエンド データバス幅16ビットおよび8ビット 最大同期転送速度 40MB/Sec (理論値)
インターフェイス	32ビットPCIバス Rev 2.1準拠
データ転送方式	バスマスタ・バースト転送
SCSI内部コネクタ	J1 - 50ピンフラットケーブルタイプコネクタ (2.54ピッチ50Pヘッダ) J2 - 68ピン SCSI-3 Pコネクタ
SCSI外部コネクタ	J4 - ハーフピッチ50ピン (ピンタイプ)
I/Oアドレス	100hバイト xx00h ~ xxFFh PCI BIOSより割り当て
BIOSメモリ	32Kメモリ空間 PCI BIOSより割り当て

REXPCI32 環境仕様

項目	内容
DC電圧	5.0V ± 5%
サイズ	奥行き127mm × 高さ85mm (突起物を除く)
動作保証温度	0 ~ 55 (結露しないこと)
相対湿度	10 ~ 90 (結露しないこと)

J1 接続コネクタ仕様

フラットケーブル用ピンオス PCS-68 LFDT 相当 (内蔵)



信号名	Pin NO	Pin NO	信号名
N/C	1	35	SD12
N/C	2	36	SD13
N/C	3	37	SD14
N/C	4	38	SD15
N/C	5	39	SDP1
N/C	6	40	SD0
N/C	7	41	SD1
N/C	8	42	SD2
N/C	9	43	SD3
N/C	10	44	SD4
N/C	11	45	SD5
N/C	12	46	SD6
N/C	13	47	SD7
N/C	14	48	SDP0
GND	15	49	GND
GND	16	50	GND
TERMP	17	51	TERMP
TERMP	18	52	TERMP
N/C	19	53	N/C
GND	20	54	GND
GND	21	55	ATN-
GND	22	56	GND
GND	23	57	BSY-
GND	24	58	ACK-
GND	25	59	RST-
GND	26	60	MSG-
GND	27	61	SEL-
GND	28	62	CD-
GND	29	63	REQ-
GND	30	64	IO-
N/C	31	65	SD8
N/C	32	66	SD9
N/C	33	67	SD10
N/C	34	68	SD11

13 . トラブルシューティング

REX-PCI32 を使用する場合の主なトラブルシューティングについて説明します。
本製品添付の Setup Disk の README.TXT ファイルにも追加情報がありますのでご覧ください。また、最新の情報については、インターネットの弊社ホームページ上の FAQ (質問と回答) のコーナーをご覧ください。

オペレーティングシステム共通トラブル

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合

Q:

SCSI ボードが起動しません。(SCSI-BIOS スタート画面が表示されない)

A1:

PCI スロットにしっかり装着されていない場合がよくあります。
一度、SCSI ボードを抜いて別の PCI スロットへ差し替えてみてください。

A2:

パソコンメーカーのロゴ画面が表示されていて、SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、ロゴ画面の裏で表示されている場合があります。試しにパソコンメーカーのロゴ画面表示中に [ESC] キーを押してみてください。

A3:

PCI スロットを搭載した初期のパソコンでよく起こります。
これはパソコンが完全にプラグアンドプレイに対応していないために発生します。
パソコンのシステム BIOS の変更を起動 (パソコン起動時に何を押しせば起動できるか表示されています) して PCI スロットの構成変更を行ってください。
そこで、PCI スロットの番号 (REX-PCI32 をセットしたスロット番号) の定義に、割り込み番号を IRQ=11 を、I/O アドレスを FF00H に予約定義してください。
システム BIOS の変更を終了するとき構成を保存してください。

IDE の CD-ROM が使えない場合

Q:

IDE の CD-ROM が使えなくなりました。

A:

使用するパソコンによっては、セカンダリのマスタに接続してある CD-ROM が使えなくなる場合があります。この場合、セカンダリのスレーブに接続するか、プライマリのスレーブに接続を変更してください。

FUJITSU M0(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q:

FUJITSU M0 を採用している古い M0 ドライブを接続するとハングアップします。

A:

FUJITSU M0 を採用している比較的古い M0 ドライブでこのような現象が発生することがあります。

ハングアップする場合、以下の手順で転送速度を 10MB/s に設定してください。

1. REX-PCI32 に接続している SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーション (SmartSCSI) を起動します。
SCSI-BIOS のスタート画面で<Ctrl+I>を押すと SCSI コンフィギュレーションが起動します。
3. FUJITSU M0 に該当する SCSI-ID の「転送方式」の値を 10MB/s に変更します。
4. 設定値を書き込み後、システムを終了してパソコンの電源を切ります。
5. REX-PCI32 に SCSI 機器を接続してパソコンを起動します。

SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合

Q:

REX-PCI32 の起動画面を表示しないようにしたい。

A:

起動画面を表示しないようにできません。必ず表示されます。

表示されない場合、パソコンが REX-PCI32 を認識していません。

SYSTEM-BIOS の種類によっては、表示が崩れる場合もありますが、動作に問題ありません。また、SCSI-BIOS を無効 (Disable) にできますが、非表示にはできません。

REX-PCI32 を装着するとシステム起動が遅くなる場合

Q:

REX-PCI32 を導入する前に比べて、システム起動時間が遅くなりました。

A:

仕様です。システム起動時にパソコンが REX-PCI32 を認識する処理と REX-PCI32 が接続している SCSI 機器を認識する処理が追加されるため、システム起動が 10 秒から 20 秒ほど遅くなります。起動が遅くなる時間がこの範囲であれば正常に動作しています。

PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合

Q:

PC98-NX (Fine を除く) で REX-PCI32 に接続したハードディスクより起動したいのですがどうすればできますか。

A:

DOS/V と同様、内蔵 HD を未接続(プライマリマスタをなし)にして(または取り外して)しまえば可能ですが、内蔵 IDE を D:ドライブとして使用することが可能です。

1. システム起動画面で「F2」を押して BIOS セットアップ画面を表示します。
2. 「起動」のタグより 1. ~ 4. の中に [取外し可能デバイス] があることを確認します。
3. 「ハードディスク」を選択します。 1. に [その他の起動ドライブ] がくるように設定します。
4. 設定を保存してシステム再起動してください。SCSI ハードディスクより起動を開始します。 [起動時のメニュー] が表示されるようになります。Enter を押してください。

Windows98/95 のトラブル

REX-PCI32 のドライバを完全削除するには

Q:

インストールの途中で、Setup Disk からの読み込みを行わず「完了」を押してしまいました。再度、REX-PCI32 を装着しましたが、新しいハードウェアの追加が行われません。

A:

インストールに失敗した場合など REX-PCI32 環境を完全に取り除く方法を説明します。以下の 3 つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- ドライバファイルと INF ファイルの削除
- レジストリの削除

デバイスツリーからの削除

1. コントロールパネルを開きます。
[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。
[システム] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。
[デバイスマネージャ] タグを選択するとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. SCSI BOARD を削除します。
[SCSI コントローラ] の [+] をクリックして [RATO C REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter...] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。
SCSI コントローラにない場合 [その他のデバイス] の [+] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。

ドライバファイルと INF ファイルの削除

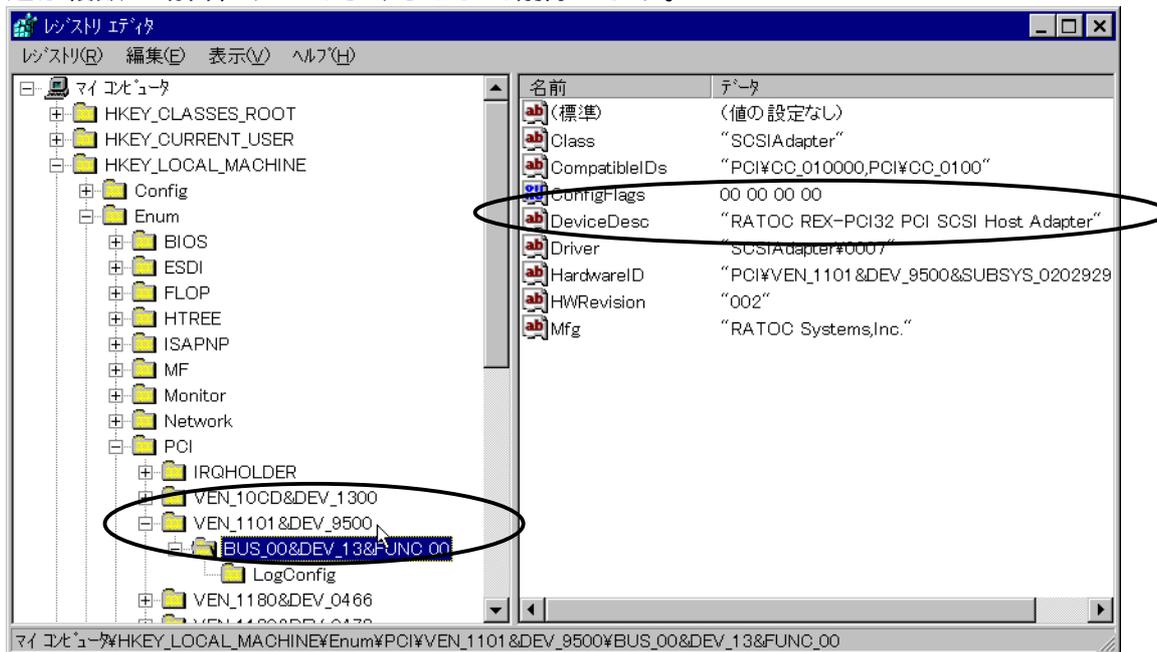
1. [マイコンピュータ] を開き、[表示(V)] - [オプション(O)] にて [すべてのファイルを表示(S)] をチェックします。
2. [スタート] ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。
3. [名前(N):] に「REXPCI32.MPD」と入力します。
4. [探す場所(L):] に Windows 98/95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [検索開始(I)] をクリックします。
6. [REXPCI32.MPD] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常 [Windows\system\iosubsys] ディレクトリにあります。
7. [名前(N):] に「PCI32RATOCREXPCI32.INF」と入力します。

8. [探す場所(L):] に Windows 98/95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [検索開始(I)] をクリックします。
10. [PCI32RATOCREXPCI32.INF] が表示されたら、ファイルを開いて REX-PCI32 の情報ファイルであることを確認します。
そのファイル(PCI32RATOCREXPCI32.INF)を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常[Windows¥inf¥other]ディレクトリにあります。

レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分に注意してください。

1. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. [名前(0):] に「REGEDIT」と入力して [OK] ボタンをクリックします。
3. [HKEY_LOCAL_MACHINE] - [Enum] - [PCI] と順番に開きます。そして、文字列が [RATOC REXPCI32 PCI SCSI Host Adapter] と登録されているか確認します。そのキー (VEN_1101&DEV_9500) を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。



4. 削除したらレジストリエディタを終了します。
これで完全にドライバは削除されました。

Windows 98 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバFD を入手したのだが組み込みには？

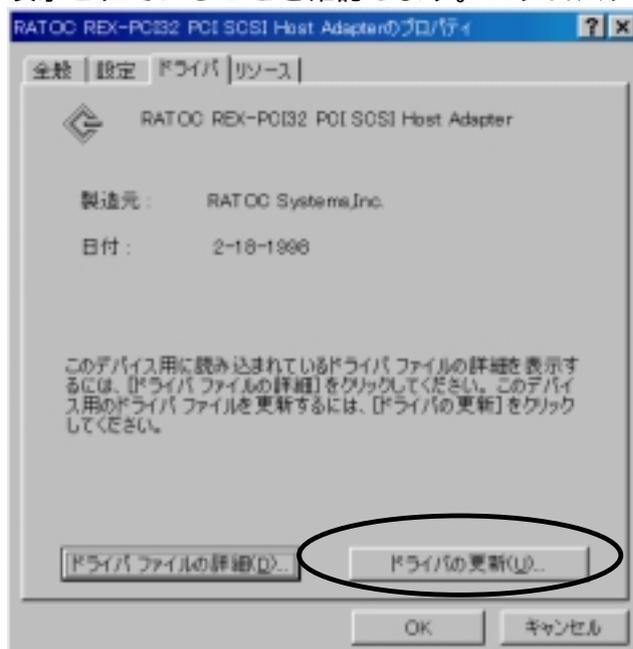
A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI32 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCI32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

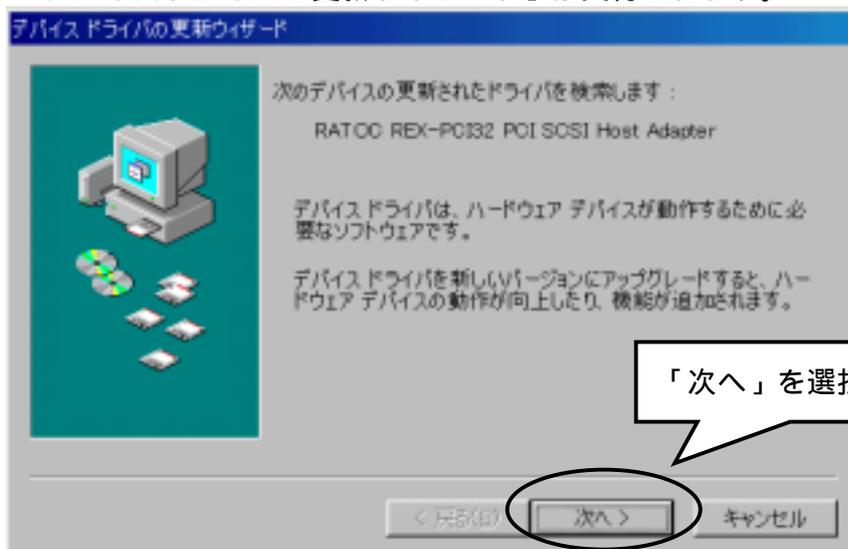
新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。
2. SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter」と表示されていることを確認します。「プロパティ」「ドライバ」を表示します。



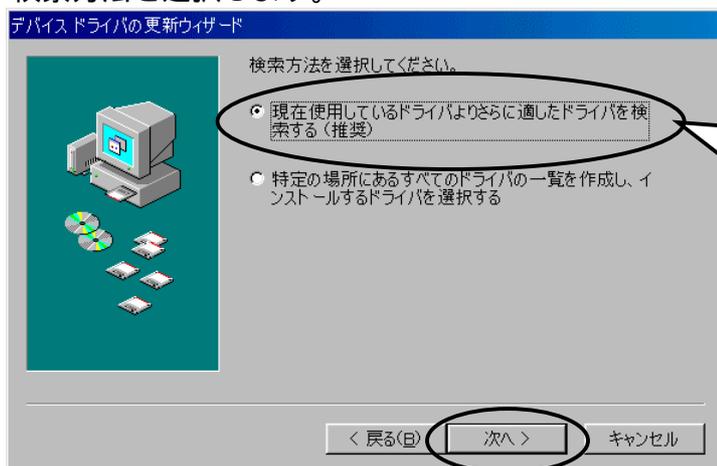
「ドライバの更新」を押しします。

3. 「デバイスドライバの更新ウィザード」が実行されます。



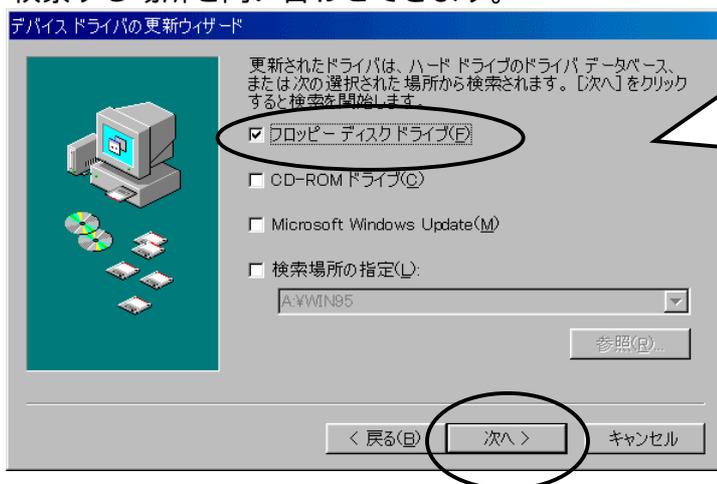
「次へ」を選択します。

4. 検索方法を選択します。



「さらに適したドライバを検索する(推奨)」を選択します。
「次へ」を選択します。

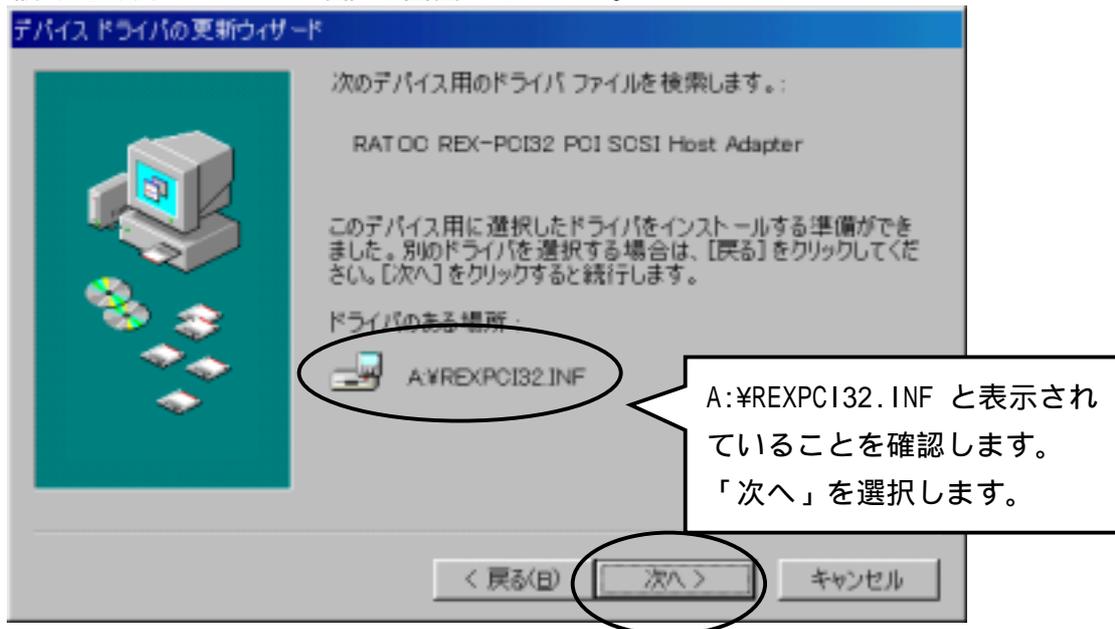
5. 検索する場所を問い合わせてきます。



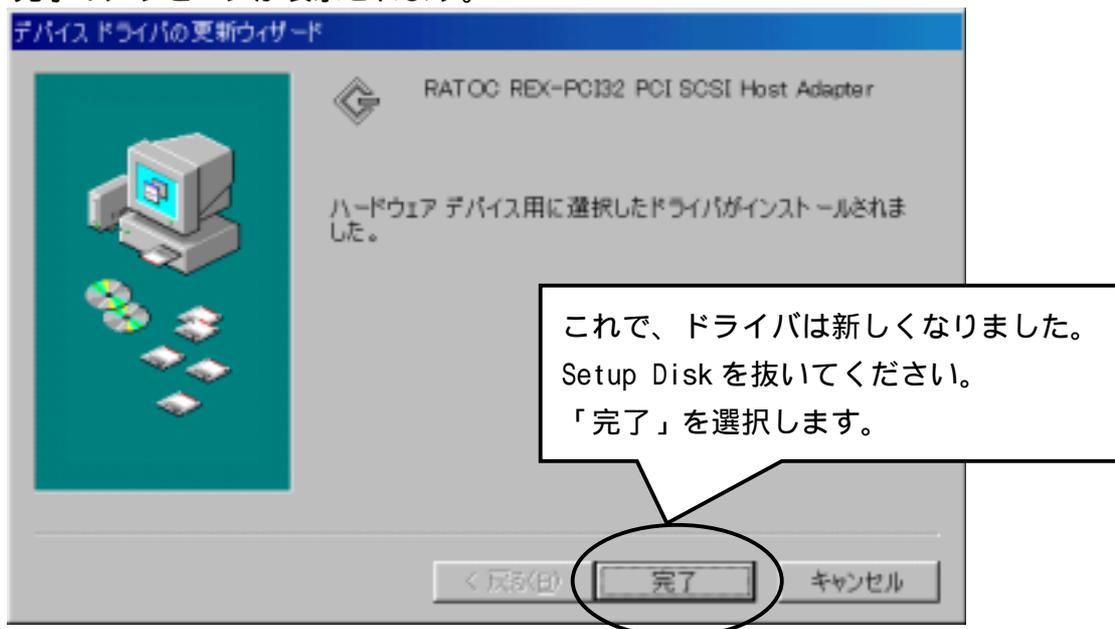
「フロッピーディスクドライブ」を選択し、先ほど作成した新しい Setup Disk をセットします。「次へ」を選択します。

第 13 章トラブルシューティング

6. 読み込み元のドライバ確認の画面になります。



7. 完了のメッセージが表示されます。



更新されたかどうかの確認を行います。

1. 再度ドライバのタグを選択します。
製造元の日付が新しくなっています。
「ドライバファイルの詳細」を選択します。
2. ドライバの詳細が表示されます。
お問い合わせの際、このバージョンをお知らせください。

Windows 95 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバFDを入手したのだが組み込みには？

A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI32 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCI32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。
SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter」と表示されていることを確認します。RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter を選択し、「プロパティ」を表示します。
2. ドライバのタグを表示します。
「ドライバの更新」を押します。
3. デバイスドライバウィザードが開始されます。
新しい Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットして、「自動検出をする」を選択します。
「次へ」を選択します。
4. ドライバ発見のメッセージが表示されます。
このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。と表示されることを確認して、「完了」を選択します。

5. 以下の画面が表示される場合があります。



「OK」を押します。

6. ファイルのコピー元を入力する画面になります。
フロッピーディスクドライブを選択し、「OK」を押します。
コピーが開始され、ドライバの更新が完了します。
Setup Disk を抜いてください。

5.6. については表示されない場合もあります。コピーが開始され、新しいドライバが実行されます。古いドライバに戻す場合、一度ドライバの削除(P74)を行い、以前の Setup Disk を使用して新規インストールしてください。

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合

Q:

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりします。

A:

- ・ SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。
- ・ ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。
- ・ SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内(Ultra の場合)であるか確認してください。
外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。
SCSI 機器の台数を減らしてみてください。
- ・ SCSI 機器台数が多いと自動ターミネータが正しく動作しない場合があります。
SCSI コンフィギュレーションの SCSI-BIOS の設定を実行して手動設定してください。

SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合

Q:

SCSI 機器に対して転送速度を設定したい。

A:

オペレーティングシステムでの設定は、有効となりません。

Windows 98/95 のデバイスマネージャのディスクドライブのプロパティ表示での「同期データ転送」設定は有効となりません。

SCSI-BIOS の設定を使用して、転送方式の項目で該当する SCSI 機器の速度に設定してください。

ドライバがインストールされていないとなる場合

Q:

ドライバのインストールが正しく行われたにも関わらず、プロパティの画面でインストールされていないと表示され黄色の(!)エクスクラメーションマークになります。

A:

SCSI 機器との転送不具合の場合にこのようになります。

一度 SCSI 機器の電源を OFF にして立ち上げます。ドライバのプロパティが正常に動作していますと表示されていることを確認し、システム再起動して SCSI-BIOS の設定から最大同期転送速度を現在の設定値より小さな値に設定してください。

全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合

Q:

コントロールパネルのシステムのプロパティのパフォーマンスを見ると「全体的なシステムのパフォーマンスが低下します」と表示されているのですがどうしてでしょうか。

A:

16 ビット版 ASPI マネージャ (ASP950.SYS) が登録されているためです。
CONFIG.SYS を編集して ASP950.SYS をコメントにしてください。

その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。
ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。ドライバディスクをセットしドライバの場所を選択してインストールします。

その他のデバイスに PCI Bridge として登録される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI Bridge を選択し、削除キーを押してください。
システム再起動により“新しいハードウェア”の画面が表示されます。
後は、本文の記述に従ってインストールしてください。

PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合

Q:

ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示しようとしてありません。

A:

PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。
[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンスモード]を実行してください。
また、レジストリエディタを起動する場合も同様です。

SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q:

REX-PCI32 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A:

Windows NT の場合、ディスクアドミニストレータでドライブ名の変更を行ってください。Windows 95 の場合、システムプロパティで MO, CD-ROM 等はドライブ名の変更ができません。REX-PCI32 の SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」の項目を No : にします (コントロールしない)。

UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合

Q:

Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続ユーティリティ (WinSSC) で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A:

適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

UltraSCSI 対応の機器であってもその SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返す場合は、「SCSI-3」と表示されます。

ほとんどの UltraSCSI ハードディスクは「SCSI-2」を返します。詳細についてはドライブメーカーへお問い合わせください。

不明なデバイスが検出されると表示の場合

Q:

スキャナを接続して REX-PCI32 をインストールすると「不明なデバイスが検出されました」と表示してドライバの読み込みが行われません。

A:

「不明なデバイスが検出されました」の表示は REX-PCI32 に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。スキャナに Windows 98/95 のドライバ (INF) が添付されている場合は、デバイスドライバウィザードで読み込ませてください。添付されていない場合は、「完了」を押してください。次回からこのメッセージは表示されなくなります。詳しくは、スキャナメーカーにお問い合わせください。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が認識されない

Q:

Windows 98/95 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95)にて、接続されている CD-R, CDRW, DVD を認識できません。Windows 98/95 用 SCSI 機器確認ユーティリティでは確認できるのですが。

A:

Windows 98/95 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95)は、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを対象としています。CD-ROM、CD-R、CDRW、DVD は対象としていません。初期化が必要な場合、ドライブメーカーにお問い合わせください。

SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される

Q:

Windows 98/95 用 SCSI 機器確認ユーティリティ (WINSSC)にて、接続されている CD-R, CDRW, MO 等を確認すると、Device Status の欄に「ドライブの準備ができていません」と表示されます。

A:

CD-ROM、CD-R、MO 等の場合、メディアが挿入されていないときには、「ドライブの準備ができていません」と表示されます。これで正常です。メディアを装着し、再度画面表示しますと「Ready」となります。

WindowsNT のトラブル

スキャナを検出できない場合

Q:

スキャナソフトを起動すると、スキャナを検出できないというエラーが表示されて使用できません。

コントロールパネルの SCSI アダプタから確認するとスキャナは認識できています。

A:

Windows NT4.0 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) が組み込まれていない場合に発生します。

REX-PCI32 には、Windows NT4.0 用の ASPI マネージャは添付しておりませんので、市販の Windows NT4.0 用の ASPI マネージャを別途ご用意ください。

ドライブ名が割り当たらない場合

Q:

RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter の下に OLMPUS MOS341 (例) と表示されているが、マイコンピュータにリムーバブルアイコンが表示されません。

A:

D: ドライブに CD-ROM 等のアイコンがあり、それが D: ドライブ固定としてある場合おこります。ドライブ固定の設定を止めるか他のドライブ名を割り当てます。

変更の方法は、ディスクアドミニストレータで CD-ROM を選択状態にして「ドライブ文字の変更」を行います。

SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q:

REX-PCI32 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A:

ディスクアドミニストレータでドライブ名の変更を行ってください。

MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合

Q:

MO または PD をアクセスするとパラメタに誤りがありますと表示されます。

A:

フォーマットすることにより回避できます。以下の方法で行います。

1. 管理ツールのディスクアドミニストレータを起動します。
2. MO の領域が " 空き領域 " になっていることを確認します。それを選択します。
3. 「パーティション」 「作成」を実行し、作成するパーティションサイズを全領域にします。
4. " 空き領域 " が " 未フォーマット " に変わります。
5. 「パーティション」 「今すぐ変更を反映」を実行します。
6. " ディスク構成を変更しました " と表示されます。「保存しますか」で「はい」を選択。
7. " ディスクは正常に更新されました " と表示されます。
8. 「ツール」 「フォーマット」を実行します。「開始」を押します。
9. マイコンピュータからリムーバブルディスクでアクセスが可能になります。

DOS/Windows3.1 のトラブル

PD、Changer の一部が認識できない場合

Q:

DOS/Windows 3.1 で PD の CD-ROM が使用できない。または Changer の 2 枚目以降が使用できない。

A:

ASP950.SYS の /L オプションを付加してください。

「ASP950.SYS Installation Successful」と表示後ハングする場合

Q:

DOS 用 ASPI マネージャ ASP950.SYS の組み込み時、「ASP950.SYS Installation Successful」と表示後、そのままパソコンがハングアップします。

A:

EMM386.EXE Version 4.48 以前を組み込んでいる場合に発生します。Version 4.49 以降へ変更すれば正常に動作します。

Windows98 や Windows95 に標準で含まれている EMM386.EXE は Version 4.49 以降です。また、NIFTY-Serve の FMSPOS (Microsoft POS Users Forum) データライブラリの修正モジュール 10 番 NEWEMM.EXE – EMM386.EXE 修正版からも入手可能です。

ハングアップする原因は、EMM386.EXE の Version 4.48 以前が PCI の 32 ビット Configuration Space へのアクセスをサポートしていないためです。

記入例 ：RATOC REX-PCI32V 質問用紙（拡大コピーの上ご記入ください）

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名	ラトックシステム株式会社			
	所属・部署				
氏名	ラトック 太郎				
住所	〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル				
TEL	06-6633-8263	FAX	06-6633-8295	E-Mail	xxx@rexpccard.co.jp
製品型番	REX-PCI32V	シリアル番号	PB32xxxxxxx	NIFTY	XXX1234
販売店名	アール・ピー・エス		購入年月日	1999/12/20	

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	自作機 (ASUS P2B-F Pentium 400MHz)
使用 OS	Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows 95 Windows NT4.0 DOS/Windows 3.1
接続 SCSI 機器に関する情報	<p>接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。 拡張 Slot: Slot 1 REX-PCI32V 通常 CPU に近いほうが Slot 1 Slot 2 REX-CBS51</p> <p>ドライバのバージョン REXPCI32.MPD ファイルのプロパティ 2.14 (1998 4 13 9:24)</p> <p>SCSI 構成: WINSCC で表示される ID:0,LUN:0 (HardDisk) IBM DCAS-34330 ID:6,LUN:0 (CD-R) YAMAHA CRW4260</p>

質問内容：

CDR ドライブを増設したら動作が不安定になりました。

今まで正常に動作していた内蔵のハードディスクも不安定になりました。

それぞれ単体で接続した場合には問題ありません。

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT SYSTEM.INI

Win95 デバイスマネージャのシステム概要 ¹ Windows NT 診断プログラムのレポート ²

1 デバイスマネージャのシステム概要 (Windows 95/98 のみ)

- (1) デバイスマネージャから [印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

2 Windows NT 診断プログラムのレポート (Windows NT のみ)

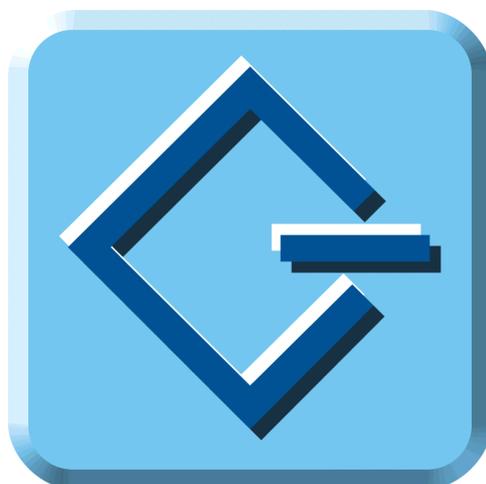
- (1) Windows NT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから [レポートの印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) すべてのタブ、詳細レベル概要を選択して [OK] ボタンを押します。ファイルに出力してメールにて送信できます。



Ultra Wide SCSI PCI BOARD

REX-PCI 32V

For DOS/V
ユーザーズマニュアル



1999年 12月
第 1.0 版

目次

ユーザーズマニュアル

はじめに	1
ご注意	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
本文中の記号説明	2
製品の特徴	4
対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)	5
梱包品について	6
お問い合わせをする前に	7
製品に関するお問い合わせ	8
1 . REX-PCI32 について	9
添付のソフトウェアについて	9
制限	9
空きの IRQ を確認する	10
Windows 98/95 の場合	10
Windows NT の場合	11
DOS/Windows 3.1 システムの場合	12
2 . SCSI ボードの取り付け	13
接続できる台数とケーブルの長さ	16
ケーブル接続例	17
3 . パソコンの PCI バスの確認・設定	21
PCI バスの確認	21
4 . SCSI コンフィギュレーションの設定	23
SCSI-BIOS メニュー	23
5 . Windows 98/95 インストール済みにて使用する	29
Windows 98 ミニポートドライバのインストール	29
Windows 95 ミニポートドライバのインストール	33
Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認	35
SCSI ユーティリティのインストール	38
SCSI 機器の確認	39
スワップファイルを SCSI ハードディスクに	40
6 . Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて	41
REXFMT95 - Windows 98/95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ	41
WinSSC - Windows 98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ	43

目次

7 . 起動ディスク (DOS)での使用について	45
Windows 98 起動ディスクの編集	45
Windows 95 起動ディスクの編集	46
Drive Image 起動ディスクの編集	47
SCSI CD-ROM をアクセスする	48
SCSI DVD-RAM をアクセスする	48
ASP950.SYS のパラメタ	49
REXCD.SYS のパラメタ	49
REXDISK.SYS (REXDISKW.SYS) のパラメタ	51
8 . Windows NT インストール済みにて使用する	55
Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加	55
ドライバ起動の確認	57
ドライバの有効/無効の切り替え	59
スワップファイルを SCSI ハードディスクに	60
9 . DOS/Windows 3.1 で使用する	61
DOS システムのインストール	61
CONFIG.SYS の書き換え	62
AUTOEXEC.BAT の書き換え	62
Windows 3.1 での ASPI モジュールの組み込み方法	62
10 . DOS 用 SCSI ユーティリティについて	63
REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド	63
書式 1 - ハードディスクの初期化	63
書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化	64
書式 3 - 区画の確保	64
書式 4 - 区画の削除	64
書式 5 - 区画属性の変更	64
SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド	64
11 . Windows 2000 での REX-PCI32 のインストール	66
使用上での制限	66
Initio SCSI Host Adapter としての認識	66
ドライバインストールの確認	67
12 . 仕様について	71
REXPCI32 SCSI ・ BUS 仕様	71
REXPCI32 環境仕様	71
J1 接続コネクタ仕様	72

目次

13 . トラブルシューティング	73
オペレーティングシステム共通トラブル	73
SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合	73
IDE の CD-ROM が使えない場合	73
FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合	74
SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合	74
REX-PCI32 を装着するとシステム起動が遅くなる場合	74
PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合	75
Windows98/95 のトラブル	76
REX-PCI32 のドライバを完全削除するには	76
Windows 98 でドライバ更新する場合	78
Windows 95 でドライバ更新する場合	81
データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合	83
SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合	83
ドライバがインストールされていないとなる場合	83
全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合	84
その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合	84
その他のデバイスに PCI Bridge として登録される場合	84
PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合	84
SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	85
UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合	85
不明なデバイスが検出されると表示の場合	85
フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が認識されない	86
SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される	86
WindowsNT のトラブル	87
スキャナを検出できない場合	87
ドライブ名が割り当たらない場合	87
SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	87
MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合	88
DOS/Windows3.1 のトラブル	89
PD、Changer の一部が認識できない場合	89
「ASP950.SYS Installation Successful」と表示後ハングする場合	89

はじめに

このたびは REX-PCI32V Ultra Wide SCSI PCI ボードお買い上げ頂き誠にありがとうございます。今後もドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-PCI32Vの導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-PCI32Vを正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

なお、次ページからの「安全にお使いいただくためにはじめにお読みください」をまずお読みください。

本書では、特に断りのない限りREX-PCI32VのSCSI PCIボードをREX-PCI32と表記します。また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

REX-PCI32VとREX-PCI32の違いについて：

以前より販売していたREX-PCI32と本製品REX-PCI32Vのハードウェア上の違いはありません。

これらの違いはBIOSがサポートする機能および添付ソフトで以下のとおりです。

機能	REX-PCI32V	REX-PCI32
CDブートのサポート	あり	なし
NEC PC-9821サポートのBIOS	なし	あり
NEC PC-9821用ドライバ	なし	あり

ご注意

- ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- ・運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- ・本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・SmartSCSIとはInitio Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ASPIマネージャ、miniportドライバの著作権は、Initio Corporationにあります。
- ・MS-DOS、Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・“REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により、本商標の使用を認められています。
- ・本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本製品のハードウェアおよびソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味を理解してからお読みください。

本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



 分解禁止：発火のおそれがあります

ボードの分解や改造等は絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。



パソコン本体の電源（メイン電源）をオンのまま、REXPCI32 の抜き差しをしないでください。パソコン本体や REX-PCI32 が故障するおそれがあります。また、パソコンによってはフロントパネルスイッチでの電源オフではスタンバイやサスペンド状態になるだけでメイン電源がオフにならない場合がありますので、パソコン本体の取扱説明書でご確認ください。



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。
故障するおそれがあります。



ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与え誤動作することがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。



保管に関するご注意：

本製品を保管する場合、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

- ◆ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
- ◆ チリやほこり、湿気の多い場所
- ◆ 振動や衝撃の加わる場所

製品の特徴

- PCI ローカルバスインターフェース上で動作する Ultra Wide SCSI ボードです。
- 外部コネクタは、ハーフピッチ 50 ピン (Narrow) を採用して従来の SCSI 機器をそのまま接続可能です。
- パソコンとの転送は 32bit データバス、33MHz バスクロック、バスマスタ転送方式により最高 132MB/sec の転送を行います。
- Ultra Wide SCSI 機器との転送は同期転送で最高 40MB/sec (理論値) の転送を行います。
- 将来の BIOS アップグレードに備え、書き換え可能な Flash メモリを採用しています。
- SCSI 機器接続状態を自動検出、ターミネーション自動設定回路を採用しています。
- 高速化の技術でマルチタスク、タグキュー、マルチスレッド、スキップギャザー、ディスクコネクト/リコネクトをサポートしています。
- SCSI-BIOS メニューより、ハードディスク、MO の物理フォーマットをサポートしています。
- SCSI-BIOS は、REX-PCI32 に接続された CD-ROM からのブートをサポートしています。

対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は、PCIローカルバス2.0仕様以降のPCIスロットを装備しているPC/AT互換機、NEC PC98-NXパソコン（ 1 ）に対応しています。

また、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

オペレーティングシステム	DOS/Vパソコン	NEC PC98-NX
Windows 95	対応	対応
Windows 98	対応	対応
Windows NT4.0	対応	対応
DOS/Windows 3.1	対応	未対応 2

1 : NEC PC-9821シリーズには、対応していません。

2 : PC98-NX本体がDOS/Windows 3.1をサポートしていません。

ただし、Windows 98/95起動ディスクでの使用は可能です。

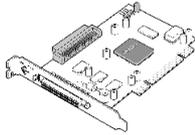
一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社ホームページ(<http://www.rexpccard.co.jp>)でご確認頂くか、弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

梱包品について

REXPC132には以下のものが梱包されています。

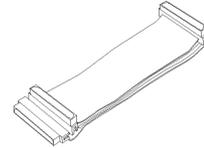
不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

PCI ボード



内蔵用 (UltraWide-68pin)

SCSI ケーブル(注 1)



Setup Disk 1 枚



ユーザズマニュアル



保証書(注 2)



(注1) SCSI ケーブルの長さは約 70cm です。

(注2) 保証書は必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

(注3) 内蔵用 SCSI ケーブル (Narrow-50 ピン)、外付け用 SCSI ケーブルおよび外付け用ターミネータは添付しておりません。
必要に応じてお買い求めください。

お問い合わせをする前に

Windows 98/95 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. REXPCI32 を装着するとパソコン起動時に、SCSI-BIOS の画面が表示されましたか？
詳細記載ページ(P21)を参照ください。

YES NO

2. 新しいハードウェアを見つけましたと表示されましたか？
詳細記載ページ(P29) (P33)を参照ください。

YES NO

3. ドライバインストールの確認で、RATOC REXPCI32 SCSI PCI Host Adapter と表示されましたか？
詳細記載ページ(P35)を参照ください。

YES NO

4. 2. で YES の場合、このデバイスは正常に動作していますと表示されていますか？
詳細記載ページ(P36)を参照ください。

YES NO

5. 3. で YES の場合、SCSI 機器確認ユーティリティ (P39) で接続してある SCSI 機器は表示されていますか？
詳細記載ページ(P39)を参照ください。

YES NO

Windows NT4.0 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. ドライバインストールの確認で、RATOC REX-PCI32 SCSI HOST Adapter と表示されましたか？
詳細記載ページ(P57)を参照ください。

YES NO

2. SCSI アダプタの RATOC REX-PCI32 SCSI HOST Adapter のもとに接続してある SCSI 機器が表示されていますか？
詳細記載ページ(P57)を参照ください。

YES NO

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社
サポートセンター
TEL 0120-033555(SCSI専用 Free Dial)
月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く
FAXでの受付は24時間行っております。
FAX 06-6633-3553
〒556-0012
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

インターネットのホームページでも受け付けております。

ラトックシステムのホームページ
<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor Station E
(SPCVE)
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。

また、インターネット、NIFTY Serve でのご質問時には、Setup Disk 内の quest.txt の書式をご利用ください。

ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

1. REX-PCI32 について

REX-PCI32VはUltra Wide SCSI PCI ホストアダプタボードです。パソコンにUltra Wide SCSI (68pin)のハードディスクや、Ultra SCSI(50pin)のハードディスクを接続するために使用します。

また、50pinSCSIケーブルを使用してMOドライブ、CD-R/RWドライブ、スキャナ等も接続して使用することが可能です。

添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスク (SetupDisk)には次のソフトウェアが含まれます。

[Windows 98/95 用]

- Windows 98/95 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPCI32.MPD)
- Windows 98/95 用インストーラ(SETUP.EXE)
- ハードディスク / 光磁気ディスク用フォーマッタ(REXFMT95.EXE) 1
- 接続 SCSI 機器確認ユーティリティ(WINSSC.EXE) 1

1 : ユーティリティのインストール(P38)を行わないと実行できません。

[Windows NT4.0 用]

- Windows NT4.0 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPCI32.SYS)

[DOS/Windows 3.1 用]

- DOS/V 用 ASPI マネージャ(ASP950.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 DISK ドライバ(REXDISK.SYS, REXDISKW.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 CD-ROM ドライバ(REXCD.SYS)
- Windows 3.1 用 16bit WinASPI (WINASPI.DLL, VASPIREX.386)

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内の README ファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

制限

- ・ SCSI ボードに複数の UltraWideSCSI および UltraSCSI 機器を接続する場合は、ケーブルの総延長が 1.5m を越えないようにしてください。
また、終端には必ずアクティブターミネータを接続してください。
- ・ パソコン本体の割り込み番号 (IRQ) が空いている必要があります。
詳しくは、「空きの IRQ を確認する」(P10)を参照してください。
- ・ PC-9821 で使用していた SCSI ハードディスクは、再フォーマットの必要があります。

第 1 章 REX-PCI32 について

- ・ DOS/V の環境で使用していた LBA 管理されていない SCSI ハードディスクは、再フォーマットが必要な場合があります。
- ・ REXFMT95、REXFMT ではブートディスクの作成はできません。FDISK、FORMAT コマンドをお使いください。
- ・ Windows NT での使用時、SCSI 機器によっては WNASPI32.DLL が必要となる場合があります。別途お買い求めください。
- ・ クロックアップしたパソコンでは誤動作する場合があります。標準の設定でご使用ください。
- ・ パソコンをスリープにする時、SCSI 機器の電源を切ることはできません。

空きの IRQ を確認する

REX-PCI32 を取り付ける前に、使用しているパソコンのリソース、特に IRQ について最低 1 つ以上空きのある状態かどうかを確認してください。

この確認を行わずに REX-PCI32 を装着した場合、パソコンが新しいハードウェアを見つけることができず、インストールを行えなくなります。

ただし、IRQ シェアリングモードで使用可能な PCI スロットおよび PCI ボードが装着されている場合は、必ずしも空きの IRQ を確保する必要はありません。

Windows 98/95 の場合

1. Windows 98/95 の [コントロールパネル] [システム] を開いて [デバイスマネージャ] のタブを選択し、コンピュータのところをダブルクリックします。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。この例では、03, 04, 09 が空いています。

Windows NT の場合

1. Windows NT の [スタート] [プログラム] [管理ツール] [Windows NT 診断プログラム] を開いて [リソース] のタグを選択します。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。
上の画面では、00, 05, 07, 08, 09, 10, 11, 13 が抜けているので空いている可能性があります。一般的に IRQ00 (システムタイマ)、IRQ02 (割り込みコントローラ)、IRQ07 (プリンタポート)、IRQ08 (リアルタイムクロック)、IRQ13 (数値演算プロセッサ) が使用します。したがって、この例では IRQ5, IRQ9 ~ IRQ11 が空いていることになります。

DOS/Windows 3.1 システムの場合

プラグ・アンド・プレイ ドライバ(DWCFGMG.SYS)を CONFIG.SYS に登録してある場合、プラグ・アンド・プレイユーティリティを起動して確認してください。
詳しい使用方法については、パソコンに添付のマニュアルを参照してください。

2. SCSIボードの取り付け

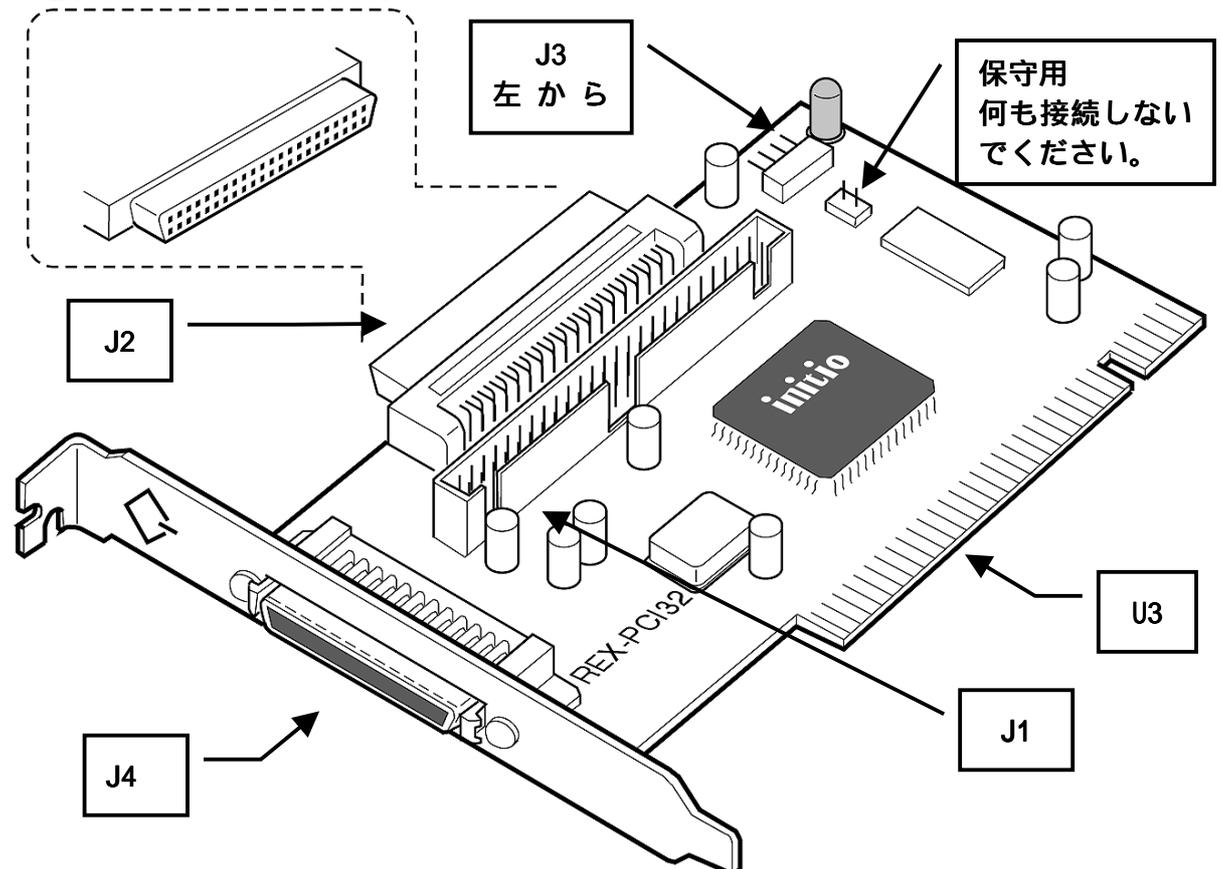
SCSIボードにSCSI機器を接続して使用するには次の取り付け作業が必要です。

万が一の場合に備えて作業の前に、現在使用しているハードディスクの内容をリムーバブルメディア等にバックアップしておくことをお勧めします。

1. SCSIボードに存在する3つのSCSIコネクタ（J1, J2, J4）を確認します。

コネクタ名	用途
J1	内蔵 SCSI 機器接続用 68 ピンコネクタ
J2	内蔵 SCSI 機器接続用 50 ピンフラットコネクタ
J4	外付 SCSI 機器接続用ハーフピッチピンタイプ 50 ピンコネクタ
J3	SCSI Bus ビジー 点燈用信号コネクタ（2 口の場合 3 と 4） ピン 1 と 4 - 電源 ピン 2 と 3 - シグナル(Active Low)
U3	PCI スロット接続用コネクタ

68 ピン WIDE SCSI のコネクタ



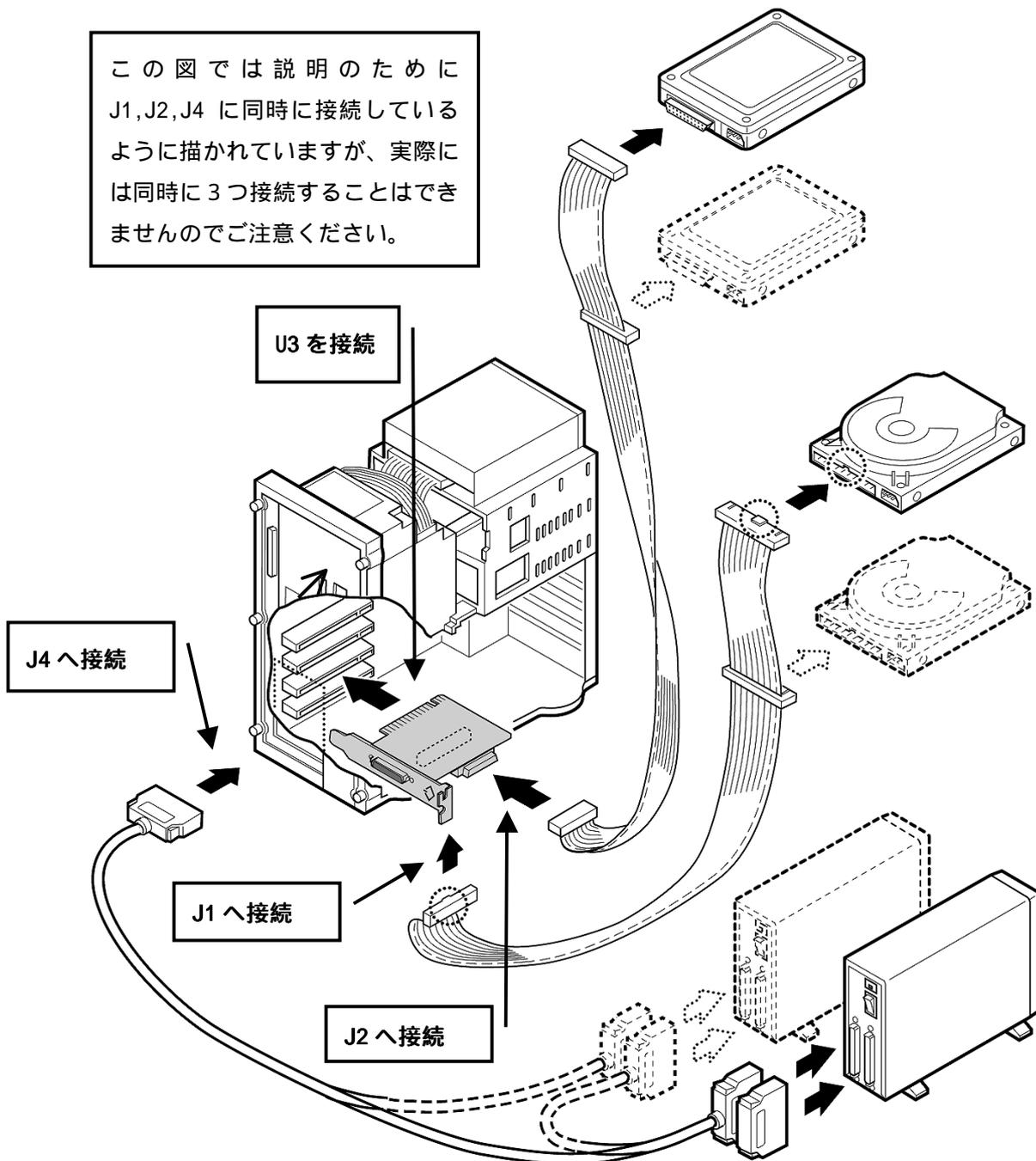
2. パソコンの電源（メイン電源）をオフにします。そして、電源ケーブルを外します。
パソコンによってはフロントパネルスイッチでの電源オフでは、スタンバイやサスペンド状態になるだけでメイン電源がオフにならない場合がありますので、パソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

パソコンのふたを開いてください。

また、あらかじめ静電気を放電します。

パソコン本体、およびSCSIボードの裸金属部に手を触れてください。

第2章 SCSI ボードの取り付け



3. PCI Bus スロットを確認し図のようにセットします。この例では IDE HD は接続されていません。SCSI 環境の接続レイアウトを示しています。

外部コネクタ (J4) がシステムユニットの背面に面するように設置し、PCI Bus スロットに合うように挿入してください。金色の接触部 (U3) が白いソケットに完全に入り見えなくなるまで挿入します。相当の力が必要な場合があります。挿入されたら取り付けパネルのネジを締めボードを固定します。ネジは不要な場合があります。

図中の 50pin 内部接続用ケーブル、外部接続用ケーブル、外部ターミネータは添付してありません。68pin 内部接続用ケーブルは添付してあります。

SCSI コネクタ 3 系統ありますが、同時に使用できるのは 2 系統です。

- 4 . 外部接続 SCSI 機器と内部接続 SCSI 機器をそれぞれのマニュアルに沿ってインストールします。
内蔵 SCSI 機器がない場合は、J1, J2 へは何も接続する必要はありません。
SCSI 機器は 50pin 接続総計 7 つまでと内部 68pin 接続の総計 8 つまで接続が可能です。
接続方法例とターミネータの設定方法を説明します。
ターミネータは必ず SCSI Bus ライン上の両端に設定しなければなりません。
- 5 . 内蔵 SCSI の最終端の機器は、ターミネータを有効にする必要があります。
外付け SCSI の最終端の機器にも、ターミネータが必要です。
REXPIC132 のボード上でのターミネータは、通常 BIOS 設定で Automatic の設定で接続状態を検出して自動的に動作します。
たとえば、内蔵 50pin と内蔵 68pin の SCSI 機器がある場合や、外部 50pin と内蔵 68pin の SCSI 機器がある場合、SCSI ボードの low ターミネータは OFF で、high ターミネータは ON として動作します。
- 6 . SCSI ID の設定例を示します。
SCSI ID は一つの SCSI Bus ライン上に同じ番号があってはなりません。50pin 内蔵機器は 0 ~ 4 を 50pin 外部機器は 5 ~ 6 を 68pin 内部機器は 8 ~ 15 を使うと決めておくといよいでしょう。50pin 内蔵機器は 0 ~ 2 で 50pin 外部機器は 3 ~ 6 を使うと決めてもかまいません。守らなければならないことは、同じ番号があってはならないことです。
- 7 . 50pin 内部接続用 SCSI ケーブルは別途用意してください。ボードの J2 コネクタに 50 ピンフラットケーブルを差し込みます。
コネクタにはピン 1 を示す マークがついています。50 ピンフラットケーブル上の端に 1 本のみある色付きストライプの線が マークに合うように差し込みます。
J1 コネクタには内蔵用 68 ピンケーブルを差し込みます。
コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
- 8 . 外部接続用 50pin SCSI ケーブルは J4 コネクタを使用して接続します。
コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
- 9 . 必須事項ではありませんが内蔵 SCSI 機器にアクセスしているときのアクセスランプを点灯することができるパソコンがあります。
パソコンの取扱説明書に書かれているハードディスク LED Cable を J3 のコネクタに差し込みます。2 口ケーブルの場合、3 番 4 番に差し込みます。
詳しくはお手持ちのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。

第2章 SCSI ボードの取り付け

10. パソコンのカバーをもとに戻します。これで REX-PCI32 のハードウェアの取り付け完了です。

次にパソコンの PCI バスの確認・設定を行います。

接続できる台数とケーブルの長さ

SCSI デジチェーン接続して使用する場合、REX-PCI32 に添付してあるケーブルのインピーダンス特性と一致したものを使用する必要があります。

インピーダンスが、90 Ω タイプの SCSI ケーブルをご使用ください。

SCSI 機器は理論上 15 台まで接続可能です。ただし、Wide に対応していない機器は 7 台までです。

SCSI 機器が、Ultra Wide および Ultra SCSI 対応か FAST SCSI 対応かによって接続できる SCSI 機器の台数と接続に使用する SCSI インターフェイスケーブルの長さの合計が異なります。

以下に表記してある長さは、SCSI 機器の内部配線および内蔵ケーブルを含みます。

UltraWide および Ultra SCSI 機器が 1 台でもある場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 3 台	3 メートル以下
4 ~ 15 台	1.5 メートル以下

すべて FAST SCSI 機器の場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 7 台	3 メートル以下

上記の記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器や SCSI ケーブルの性能に影響されます。

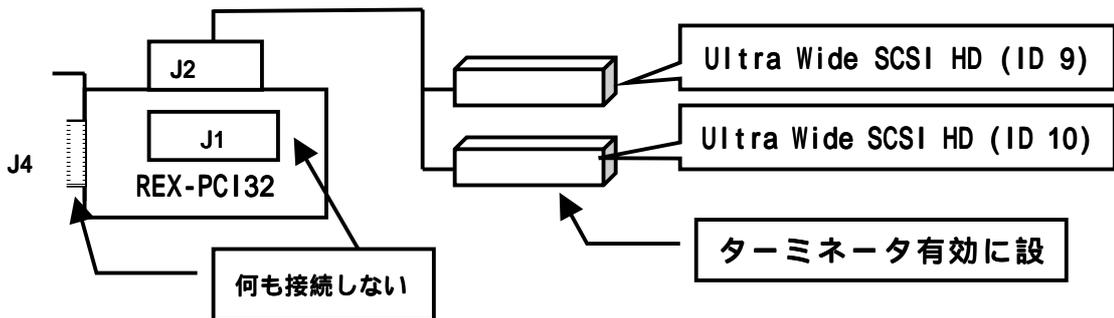
また、SCSI 変換コネクタを使用すると SCSI バスの状態が悪くなる場合があるため、SCSI 変換コネクタでの接続はお勧めしません。

ケーブル接続例

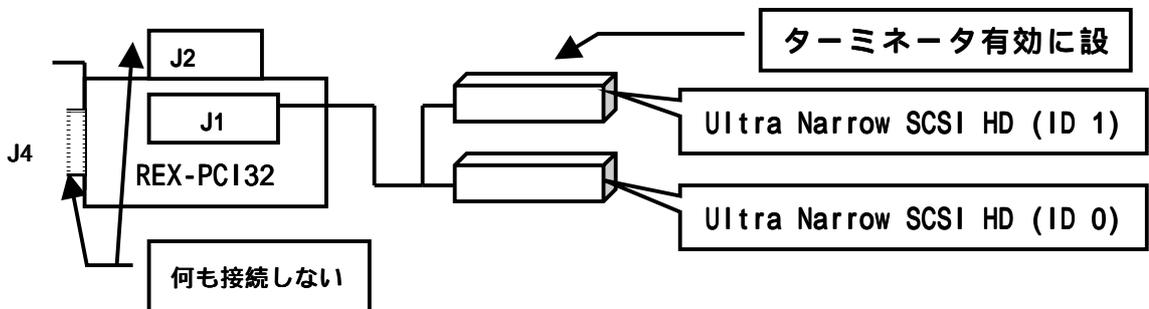
ここでは、色々な組み合わせでの機器接続の例を説明します。

J1, J2, J4 の SCSI コネクタへ同時に SCSI ケーブルを接続して使用することはできません。!!!

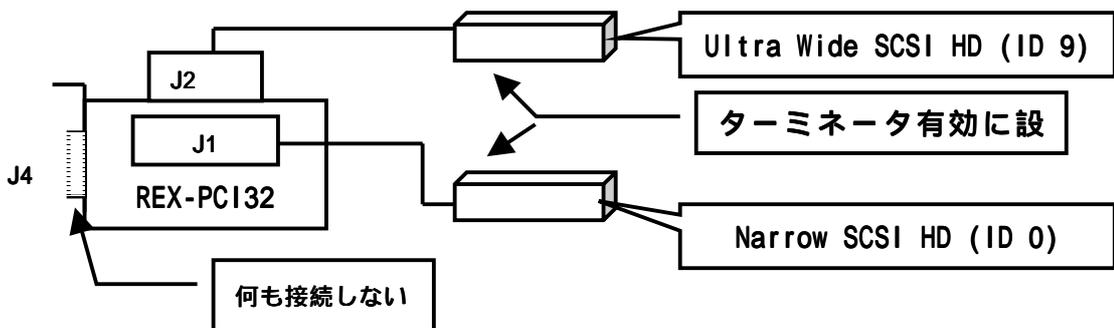
内蔵 Ultra Wide SCSI 機器のみの場合



内蔵 Narrow SCSI 機器のみの場合

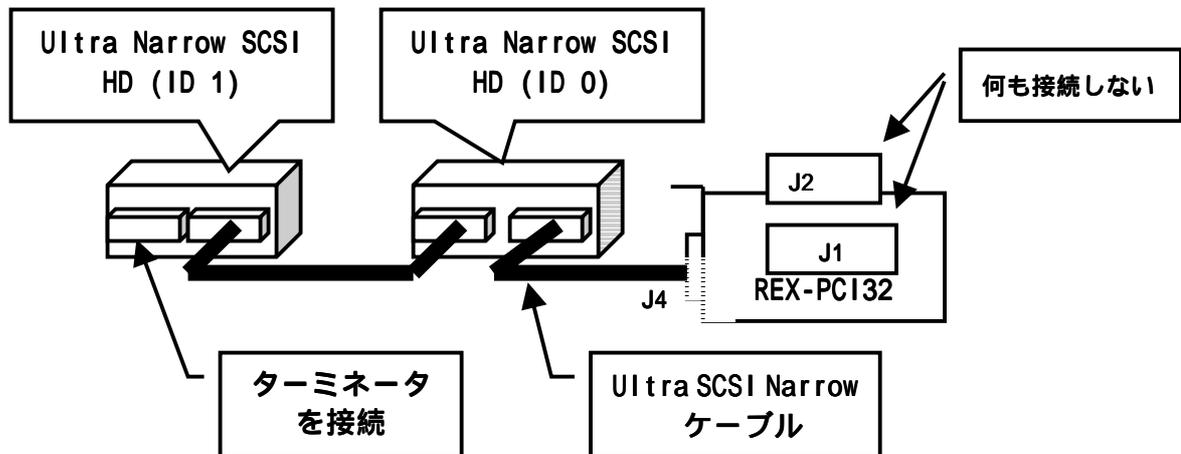


内蔵 Ultra Wide SCSI 機器と内蔵 Narrow SCSI 機器の場合

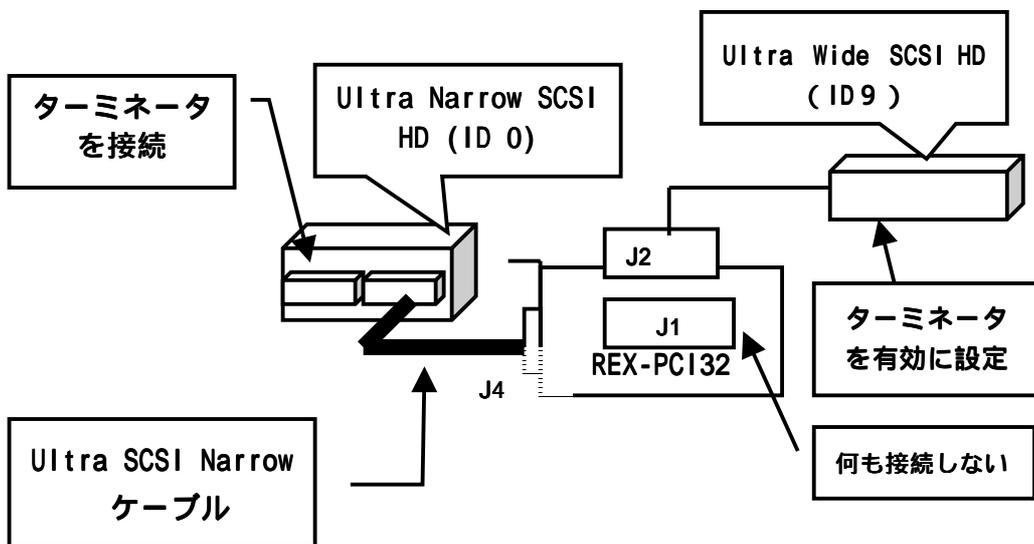


第2章 SCSIボードの取り付け

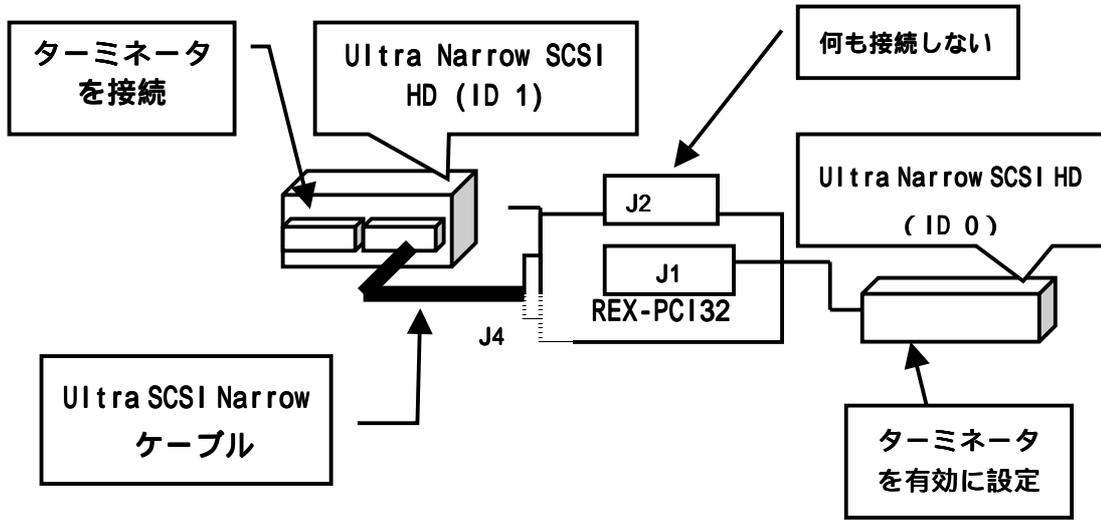
外部 Ultra SCSI 機器 (Narrow) のみの場合



外部 Ultra SCSI 機器と内蔵 Ultra Wide SCSI 機器を接続する場合



外部 SCSI 機器と内蔵 Ultra Narrow SCSI 機器を接続する場合





3. パソコンのPCIバスの確認・設定

REXPCI32 を取り付けたパソコンのPCIバスの確認および設定を行います。
これらの作業は、インストールのトラブルを避けるためにも行ってください。

PCIバスの確認

パソコンのBIOSメニューから以下の項目を探してみます。
これらの項目は、パソコンによって表記が異なります。パソコンのマニュアルを参照してください。

PCIスロットの有効/無効

該当するスロットを有効にします。

ISAスロットのIRQの設定

“USED”を選択します。

PCIスロットの使用するIRQの範囲

1つ以上確保してください。

接続しているSCSI機器の電源をONにした状態で、システム立ち上がり時、以下の画面が表示されれば、PCI-BIOSレベルでは正常に動作しています。

SCSI-BIOS スタート画面

```
RATOC REXPCI32 BIOS Ver XXX
Copyright Initio Corporation / RATOC Systems, Inc.
!!! Press < Ctrl > <I> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < Ctrl > <B> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < ESC > to continue. !!!

SCSI ID 0A SEAGATE ST34502LW - Drive X: (8xh)
SCSI ID 0B SEAGATE ST39102LW - Drive X: (8xh)

SCSI BIOS install 1
```

- 1 ブート可能ディスクが接続されていない場合、表示されません。SCSI-BIOSは常駐されません。
- 2 パソコンメーカーのロゴ画面が表示していて、SCSI BIOS スタート画面が表示されない場合は、ロゴ画面の裏で表示されている場合があります。試しにパソコンメーカーのロゴ画面の表示中に [ESC] キーを押してみてください。
- 3 SCSI-BIOS 画面の表示が速すぎて確認できない場合は、SCSI-BIOS 画面の表示と同時に [Pause] を押してください。[Enter] キーで表示が続きます。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、「SCSI ボードの取り付け」(P13)を再度確認してください。



4. SCSI コンフィギュレーションの設定

この章では、REX-PCI32 に対する SCSI 環境の設定を行う方法を説明します。
システム立ち上がり時、SCSI-BIOS のスタート画面表示中に<Ctrl+I>で表示させます。
通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の MO ドライブ
(転送速度を 10MB/S に設定が必要)
- ・ 一部の Scanner
(転送速度を非同期に設定が必要)

また、システムの異なる環境で使用していたハードディスク等を新たに接続する場合、Disk Utility にて Format Disk (物理フォーマット) を実行することをお勧めします。
メニュー構成を示します。

SCSI-BIOS メニュー

Main Menu

```
RATOC REX-PCI32 SmartSCSI™ Setup Utility Ver XXX (C)1994-xx
  PCI Bus : 00   Device : 13H   Port : FC00H   IRQ : 10

Scan Bus  Device Setup  Adapter Setup  BIOS Setup  Disk Utility
```

キー操作方法

ESC : 終了します。 Exit Setup ? を表示されます。終了する場合、Yes を選択します。

第4章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Scan Bus SCSI 機器が正しく接続されているか、確認できます。

```
                Press any Key to exit
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST39102LW           0004
ID:2  FIJITSU M2513A             1500
ID:   省略
ID:7  RATOX REX-PCI32 H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34502LW           0004
ID:   省略 (以下 ID 15 まで続く)
```

確認したら何かキーを押してください。

接続した SCSI 機器が表示されない場合、以下の項目（電源 - 接続 - ターミネータ）を確認して、もう一度 Scan Bus を選択します。

電源：SCSI 機器の電源が入っていない。

接続：SCSI 機器へのケーブルが正しく接続されていない。

機器の設定：SCSI ID 番号が他の機器または、REXPCI32 と重なっている。

（ REXPCI32 は、出荷時の SCSI ID 番号は 7 番に設定されています。）

ターミネータ：SCSI 機器側のターミネータが取り付けられていない。

Device Setup

```
SCSI Device ID      #0  #1  #2  #3  #4  #5  #6  #7
Asynchronous Transfer  no
Max Synchronous Transfer 40
DOS.Space > 1GB      Yes           省略
Spin up Disk Drive     Yes
Enable Disconnect      Yes
Enable Wide Negotiation Yes

SCSI Device ID      #8  #9  #10 #11 #12 #13 #14 #15
Asynchronous Transfer  no
Max Synchronous Transfer 40
DOS.Space > 1GB      Yes
Spin up Disk Drive     Yes           省略
Enable Disconnect      Yes
Enable Wide Negotiation Yes
```


第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Adapter Setup

Host Adapter SCSI Bus ID	7
Boot Device ID	0
SCSI Terminators	Automatic
SCSI Parity Check ON	Yes

Host Adapter SCSI ID

ホストアダプタの NO を変更する場合、指定します。0-15 （初期値 7）

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0~7 の範囲で設定してください。

Boot Device ID

SCSI ハードディスクからブートする場合その SCSI ID NO を指定することができます。
（初期値 0）

SCSI Terminators

Automatic : SCSI Board のターミネータ設定は、自動設定になっています。（初期値）

High ON / Low ON : ターミネータ有効

常に 50 ピンコネクタのみ使用し、68 ピン Wide コネクタを使用しません。

High ON / Low OFF : High ターミネータ有効、Low ターミネータ無効

常に 50 ピンと 68 ピンコネクタを同時に使用します。

High OFF / Low OFF : ターミネータ無効

常に 68 ピンコネクタのみ使用し、50 ピン Wide コネクタを使用しません。

SCSI Parity Check ON

SCSI 機器のパリティチェックの有効 / 無効を選択します。

Yes : パリティチェックする。（初期値）

No : パリティチェックしない。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
変更を破棄する場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

BIOS Setup

Enable Host Adapter BIOS	Yes
BIOS Support for More Than 2 Drives	No
BIOS Support for Bootable CD-ROM	No
BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk	No

Enable Host Adapter BIOS

SCSI-BIOS をメモリに常駐するかどうかを設定します。

Yes : 常駐します。(初期値)

ただし boot UP 可能なデバイスが接続されている場合に限りです。

No : 常駐しません。SCSI-BIOS から SCSI 機器をコントロールしません。

BIOS Support for More Than 2 Drives

SCSI-BIOS から 3 台以上のハードディスクサポートを設定します。

Yes : 3 台以上をサポートします。

No : 2 台以下のみサポートします。(初期値)

BIOS Support for Bootable CD-ROM

SCSI-BIOS から SCSI CD-ROM のブート可能な CD-ROM を読み込みブートします。

Yes : 常にブートしようとします。

No : Ctrl + B を押したときだけブートします。(初期値)

Windows NT4.0 の CD-ROM からのブートはサポートしていません。

BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。ただしイジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

No : 固定ディスクと同様に扱いません。(初期値)

Yes : 固定ディスクと同様に扱います。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
保存しない場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

第4章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Disk Utility

```
                Select Device ID
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST39102LW           0004
ID:2  FIJITSU  M2513A             1500
ID:   省略
ID:7  RATOOC  REX-PCI32  H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34502LW           0004
ID:   省略 (以下 ID 15 まで続く)
```

ハードディスクおよびリムーバブルディスクを選択できます。
選択後、Verify Disk または Format Disk を選択します。

Verify Disk を選択し実行すると、ハードディスクに不良セクタがあるかどうかの確認ができます。

Format Disk を選択し実行すると、ディスクの物理フォーマットを行います。
ディスクが以前に PC-9821 のシステム、または Macintosh などの DOS/V と異なる場合、
まず Format Disk を行いクリアな状態にしてから使用することをお勧めします。
ディスクの内容は消去されますのでご注意ください。

物理フォーマットの所要時間は、接続した HD、MO 等の性能により大きく異なります。
例のような、SEAGATE ST34502LW の場合、約 10 分かかります。
SEAGATE ST39102LW の場合、約 20 分かかります。
SEAGATE ST34501W の場合、約 90 分かかります。

実際にドライブとして使用するには、各オペレーティングシステム上でフォーマット操作も必要になります。

5. Windows 98/95 インストール済みにて使用する

Windows 98/95 のインストール済みパソコンへ REX-PCI32 を取り付ける場合を説明します。本製品添付の Setup Disk を用意してください。

REX-PCI32 を装着したあと SCSI ハードディスク等の SCSI 機器にアクセスするには Windows 98/95 のミニポートドライバの登録が必要になります。Windows95 での登録は「Windows95 ミニポートドライバのインストール」(P33)を参照してください。

98

95

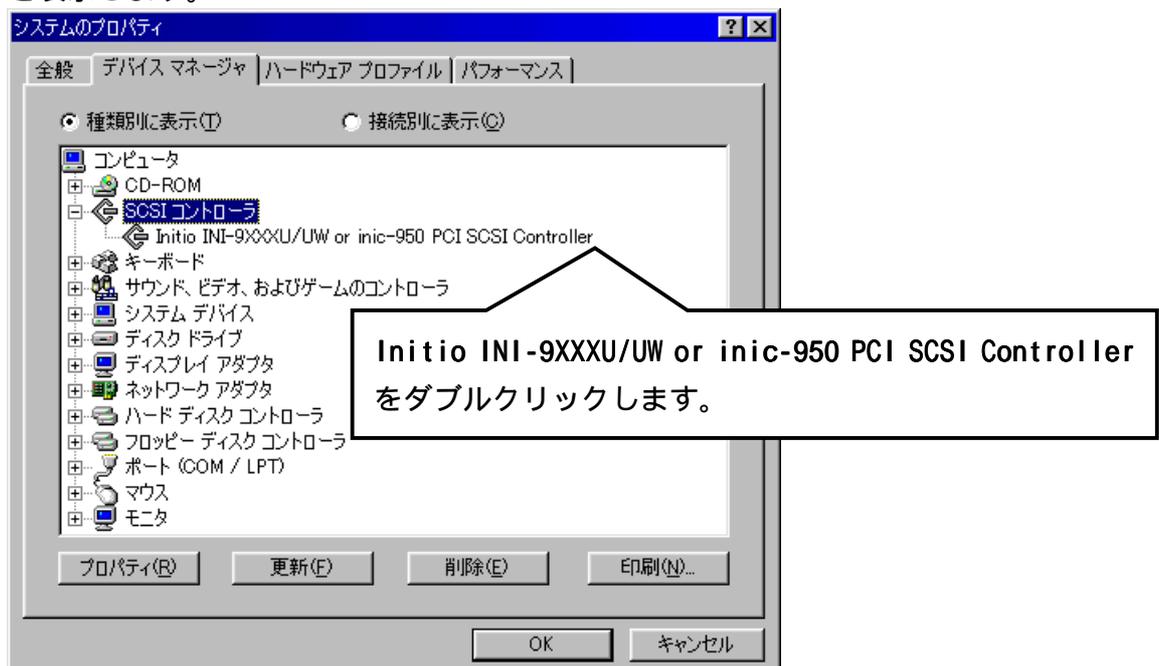
Windows 98 ミニポートドライバのインストール

Windows 98 のミニポートドライバの登録は以下の手順で行います。

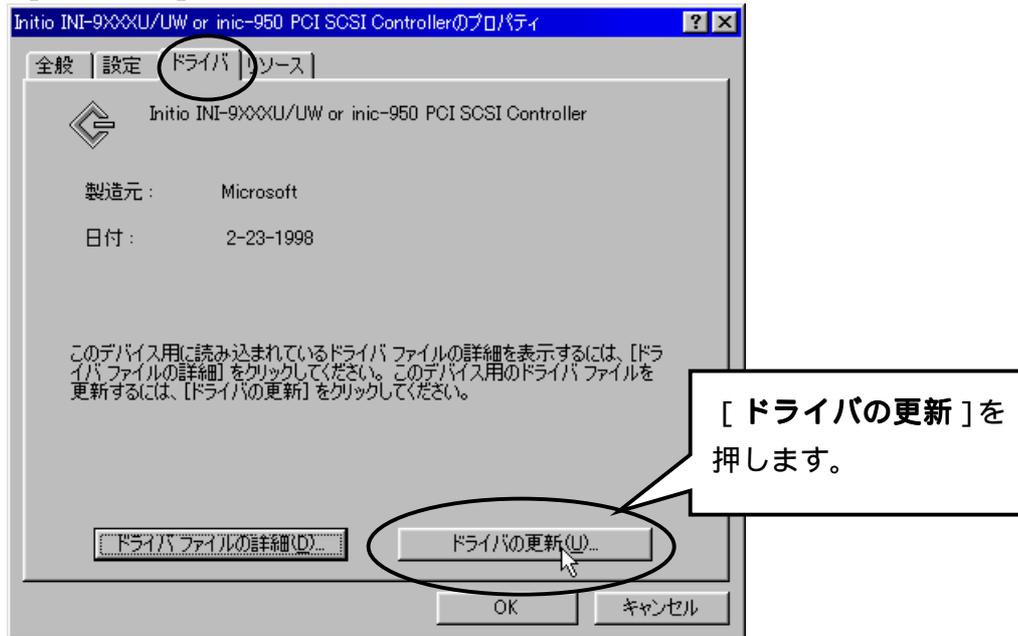
1. 以下のメッセージが表示されます。



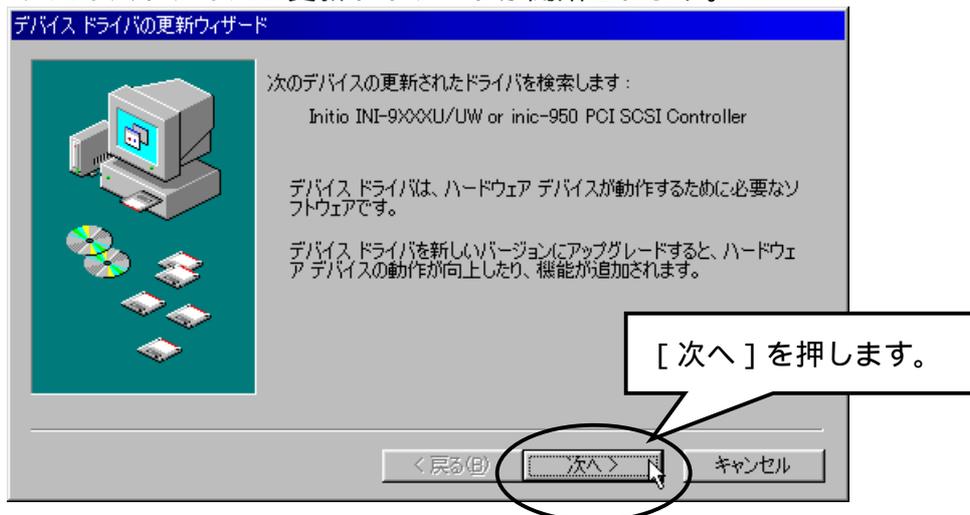
2. インストール完了後、[コントロールパネル][システム][デバイスマネージャ]を表示します。



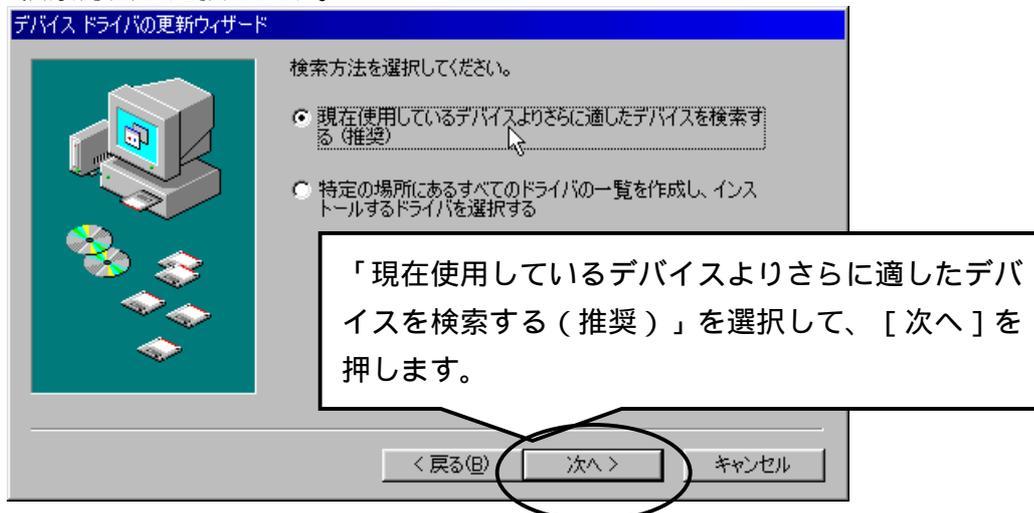
3. [ドライバ] タグを表示します。



4. デバイスドライバの更新ウィザードが開始されます。



5. 検索方法を選択します。



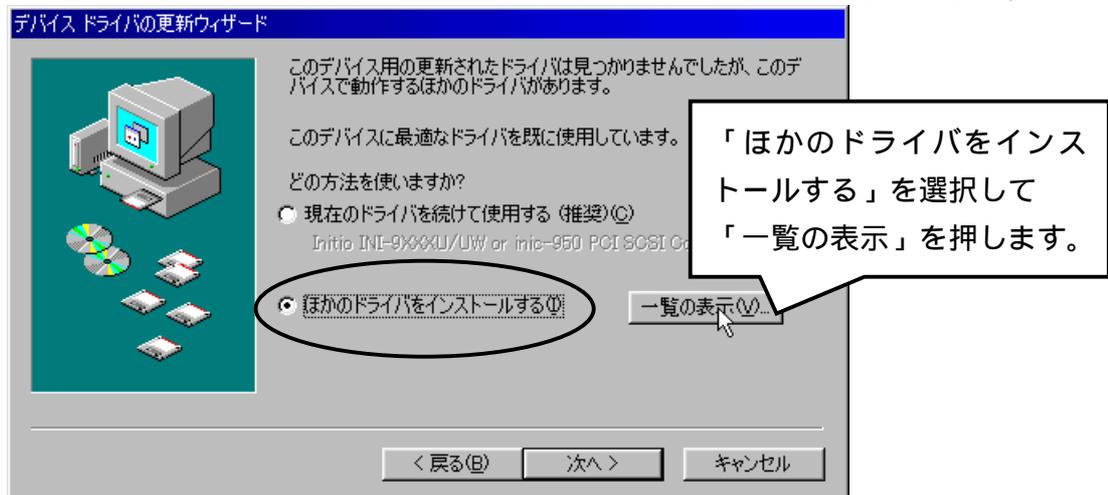
6. どこからドライバを検索するか検索先の場所を指定します。



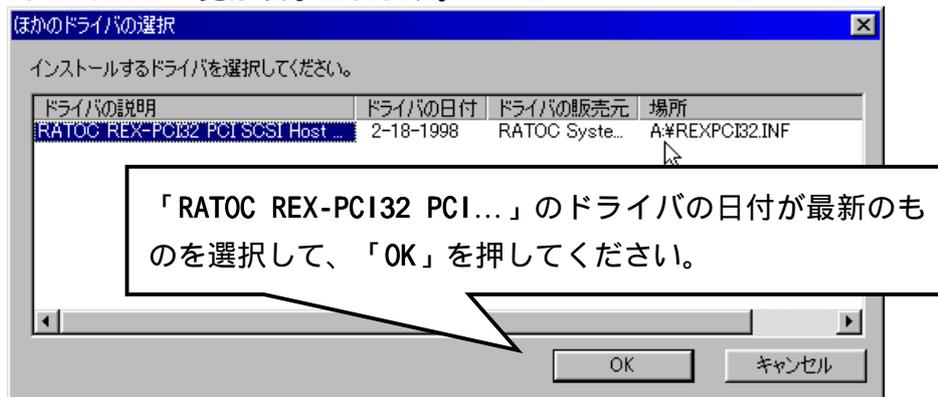
98

95

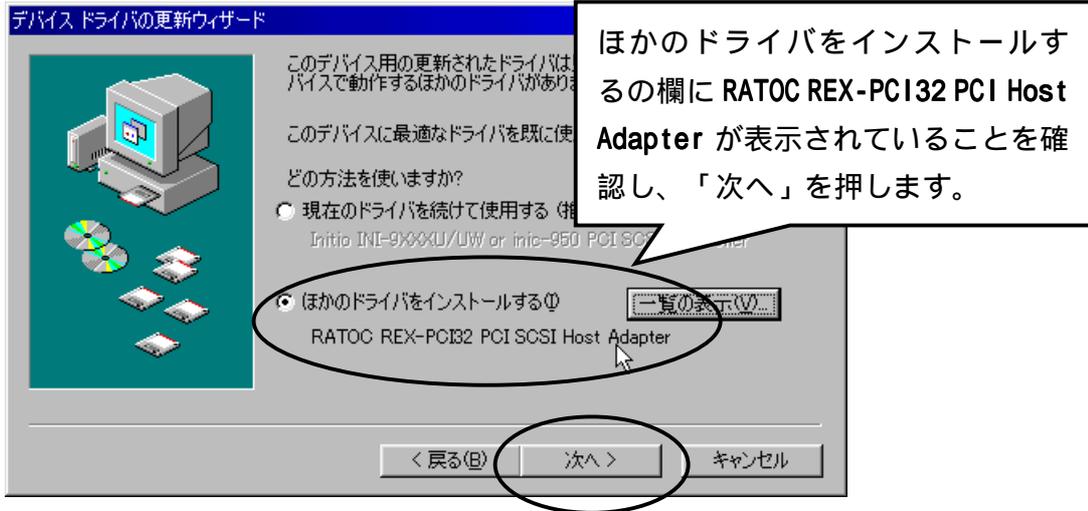
7. 「このデバイスに最適なドライバを既に使用しています」と表示されます。



8. ドライバの一覧が表示されます。



9. 再度、元の画面に戻ります。



10. 検索確認画面になります。



11. ドライバのコピーが行われます。

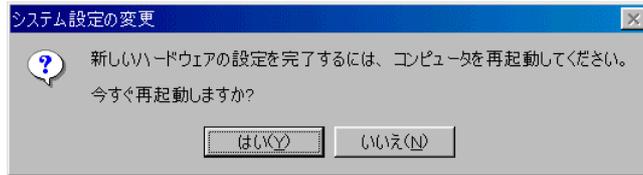
それからしばらくして、完了メッセージが表示されます。



98

95

12. 再起動画面になります。



Setup Disk を抜いていることを確認して「はい」を押して、システム再起動します。以上でインストールは終了です。次にインストールの確認を行います。Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認(P35)に進んでください。

98

95

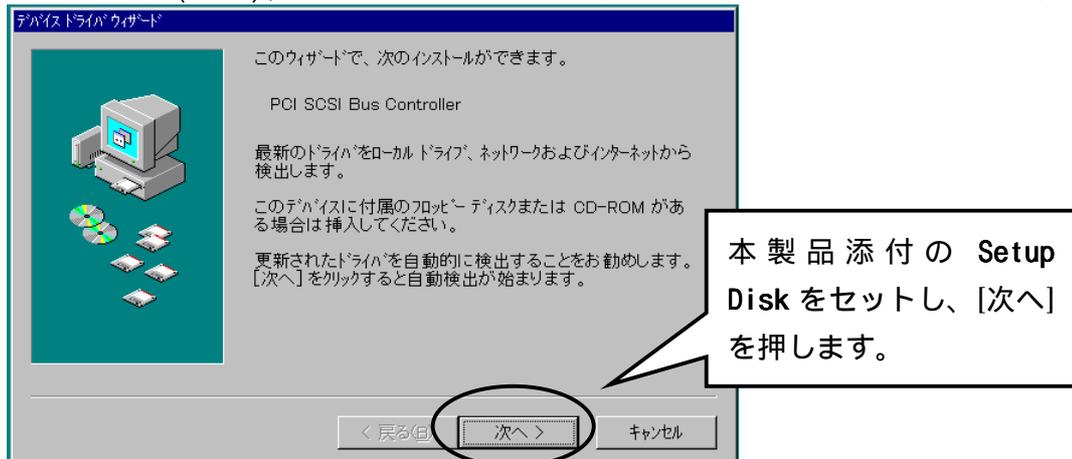
Windows 95 ミニポートドライバのインストール

Windows 95 のミニポートドライバの登録は以下の手順で行います。

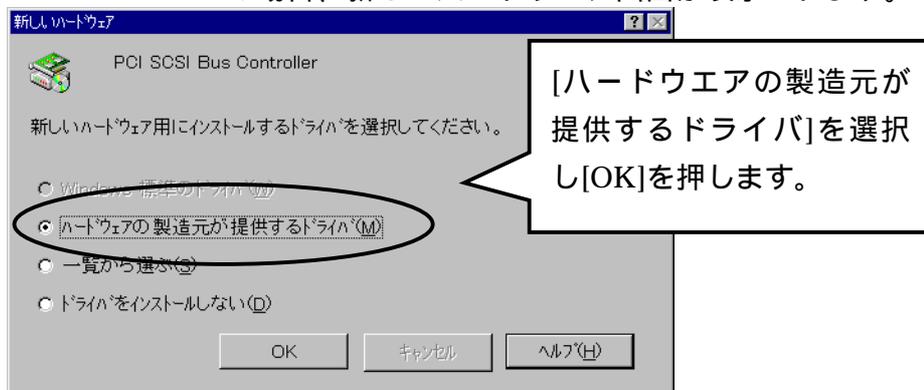
コントロールパネルの“ハードウェア”（ハードウェアウィザード）によるインストールを行っても、ドライバは正しく組み込まれません。

1. 新しいハードウェアを検出した画面が表示されます。

Windows 95B(OSR2), 95C の場合、右のメッセージウインドウが表示されます。



Windows 95/95a の場合、新しいハードウェア画面が表示されます。



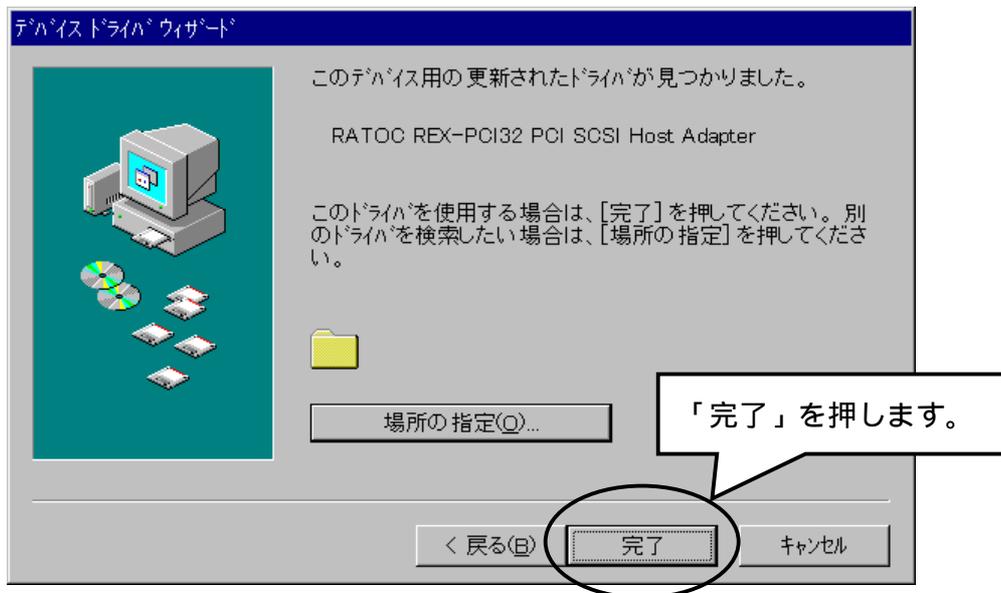
画面の説明に沿ってドライバをインストールしてください。

以降説明では Windows 95B(OSR2) の場合で説明します。

2. ドライバ発見の画面が表示されます。

98

95

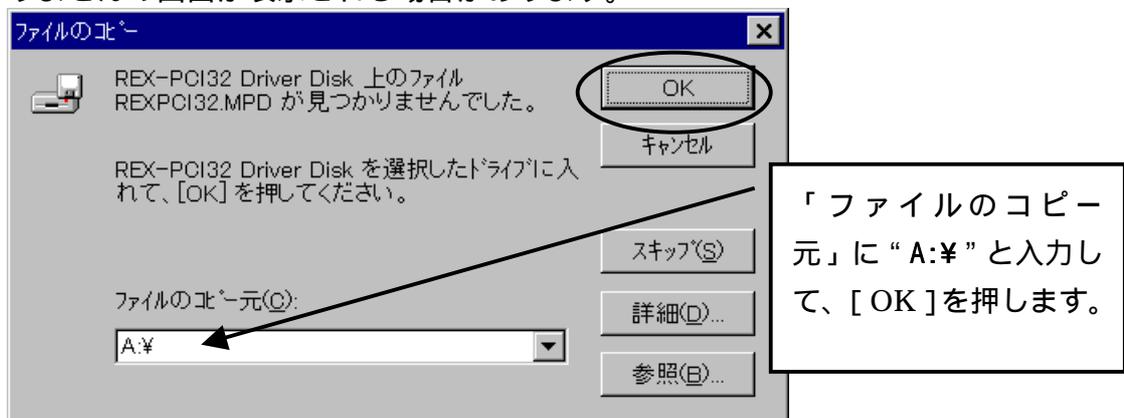


3. 以前、何かのドライバの組み込みに失敗等があった場合、以下のメッセージが表示されることがあります。



[OK]を選択すると再度インストール画面が表示されます。

4. ドライバのコピー中にコピーするドライバが見つからなく、REXPCI32.MPD が見つかりませんの画面が表示される場合があります。



“xxxx.xxxx”ファイルが見つかりませんと表示された場合も同様に、「ファイルのコピー元」に指定したフロッピーディスクのドライブ名を入力してください。

5. コピーが終わってしばらくすると、システム再起動画面になります。
 6. Setup Disk を抜いてシステム再起動してください。
- 以上で Windows 95 ミニポートドライバのインストールは終わりです。
続いてインストールの確認を行います。

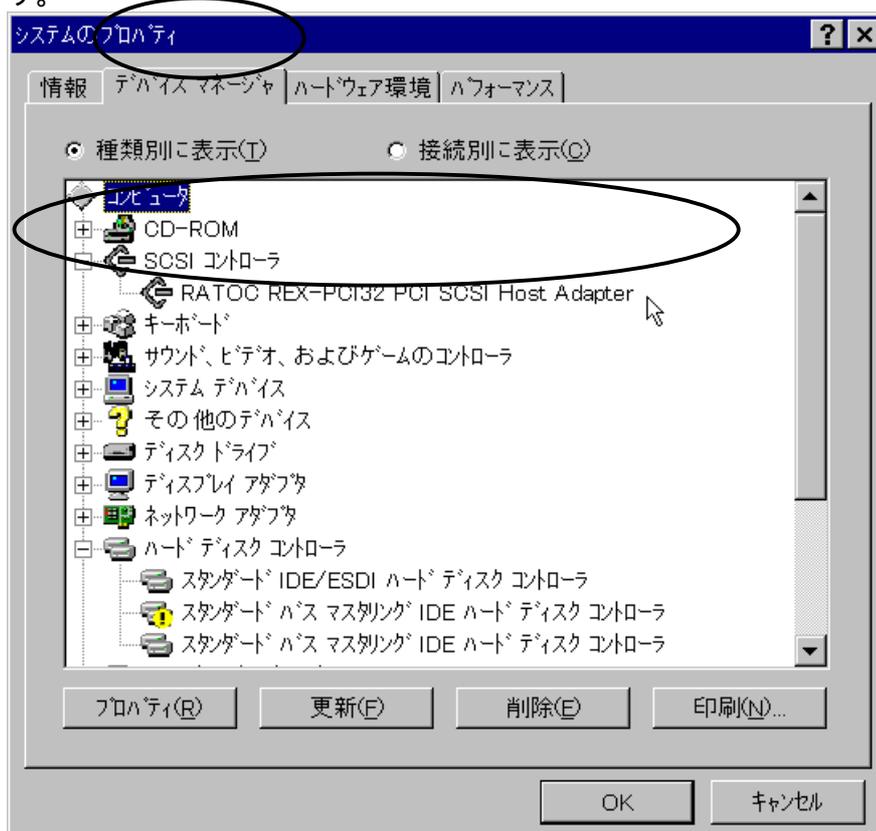
Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 98/95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、 [デバイス マネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目左のプラス記号(+)をクリックして、 [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]が表示されていることを確認します。

98

95



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されたか確認してください。

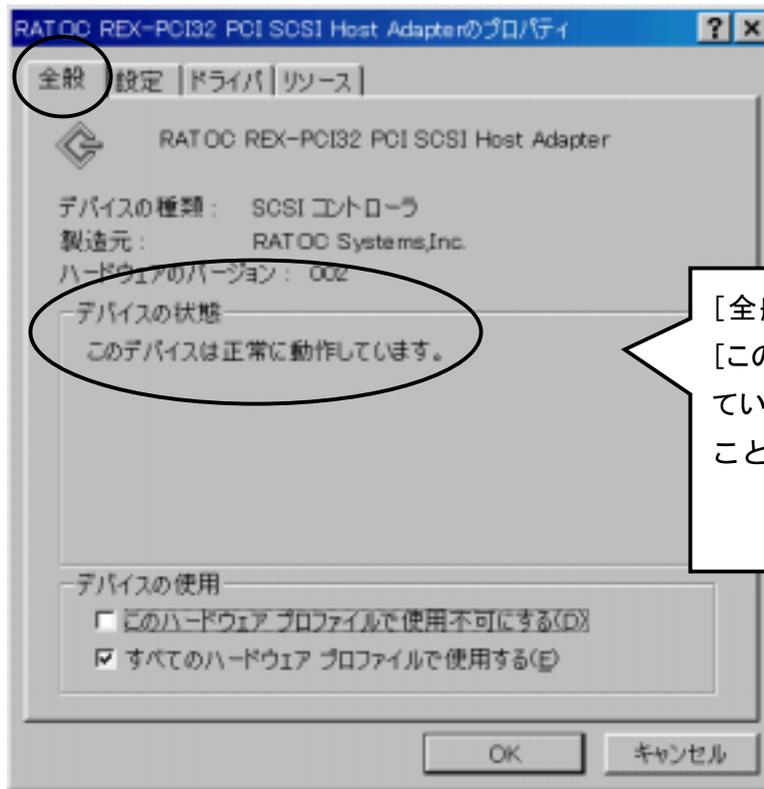
表示されなかった場合、PCI バスの確認 (P21)に戻ってください。

[RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter 項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。

「!」「?」表示がある場合は、ドライバが正しくインストールされていません。

「X」表示がある場合は、ドライバの動作を停止しています。

4. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]のプロパティウィンドウを表示してドライバが正常に動作されているか確認します。

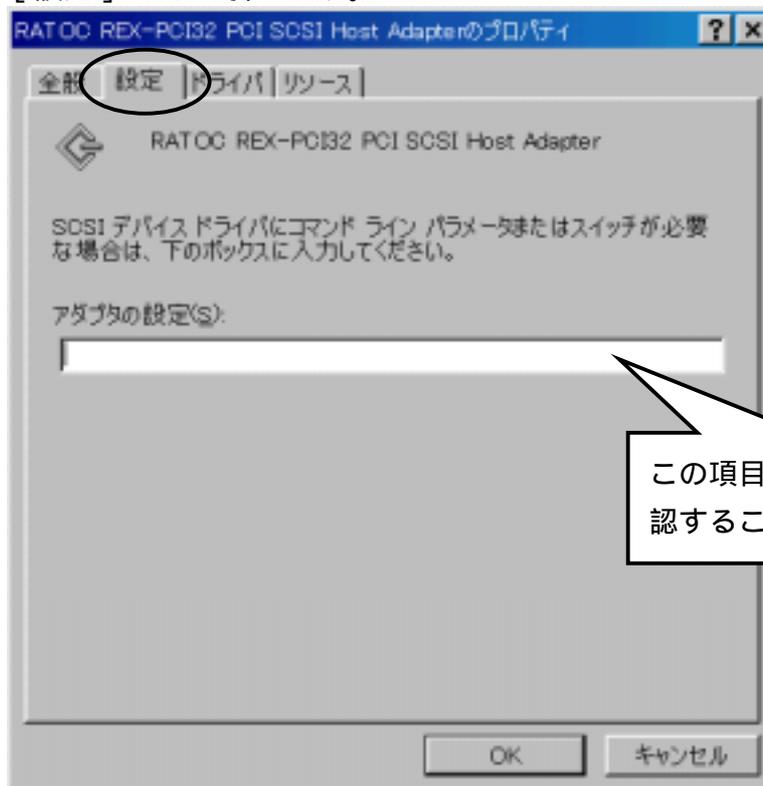


98

95

[全般] タグをクリックして [このデバイスは正常に動作しています] が表示されていることを確認します。

5. [設定] タグを押します。



この項目では、設定および確認することはありません。

6. [ドライバ]のタブを押します。

ミニポートドライバの場所とバージョン等を確認できます。

Windows 95 では、「このデバイスには、ドライバファイルが必要でないか、または読み込まれていません。」と表示されますが正常です。問題ありません。

98

95

7. [リソース]のタブを押します。

IRQ、メモリ、I/O アドレスが確保されており「競合なし」になっていることを確認します。本製品は、プラグアンドプレイ機能により、競合しないように自動的に設定をおこないます。基本設定を変更しても競合する場合、システム資源不足により使用できません。他のボードを取り外してください。もしくは、COM1、COM2、パラレルポートを無効にしてシステム資源を確保してください。

SCSI ユーティリティのインストール

98

フォーマットユーティリティ (REXFMT95.EXE)、SCSI 機器確認 (WINSSC.EXE) のインストールを行います。

1. 本製品添付の Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の [マイコンピュータ] からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。

95



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると [スタート] ボタンからのプログラムメニューの中に [REX SCSI ユーティリティ] が追加されています。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95.EXE) とは :
HD, MO の WINASPI 対応フォーマッタです。
REXPC132 に接続された MO, PD をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。HD は FDISK プログラムをご使用ください。
詳しくは、フォーマットユーティリティ (P41) を参照してください。

SCSI 機器確認 (WINSSC.EXE) とは :
REXPC132 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。
SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。詳しくは、SCSI 機器確認ユーティリティ (P43) を参照してください。

SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

まだ、SCSI 機器を接続していない場合、または電源が入っていない場合、SCSI 機器の接続を行い、電源をいれてパソコンの再起動をしてください。

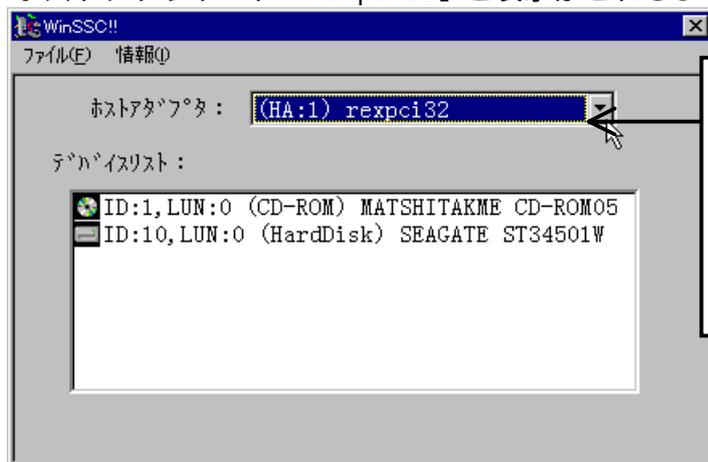
98

1. SCSI 機器の接続確認をします。

[スタート] [プログラム] [REX SCSI ユーティリティ] [SCSI 機器確認] を実行します。

95

2. ホストアダプタ：に「rexpci32」と表示がされるように変更します。



ホストアダプタに ESDI と表示されることがあります。これは、パソコン本体の IDE CD-ROM が表示されるためです。「rexpci32」に変更します。

例のように接続されている機器が表示されていれば、REX-PCI32 と SCSI 機器は完全に正しく動作しています。表示されない場合および「rexpci32」に変更できない場合、「WinSSC- Windows98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ」(P43) を参照してください。

3. HD/MO/CD-ROM を接続した場合、マイコンピュータにそれぞれのアイコンが表示されています。

スワップファイルを SCSI ハードディスクに

98

この項目は SCSI ハードディスクより Windows 98/95 を起動している場合、関係ありません。 EIDE ハードディスクより Windows 98/95 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

95

C ドライブ(EIDE)に設定されているスワップファイルを D ドライブ(SCSI)に変更する例を示します。

マイコンピュータのアイコンを右クリックし[プロパティ]を選択します。

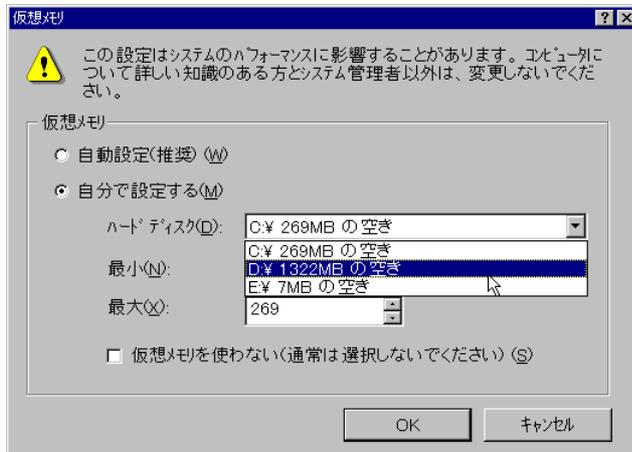
パフォーマンスのタグを選択します。



仮想メモリを選択してください。

[自分で設定する]を選択しハードディスクを D ドライブに変更します。

再起動すると設定が有効になります。



6. Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

この章では、添付ディスク (Setup Disk) に含まれるユーティリティソフトウェアについて説明していきます。

REXFMT95 - Windows 98/95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ

REXPC132 に接続された SCSI 機器のフォーマットを行うには本プログラムをご使用ください。

1. [スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[フォーマットユーティリティ]を起動します。
次のように接続されている機器のインクアイリ情報がホストアダプタごとに表示されます。フォーマットしたい機器を選択し[セレクト]を押します。



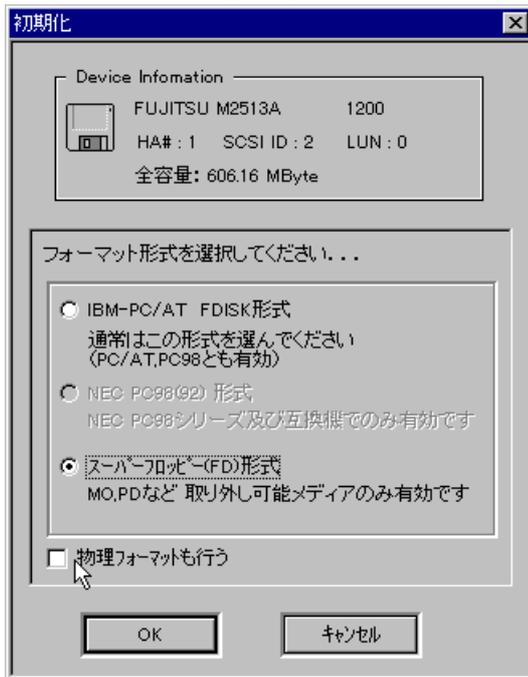
2. 選択後、次の画面が表示されます。区画番号に対して右クリックで[メディアの初期化]を選択します。[処理]タグの[メディアの初期化]を選択する方法もあります。



本プログラムの制限：

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。DOS/V ブートディスクの作成はできません。ブートディスクを作成する場合は、FDISK および FORMAT コマンドをご使用ください。

3. 初期化の指定画面が表示されます。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、物理フォーマットも行うにチェックします。



この例では、640M0 をフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式]を選択します。

4. フォーマット後、区画をどのように設定するかを指定します。
本プログラムはFAT32をサポートしていますのでファイルシステムにてFAT32を選択することが可能です。



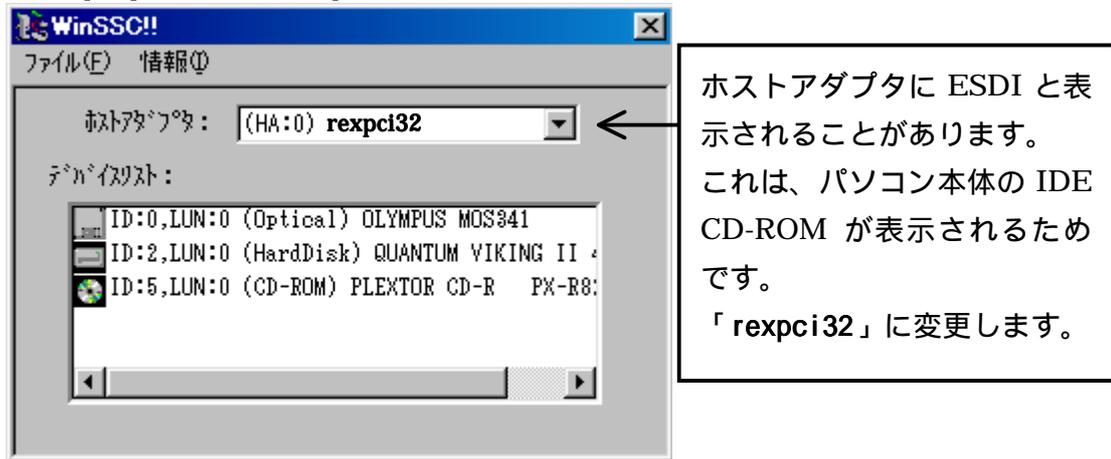
FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。
(Windows95B(OSR2), Windows 98 でのみサポートしています)

5. フォーマット完了後、次に示す操作が必ず 1 つ必要です。
- システムを再起動する。
 - MO 等のリムーバブルメディアの場合、メディアが自動的に排出されるので再度挿入する。

WinSSC - Windows 98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI PCカードに接続されているSCSI機器をWindows 98/95上から確認するためのユーティリティです。必ずパソコン起動前に、SCSI機器の電源を入れてください。

[スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[SCSI 機器確認]を起動します。



[ホストアダプタ:]

接続されている SCSI インターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンでは、この覧を [rexpci32] が表示されるように変更してください。

「rexpci32」と表示されないまたは変更できない場合、以下の原因が考えられます。

- REX-PCI32 のドライバが正しく動作していない。
- SCSI ケーブルが正しく接続されていない。(断線の可能性)
- 他メーカーの SCSI PC カードケーブルを使用している。
- SCSI 機器の電源が入っていない またはターミネータの設定がされていない。
- SCSI 機器の接続台数が多すぎる。

[デバイスリスト:]

接続されている SCSI 機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- SCSI 機器 ID 番号 (ID:)
- ロジカルユニット番号 (LUN:)
- デバイスタイプ (カッコ内)
- ベンダ名および型番

[再スキャン]

[ファイル]メニューの[再スキャン]は、最新情報を表示させるための機能です。

98

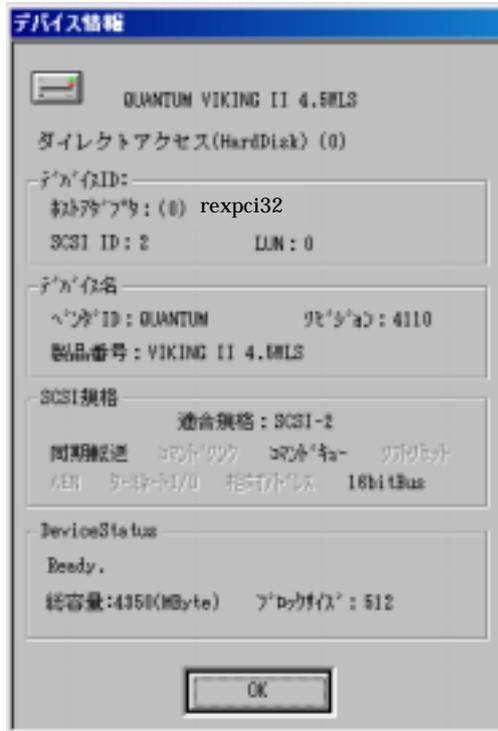
95

第6章 Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

また、情報を確認したい機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

SCSI機器の詳細情報の例

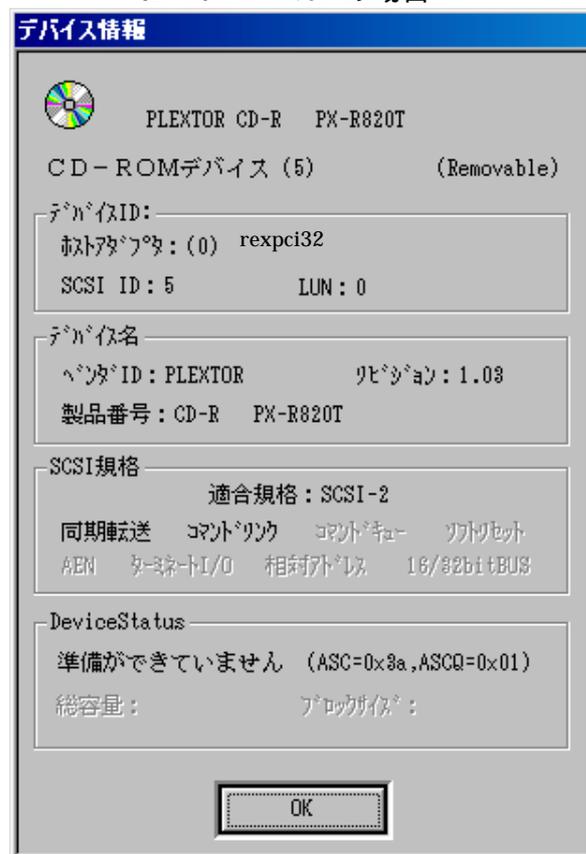
ハードディスクドライブの例



MOドライブの例



CD-ROM Writer の場合



Device Status の欄に「準備ができていません」と表示されますが、CD-ROM、CD-R、リムーバブルディスク等では、メディアが挿入されていない場合も「準備ができていません」と表示されます。これで正常な状態です。

98

95

7. 起動ディスク(DOS)での使用について

この章では、Windows 98 起動ディスク（フロッピーディスク）または Windows 95 起動ディスク（フロッピーディスク）よりシステム起動して REX-PCI32 に接続した SCSI CD-ROM をアクセスする方法について説明します。

SCSI CD-ROM をアクセスできるようになったあと Windows 98/95 の CD-ROM より SETUP.EXE を起動することが可能となり Windows 98/95 のインストールを行えます。

Windows 98 起動ディスクの編集

Dos

Windows 98 の起動ディスクより、REXP32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 98 の起動ディスクの初期メニューで“Start computer with CD-ROM support”が選択できますが、そのままでは SCSI CD-ROM をアクセスできません。

この CD-ROM は IDE の CD-ROM を示します。SCSI CD-ROM からのインストールの場合以下の手順で編集が必要です。

1. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

変更後：

[CD]

device=himem.sys /testmem:off

device=oakcdrom.sys /D:miscd001

device=btosm.sys

device=flashpt.sys

device=btcdrom.sys /D:miscd001

device=aspi2dos.sys - > 削除

device=aspi8dos.sys - > 削除

device=aspi4dos.sys - > device=ASP950.SYS /D

device=aspi8u2.sys - > 削除

device=aspicd.sys /D:miscd001 - > device=REXCD.SYS /D:miscd001

2. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys を削除します。
3. REX-PCI32 の Setup Disk の DOS ディレクトリより ASP950.SYS と REXCD.SYS を、Windows 98 の起動ディスク(1/2)にコピーします。
4. Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Start computer with CD-ROM support を選択します。

以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

Windows 95 起動ディスクの編集

Windows 95 の起動ディスクより、REX-PCI32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 95 をインストールしたい場合、次の様に行います。
Windows 95 の起動ディスクのままでは、SCSI CD-ROM をアクセスできません。

1. Windows 95 の起動ディスクの CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

```
DEVICE=HIMEM.SYS
BUFFERS=20
FILES=60
DEVICE=BILING.SYS
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC
DEVICE=JKEYB.SYS
```

変更後：

```
                挿入                - > DEVICE=ASP950.SYS /D
                挿入                - > DEVICE=REXCD.SYS /D:OEMCD001
REM  DEVICE=SAMPLE.SYS /D:OEMCD001
LASTDRIVE=Z
```

2. Windows 95 の起動ディスクの AUTOEXEC.BAT に次の記述があることを確認してください。

```
@echo off
PROMPT $P$G
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001    (この記述があることを確認)
```

3. Windows 95 の起動ディスクの SAMPLE.SYS を削除します。
4. REX-PCI32 の Setup Disk の DOS ディレクトリより ASP950.SYS と REXCD.SYS を、Windows 95 の起動ディスクにコピーします。
5. Windows 95 の起動ディスクよりシステム起動します。
以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

Drive Image 起動ディスクの編集

Drive Image にて使用する MO (光磁気ディスク) 等を起動ディスクから認識できるようにします。

ドライブイメージソフトウェアの起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。CONFIG.SYS の内容は次のようになっています。追加部を書き加えます。

```
LASTDRIVE=Z
REM Put Network or CD-ROM Drivers here.
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)      追加
DEVICE=REXDISK.SYS /E        (DISK ドライバ)      追加
```

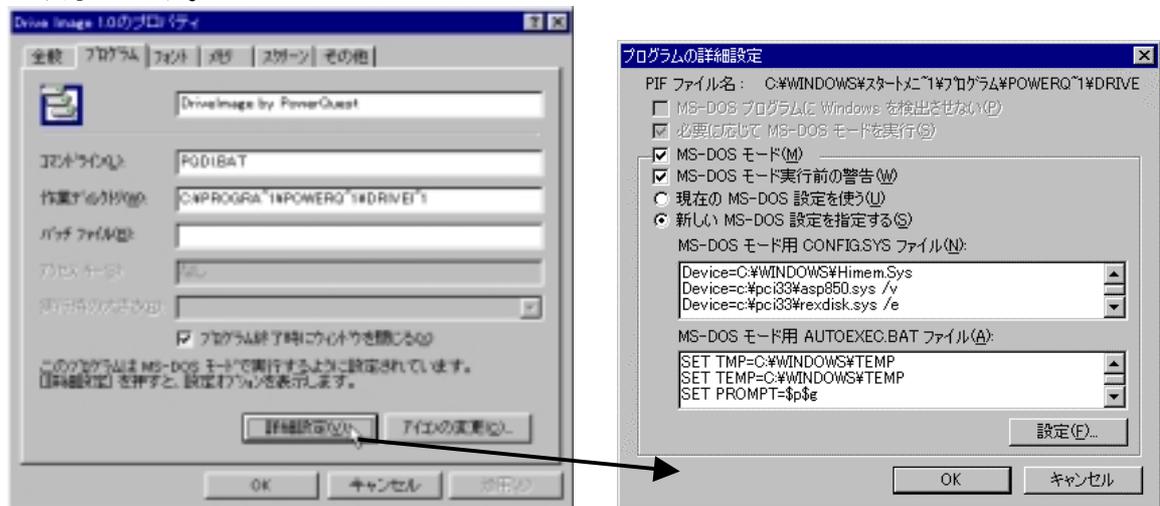
ASP950.SYS、REXDISK.SYS は、本製品添付の Setup Disk よりコピーしてください。REXDISK.SYS が実行されると、MO / ハードディスク等にドライブ名を割り当てます。ドライブイメージのリストア時に、このドライブ名を指定します。

また、MO 等リムーバブル等へバックアップする場合は、REXDISK.SYS 行に /REMOVABLE オプションを追加してください。



Windows 98/95 の Drive Image アイコン起動で、MO 等を認識させるには、以下の場所にある CONFIG.SYS を上記のように修正する必要があります。

[スタート] より右クリックし [開く] を選択し Drive Image のアイコンのプロパティを表示します。



詳細設定を押すと右の画面が出てきますので、新しい MS-DOS 用設定を指定するを選択し MS-DOS モード用 CONFIG.SYS ファイルを編集します。

例のように追加します。

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)      追加
DEVICE=REXDISK.SYS /E        (DISK ドライバ)      追加
```

PCI32 ディレクトリを作成し、ASP950.SYS と REXDISK.SYS をコピーします。

Drive Image アイコンをクリックするだけで、Drive Image から REXDISK.SYS の割り当てたドライブ名が使用できます。

第7章 起動ディスク(DOS)での使用について

SCSI CD-ROM をアクセスする

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。
CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)  
DEVICE=REXCD.SYS /D:PCMCIACD (CD-ROM ドライバ)
```

の2行を追加します。

AUTOEXEC.BAT の最終行に、以下の記述を追加します。

```
A:¥DOS¥MSCDEX /D:PCMCIACD (CD-ROM Extension)
```

Dos

の1行を追加します。

ASP950.SYS、REXCD.SYS は、本製品添付の Setup Disk よりコピーしてください。MSCDEX は、MS-DOS 6.2 以降の OS よりコピーしてください。

REXCD.SYS が実行されると、デバイス名 PCMCIACD を登録します。

MSCDEX.EXE が実行されると、デバイス名 PCMCIACD を探しそのドライブにドライブ名を割り当てます。

AUTOEXEC.BAT の中に既に MSCDEX の記述がある場合がありますのでそこは削除します。
DVD の CD-ROM のみをアクセスする場合も上記の方法で使用可能です。

SCSI DVD-RAM をアクセスする

Panasonic DVD LF-100J においては MS-DOS をサポートしてありますので以下の方法で使用できます。

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。
CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)  
DEVICE=DVDHOOK.EXE          (DVD Emuration ドライバ)  
DEVICE=MSDRVR.SYS -ot3 -ob -th- -L -o2k (DISK ドライバ)  
DEVICE=MCDPD.SYS /D:OEMCD001 /T3      (PD/CD ドライバ)
```

の4行を追加します。

ASP950.SYS は、添付の Setup Disk よりコピーしてください。

DVDHOOK.EXE、MSDRVR.SYS、MCDPD.SYS は、DVD に添付 (CD-ROM) の DOS 用ドライバからコピーしてください。

MSDRVR.SYS が実行されると、DVD-RAM にドライブ名を割り当てます。

ASP950.SYS のパラメタ

REX-PC132 SCSI ボードのASPI マネージャです。

ASP950.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP950.SYS [/L] [/D]
```

オプション

- /L LUN(Logical Unit NO)
ロジカルユニット NO の取り扱いを指定します。初期値は LUN=0 のみサーチします。
PD、CD-ROM Changer を使用する場合、/L オプションを付加します。
- /D Display (表示)
このオプションを付加すると実行時、各種情報の表示を行います。
表示項目として I/O ポートアドレス、IRQ、接続機器情報があります。

Dos

実行時の表示例

```
REX Universal ASPI Manager x.xx  
ASPI HOST Adapter #0 I/O Port 1000h IRQ 10 SCSI ID 7  
SCSI ID #4 TYPE 5 : MATSHITA PD-2 LF-D100 A106
```

REXCD.SYS のパラメタ

ASPI マネージャ対応の DOS 上で動作する CD-ROM デバイスドライバです。

REXCD.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/U:1]  
[ /ScanID:id+id+.... ] [ /NoScanID:id+id+.... ] [ /N:1 ] [ /E ] [ /HA:0 ]
```

オプション

- /D:<デバイス名>
この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。このデバイス名が「MSCDEX.EXE」の「/D:」オプションに指定するデバイス名になります。
- /U:1
接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合の指定です。
CD-ROM ドライブが 1 台だけ接続されていることを前提として動作する CD-ROM ソフト用のオプションです。接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合は、必ずこのオプションを指定してください。
このオプションを省略した場合、SCSI-ID 番号「0」から「6」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブをすべて登録します。

第7章 起動ディスク(DOS)での使用について

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYSが対象とするCD-ROMドライブのSCSI-ID番号を指定します。

REXCD.SYSは通常SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているCD-ROMドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定のSCSI-IDのみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0と1のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6のSCSI機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対にREXCD.SYSの対象外とするSCSI-ID番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5と6のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6のSCSI機器については検索しません。

Dos

/N:1

接続するCD-ROMドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

「REXCD.SYS」は起動時に、ロジカルユニット番号「0」から「7」を順に検索して接続されているCD-ROMドライブの論理ドライブ数を調べます。ところが、旧型のCD-ROMドライブでロジカルユニット番号「0」以外でアクセスするとドライブ側が異常になる場合があります。このような場合には、必ずこのオプションを指定してください。

また、CD-Changer等ロジカルユニットの指定が必要なドライブの場合にはこのオプションは指定しないでください。

/E

ドライバの表示メッセージを英語にします。

英語DOS環境で使用する場合に指定します。

/HA:0

対象とするホストアダプタの番号を指定します。

省略した場合、0（1枚目）が仮定されます。

/NoPreFetch

ドライブに対してSCSIのPreFetchコマンドを発行しません。

TEAC製CD-RドライブCD-R824K、CD-R56Sを接続する場合、必ず指定してください。

実行時の表示例

```
ASPI マネージャ対応 CD-ROM デバイスドライバ
  REX-CD Ver x.xx yymmdd
  RATOC System, inc.

CD-ROM SCSI_ID: 6 : MATSHITA PD-2 LF-D100
デバイス名 : PCMCIA CD
```

REXDISK.SYS (REXDISKW.SYS) のパラメタ

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するハードディスク / 光磁気ディスク用デバイスドライバです。REXDISKW.SYSは、SCSI-ID番号が 8~15のWideSCSI機器にも対応しています。REXDISK.SYSが対応しているディスクフォーマットは、FAT12およびFAT16です。FAT32には対応していませんのでご注意ください。

REXDISK.SYS (REXDISKW.SYS) の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXDISK.SYS [/Rn1+n2+n3+....] [/LOCK | /UNLOCK]
[/A] [/DUMMY] [/REMOVABLE] [/ScanID:id+id+....]
[/NoScanID:id+id+....] [/Hxx[:id+....]] [/E] [/HA:0]
```



オプション

/Rn1+n2+n3+....

光磁気ディスク(M0)等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。SCSI-ID 番号の若い順に指定します。

また、「0」を指定した場合は、ドライバ起動時の状態によって割り当てるパーティション数が決定します。

メディアが挿入されている	メディアに存在する全パーティション数
メディアが挿入されていない	1パーティションのみ

この記述を省略すると「0」を指定した場合と同じ意味になります。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク(M0)等の取り外し可能なメディア用のドアのロック / アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。

この記述を省略すると「/UNLOCK」を指定した場合と同じ意味になります。

/A メディアのフォーマットが「NEC ハードディスク・フォーマット」と同等の場合に、「スリープ属性」のパーティションもドライブとして認識させる指定です。

第 7 章 起動ディスク(DOS)での使用について

/DUMMY

PC-DOS J6.1/V のディスク圧縮機能による不具合を回避するための指定です。

これにより、実際に割り当てるより 1 論理ドライブ余分に論理ドライブを確保します。

ただし、余分に割り当たったドライブにはアクセスできません。

たとえば、接続された機器で 4 ドライブ有効な場合、「/DUMMY」を指定すると以下のようになります。

A	フロッピー (1.44MB モード)	
B	フロッピー (1.44MB モード)	
C	内蔵ハードディスク	
D	フロッピー (1.2MB モード)	
E	フロッピー (1.2MB モード)	
F	SCSI 接続のハードディスク (区画 1)	
G	SCSI 接続のハードディスク (区画 2)	
H	SCSI 接続のハードディスク (区画 3)	
I	SCSI 接続のハードディスク (区画 4)	
J	ディスク圧縮機能との不具合回避用	x
K 以降	ディスク圧縮ドライブ	

Dos

/REMOVABLE

光磁気ディスク(MO)が Windows 3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

光磁気ディスク(MO)を「フロッピーディスクのフォーマット」で初期化することはできません。

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク / 光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

REXDISK.SYS は通常 SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているハードディスク / 光磁気ディスクドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定の SCSI-ID のみ検索させることが可能となり、ドライブの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0 と 1 のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6 の SCSI 機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/Nostart Start Unit の SCSI コマンドを発行しない場合に指定します。

/E ドライバの表示メッセージを英語にします。
 英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

/HA:0
 対象とするホストアダプタの番号を指定します。
 省略した場合、0 (1 枚目) が仮定されます。

実行時の表示例

ASPI マネージャ対応 ハードディスク・MO デバイスドライバ		
REXDISK Ver x.xx yymmdd		
Copyright(C) RATOC System, inc.		
SCSI ID	デバイスタイプ	割り当てドライブ
#1	Hard Disk	F: G:
#6	Removable Media(MO)	H:

Dos

640MB の MO メディアを使用する場合の注意事項

640MB の MO 等の 2K バイト/セクターのリムーバブルメディアを使用する場合で、CONFIG.SYS で SMARTDRV.EXE を組み込んでいる環境では、SMARTDRV.EXE のオプションで「ドライブ名」指定で必ずキャッシュの対象外にしてください。



Dos

8. Windows NT インストール済みにて使用する

Windows NT へのインストール手順を、Windows NT インストール済みのパソコンに REX-PC132 を取り付ける場合で説明します。Server および Workstation は同様に行えます。

本製品添付の Setup Disk を用意してください。

Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加

既に Windows NT がインストールされている環境に REX-PC132 のドライバを組み込む方法を説明します。この作業を進める前に SCSI ボード、SCSI ターミネータ、および Windows NT が正しくインストールされているかを確認してください。

1. パソコンの電源を入れ Windows NT セッションを Administrator のユーザ権限のあるユーザで開始してください。

NT

2. コントロールパネルから [SCSI アダプタ] のアイコンを起動します。

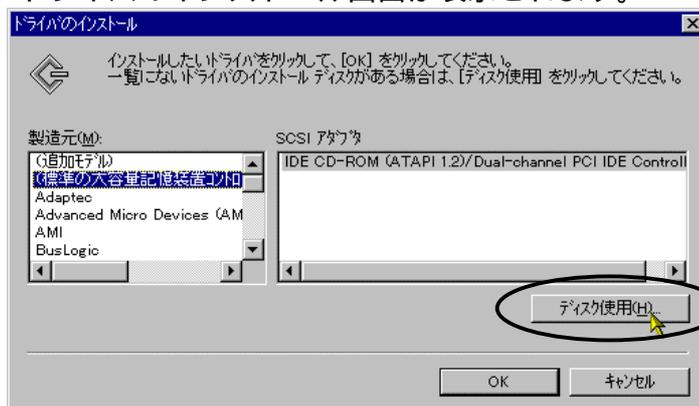


3. SCSI アダプタの画面が表示されます。



[ドライバ]を選択し、
[追加]を選択します。

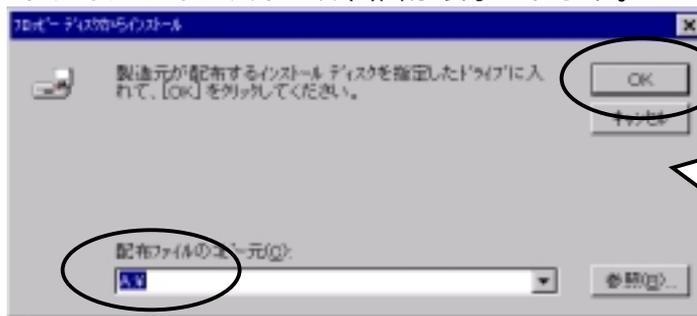
4. ドライバのインストール画面が表示されます。



追加するドライバの一覧
から [ディスクを使用] を
選択します。

第 8 章 Windows NT インストール済みにて使用する

5. ドライバのインストール画面が表示されます。



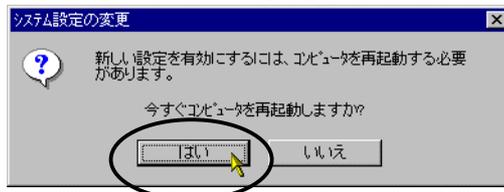
Setup Disk をセットし
[A:¥] と入力します。
セットアップダイアログ
で[OK]を選択します。

6. SCSI アダプタの選択画面になります。



RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter
を選択し、「OK」を押します。

7. ファイルのコピーが完了するとシステム再起動画面になります。

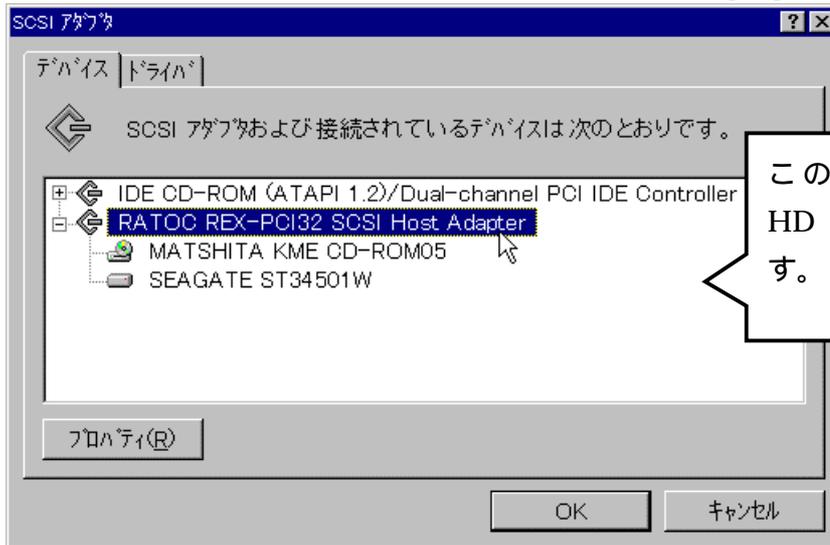


実行中のプログラムがないことを確認し、Setup Disk を抜き再起動してください。

NT

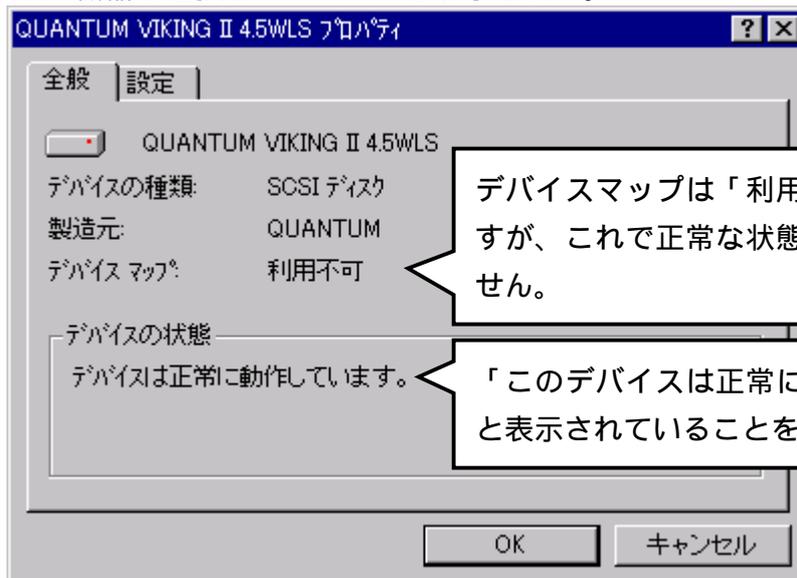
ドライバ起動の確認

システム再起動時、エラーが出ないことを確認してください。
 エラーが出た場合、スタートメニューの管理ツール(共通)のイベントビューワを起動して何がエラーを起こしているか確認してください。
 ここでは、ドライバが正しく動作しているかの確認方法について説明します。
 再起動後、コントロールパネルの SCSI アダプタを再度起動し、[RATOC REX-PCI32 SCSI HOST Adapter]が追加されていることを確認してそれを更にダブルクリックすると接続してある SCSI 機器が表示されます。
 各項目に異常がないか [プロパティ] を押して確認し [OK] を選択します。



NT

SCSI 機器を選択しプロパティを表示します。



第 8 章 Windows NT インストール済みにて使用する

また、システム全体から調査するには、スタートメニューから管理ツールの Windows NT 診断プログラムを起動します。[リソース]のタグで REX-PCI32 が IRQ のどれかに割り当たっていることを確認してください。



REX-PCI32 が表示されていることを確認します。

NT

ドライバの有効/無効の切り替え

資源の衝突等の問題でドライバの起動を一時的に無効にすることができます。

SCSI HD より Windows NT を起動している場合、無効の設定をすると再度 Windows NT が立ち上がらなくなりますので行わないでください。

もし、誤って無効の設定を行ってしまった場合は、Windows NT 起動時のメニューで前回のシステム構成に戻すを選択してください。

1. コントロールパネルの
[デバイス] アイコンを
起動します。



2. デバイスの一覧から REXPCI32 を探します。



3. 状態が [開始] となっていれば、動作しています。

[ハードウェアプロファイル] を選択します。

次に、[無効] を選択します。

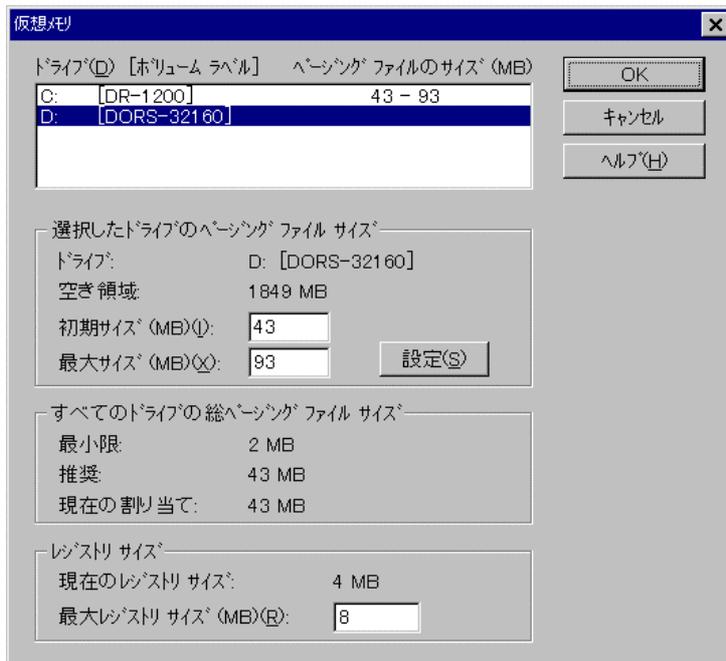
次回システム立ち上がり時、REX-PCI32 は動作しません。

REX-PCI32 と同じ資源を使用する拡張ボードが有効になる可能性があります。

スワップファイルを SCSI ハードディスクに

SCSI ハードディスクより Windows NT4.0 を起動している場合、関係ありません。 EIDE ハードディスクより Windows NT4.0 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

1. マイコンピュータのアイコンを右クリックしプロパティを選択します。
2. システムのプロパティ [パフォーマンス] のタブを選択します。
3. [仮想メモリ] の欄の [変更] を選択します。
4. 仮想メモリの構成を変更します



この例では、C ドライブが EIDE ハードディスクで D ドライブが SCSI ハードディスクです。

D ドライブの構成で初期サイズ、最大サイズを C ドライブと同様の容量を確保するとよいでしょう。

C ドライブの構成は “ なし ” に設定します。

5. システムを再起動してください。
仮想メモリの設定が有効となります。

9. DOS/Windows 3.1で使用する

DOS/Windows 3.1 のインストール手順を SCSI ハードディスクの初期化作業より説明します。

SCSI ハードディスクを御使用頂くと EIDE タイプのハードディスクより、Windows 3.1 の立ち上げ、およびアプリケーションの起動、マルチタスク処理等が快適になります。

DOS システムのインストール

MS-DOSまたはPC-DOSのシステムフロッピーディスクを用意します。

ここでは、例としてIDEハードディスクは接続されてなく、SCSIハードディスクをCドライブとしてここにインストールする場合について説明します。

1. インストールシステムディスクの NO.1 をセットしてシステムリセットしてください。インストーラが立ち上がります。
2. 指示に従って、インストールを行ってください。
インストールの中で FDISK.EXE および FORMAT.EXE が起動されます。
画面の中で、FDISK.EXE で SCSI ハードディスクが参照できれば、基本 DOS 領域の作成を行ってください。できない場合、ハードウェアの接続に問題があります。
接続の確認は、SCSI-BIOS の SCSI コンフィギュレーション <Ctrl + I > を使用して設定の確認ができることを確認してください。
3. SCSI CD-ROM、SCSI MO 等を接続する場合、ASPI マネージャ (ASP950.SYS) をインストールします。また ASPI 対応 CD-ROM ドライバ、ASPI 対応 DISK ドライバをインストールする必要があります。
インストール方法は、後述の「CONFIG.SYS の書き換え」を参照してください。

Dos

CONFIG.SYS の書き換え

本製品添付の SCSI ボード用の各種ドライバを CONFIG.SYS に登録します。
例えば次のような記述を追加します。

```
REM ----REXPC132----  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥ASP950.SYS /L /D  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXCD.SYS /D:MSCD001  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXDISK.SYS
```

Dos

ASP950.SYS

REX-PC132 SCSI ボードの ASPI マネジャ。
パラメタの詳細は ASP950.SYS のパラメタ (P49) を参照願います。

REXCD.SYS

ASPI 仕様の CD-ROM ドライバ (ASPI モジュール)。
パラメタの詳細は REXCD.SYS のパラメタ (P49) を参照願います。

REXDISKW.SYS (REXDISK.SYS)

ASPI 仕様のハードディスク/MO 用ディスクドライバ (ASPI モジュール)。
REXDISK.SYS は Wide SCSI に対応していません。
パラメタの詳細は REXDISK.SYS のパラメタ (P51) を参照願います。

AUTOEXEC.BAT の書き換え

DOS システムの CD-ROM エクステンションを AUTOEXEC.BAT に登録します。
例えば次のような記述を追加します。

```
REM ----REXPC132----  
C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001
```

Windows 3.1 での ASPI モジュールの組み込み方法

1. vaspirex.386 と winaspi.dll を
Windows システムディレクトリ (C:¥Windows¥System) にコピーします。
2. SYSTEM.INI ファイルに次の行を追加します。
[386Enh]セクション
device=vaspirex.386 この行を追加
3. システム再起動します。

第 10 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

ハードディスクのフォーマットを実行します。

書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /MO:[ FD | IBM | NEC ] [ /INIT ]  
[ /LABEL:<ボリュームラベル> ] [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

光磁気ディスク(MO)のフォーマットを実行します。

書式 3 - 区画の確保

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /PAT[<確保容量>] [/Hxx]  
[ /LABEL:<ボリュームラベル> ]  
[ /KNAME[<区画名>] ] [ /SLEEP | /ACTIVE ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクに区画を確保します。

書式 4 - 区画の削除

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /DEL:<区画番号> [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクから区画を削除します。

書式 5 - 区画属性の変更

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] [ /SLEEP:<区画番号> | /ACTIVE:<区画番号> ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

NEC HD形式でフォーマットしたメディアの区画属性を変更します。

SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド

REX-PCI32に接続されているSCSI機器を確認するためのコマンドです。

このプログラムを実行するには、ASPIマネージャが登録されている必要があります。

Wide-SCSI機器を接続の場合、SSCW.EXEをご使用ください。

ID番号15まで順番にスキャンします。

書式

```
SSC [%Adapter_No] [#SCSI_ID]
```

%Adapter_No ホストアダプタ番号を指定します。
 この指定は、REXFMT.EXE と同様です。

#SCSI_ID 対象 SCSI 機器の SCSI-ID 番号を指定します。
 省略時は、ID 番号 0 から 6 まで順番にスキャンして表示します。

Dos

11. Windows 2000でのREX-PCI32のインストール

ここでは、REX-PCI32 Ultra Wide SCSI PCI BoardをWindows2000上で使用するためのドライバ組み込み手順を説明しています。

本書は、日本語版Windows2000 3で確認した内容を基に説明しています。Windows2000 正式版において内容が異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

使用上での制限

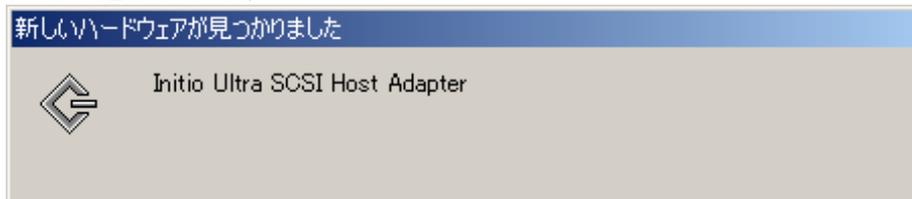
- ・ Device のプロパティにある SCSI プロパティ画面の「タグ付きキューを無効にする」「同期転送を無効にする」を設定しても実際の動作には反映されません。同期転送の設定は、REX-PCI32 の SCSI-BIOS の SCSI コンフィギュレーション「Device Setup」から設定してください。

Win
2000

Initio SCSI Host Adapter としての認識

Windows2000 では、REX-PCI32 が Initio Ultra SCSI Host Adapter として認識され、そのまま自動的にドライバが組み込まれます。

1. 新しいハードウェアとして検出した画面が表示されます。
REX-PCI32 を Initio Ultra SCSI Host Adapter として認識して、ドライバが自動的に読み込まれます。



ドライバインストールの確認

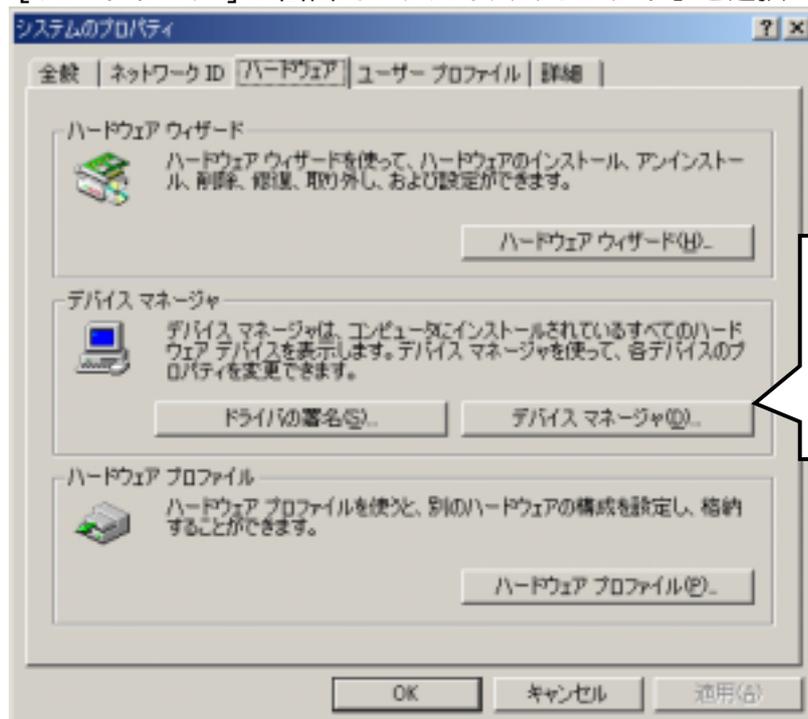
ドライバのインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。
ここでの確認は、パソコン上で REX-PCI32 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。



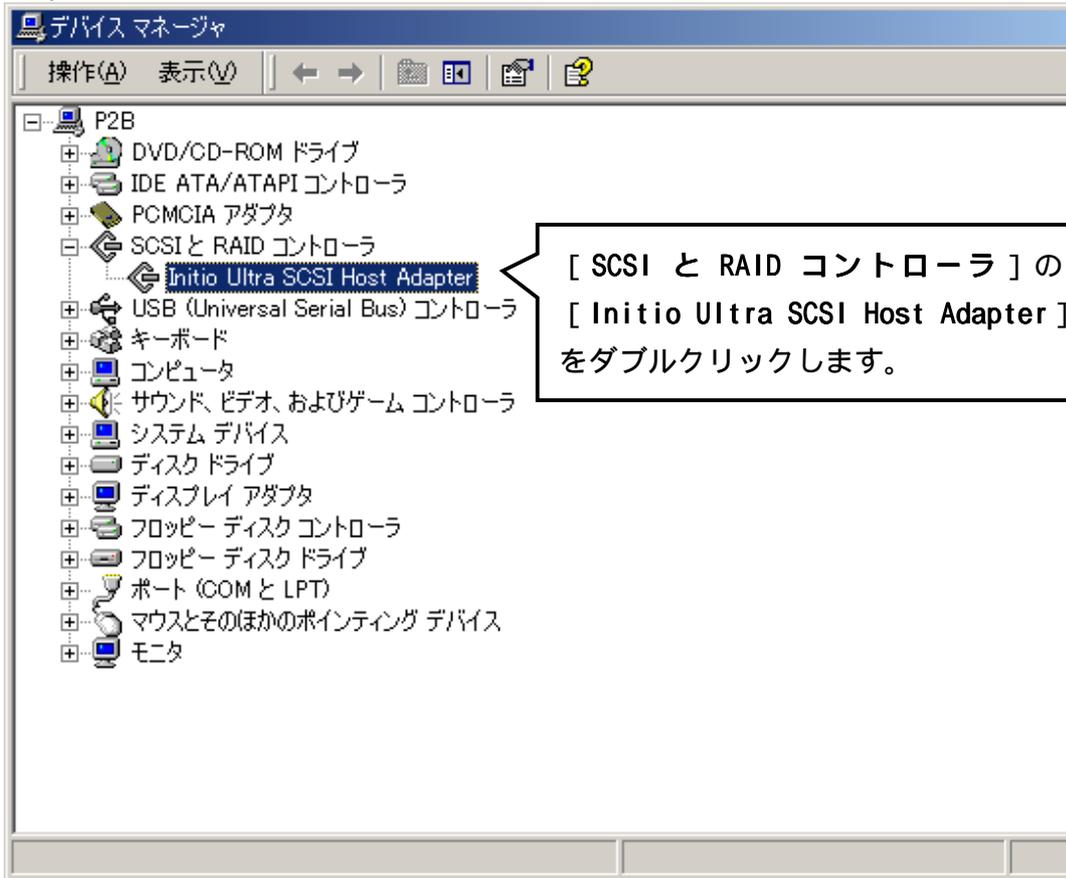
Win
2000

2. [ハードウェア] の画面で「デバイスマネージャ」を選択します。

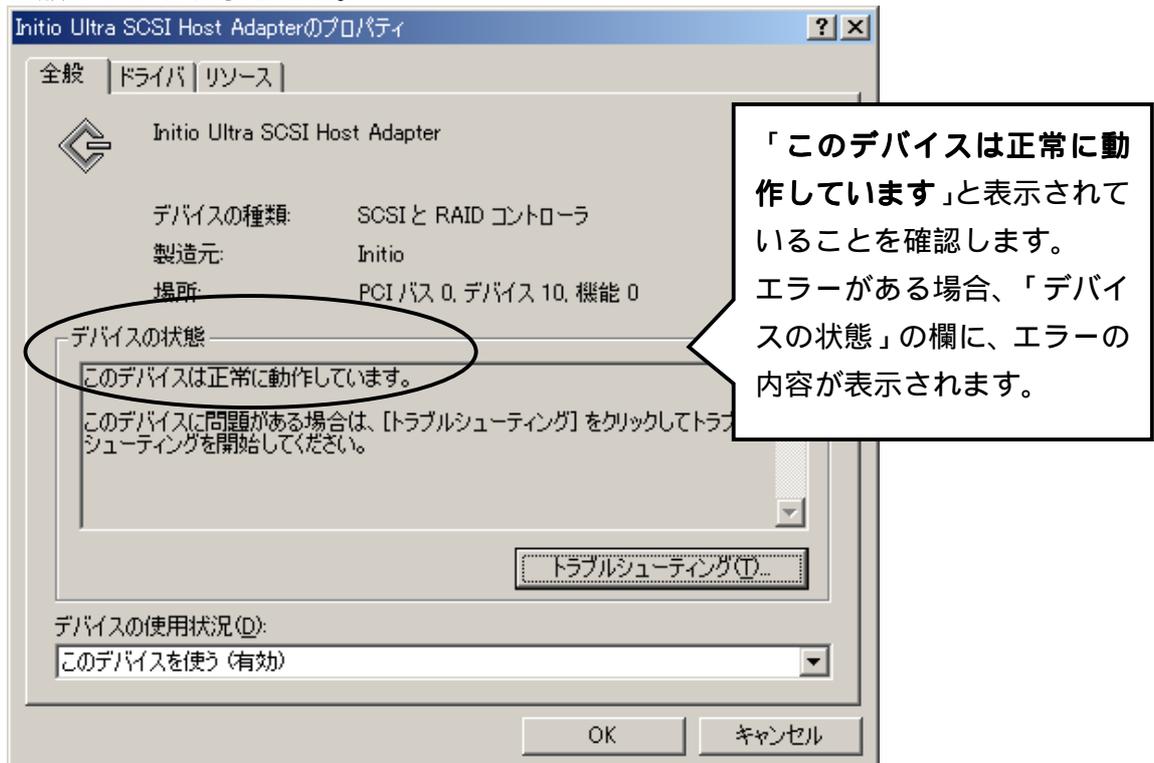


第 11 章 Windows2000 での REX-PCI32 のインストール

3. [SCSI と RAID コントローラ] をダブルクリックし、[Initio Ultra SCSI Host Adapter] と表示されていることを確認して、さらにダブルクリックします。



4. 全般のタブを表示します。

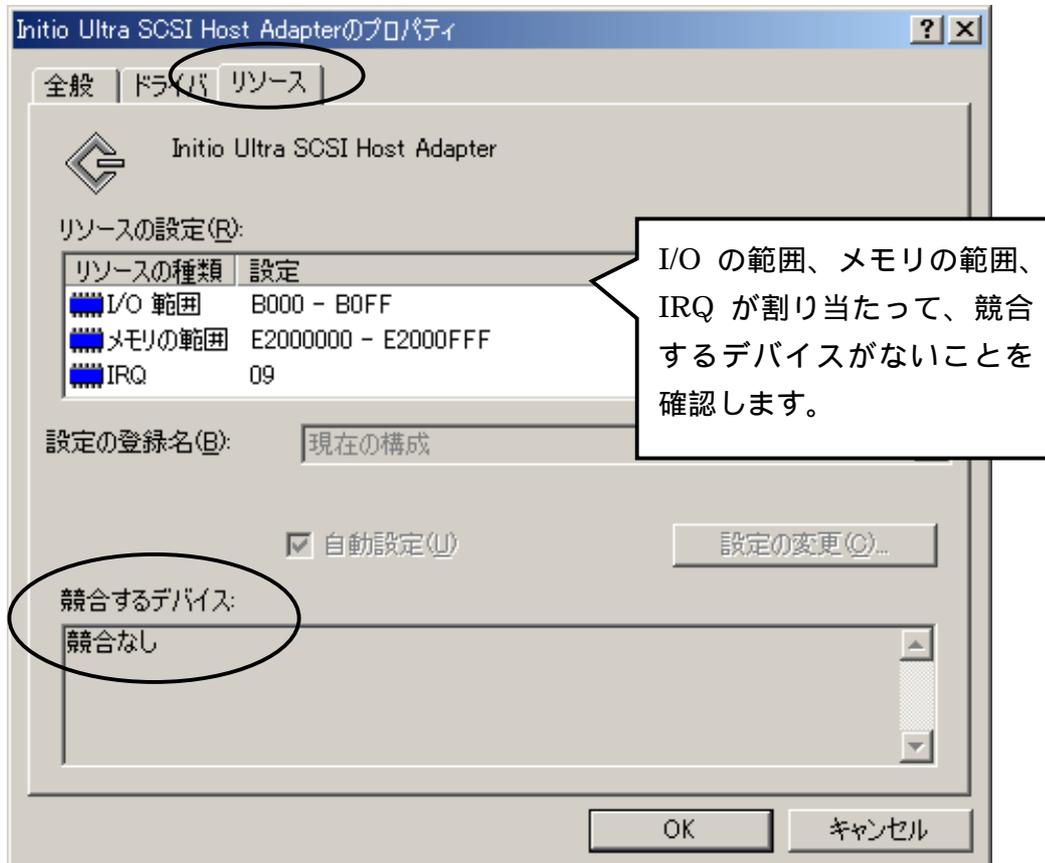


5. ドライバのタブを表示します。



Win
2000

6. リソースのタブを選択します。



以上でドライバインストールの確認は終わりです。

12. 仕様について

この章では、SCSI に関する補足説明を行います。

REXPCI32 SCSI・BUS仕様

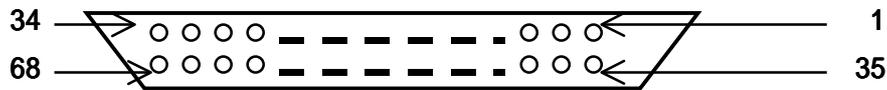
項目	内容
SCSIインターフェイス	Ultra Wide SCSIおよびUltraSCSI シングルエンド データバス幅16ビットおよび8ビット 最大同期転送速度 40MB/Sec (理論値)
インターフェイス	32ビットPCIバス Rev 2.1準拠
データ転送方式	バスマスタ・バースト転送
SCSI内部コネクタ	J1 - 50ピンフラットケーブルタイプコネクタ (2.54ピッチ50Pヘッダ) J2 - 68ピン SCSI-3 Pコネクタ
SCSI外部コネクタ	J4 - ハーフピッチ50ピン (ピンタイプ)
I/Oアドレス	100hバイト xx00h ~ xxFFh PCI BIOSより割り当て
BIOSメモリ	32Kメモリ空間 PCI BIOSより割り当て

REXPCI32 環境仕様

項目	内容
DC電圧	5.0V ± 5%
サイズ	奥行き127mm × 高さ85mm (突起物を除く)
動作保証温度	0 ~ 55 (結露しないこと)
相対湿度	10 ~ 90 (結露しないこと)

J1 接続コネクタ仕様

フラットケーブル用ピンオス PCS-68 LFDT 相当 (内蔵)



信号名	Pin NO	Pin NO	信号名
N/C	1	35	SD12
N/C	2	36	SD13
N/C	3	37	SD14
N/C	4	38	SD15
N/C	5	39	SDP1
N/C	6	40	SD0
N/C	7	41	SD1
N/C	8	42	SD2
N/C	9	43	SD3
N/C	10	44	SD4
N/C	11	45	SD5
N/C	12	46	SD6
N/C	13	47	SD7
N/C	14	48	SDP0
GND	15	49	GND
GND	16	50	GND
TERMP	17	51	TERMP
TERMP	18	52	TERMP
N/C	19	53	N/C
GND	20	54	GND
GND	21	55	ATN-
GND	22	56	GND
GND	23	57	BSY-
GND	24	58	ACK-
GND	25	59	RST-
GND	26	60	MSG-
GND	27	61	SEL-
GND	28	62	CD-
GND	29	63	REQ-
GND	30	64	IO-
N/C	31	65	SD8
N/C	32	66	SD9
N/C	33	67	SD10
N/C	34	68	SD11

13 . トラブルシューティング

REX-PCI32 を使用する場合の主なトラブルシューティングについて説明します。
本製品添付の Setup Disk の README.TXT ファイルにも追加情報がありますのでご覧ください。また、最新の情報については、インターネットの弊社ホームページ上の FAQ (質問と回答) のコーナーをご覧ください。

オペレーティングシステム共通トラブル

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合

Q:

SCSI ボードが起動しません。(SCSI-BIOS スタート画面が表示されない)

A1:

PCI スロットにしっかり装着されていない場合がよくあります。
一度、SCSI ボードを抜いて別の PCI スロットへ差し替えてみてください。

A2:

パソコンメーカーのロゴ画面が表示されていて、SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、ロゴ画面の裏で表示されている場合があります。試しにパソコンメーカーのロゴ画面表示中に [ESC] キーを押してみてください。

A3:

PCI スロットを搭載した初期のパソコンでよく起こります。
これはパソコンが完全にプラグアンドプレイに対応していないために発生します。
パソコンのシステム BIOS の変更を起動 (パソコン起動時に何を押しせば起動できるか表示されています) して PCI スロットの構成変更を行ってください。
そこで、PCI スロットの番号 (REX-PCI32 をセットしたスロット番号) の定義に、割り込み番号を IRQ=11 を、I/O アドレスを FF00H に予約定義してください。
システム BIOS の変更を終了するとき構成を保存してください。

IDE の CD-ROM が使えない場合

Q:

IDE の CD-ROM が使えなくなりました。

A:

使用するパソコンによっては、セカンダリのマスタに接続してある CD-ROM が使えなくなる場合があります。この場合、セカンダリのスレーブに接続するか、プライマリのスレーブに接続を変更してください。

FUJITSU M0(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q:

FUJITSU M0 を採用している古い M0 ドライブを接続するとハングアップします。

A:

FUJITSU M0 を採用している比較的古い M0 ドライブでこのような現象が発生することがあります。

ハングアップする場合、以下の手順で転送速度を 10MB/s に設定してください。

1. REX-PCI32 に接続している SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーション (SmartSCSI) を起動します。
SCSI-BIOS のスタート画面で<Ctrl+I>を押すと SCSI コンフィギュレーションが起動します。
3. FUJITSU M0 に該当する SCSI-ID の「転送方式」の値を 10MB/s に変更します。
4. 設定値を書き込み後、システムを終了してパソコンの電源を切ります。
5. REX-PCI32 に SCSI 機器を接続してパソコンを起動します。

SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合

Q:

REX-PCI32 の起動画面を表示しないようにしたい。

A:

起動画面を表示しないようにできません。必ず表示されます。

表示されない場合、パソコンが REX-PCI32 を認識していません。

SYSTEM-BIOS の種類によっては、表示が崩れる場合もありますが、動作に問題ありません。また、SCSI-BIOS を無効 (Disable) にできますが、非表示にはできません。

REX-PCI32 を装着するとシステム起動が遅くなる場合

Q:

REX-PCI32 を導入する前に比べて、システム起動時間が遅くなりました。

A:

仕様です。システム起動時にパソコンが REX-PCI32 を認識する処理と REX-PCI32 が接続している SCSI 機器を認識する処理が追加されるため、システム起動が 10 秒から 20 秒ほど遅くなります。起動が遅くなる時間がこの範囲であれば正常に動作しています。

PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合

Q:

PC98-NX (Fine を除く) で REX-PCI32 に接続したハードディスクより起動したいのですがどうすればできますか。

A:

DOS/V と同様、内蔵 HD を未接続(プライマリマスタをなし)にして(または取り外して)しまえば可能ですが、内蔵 IDE を D:ドライブとして使用することが可能です。

1. システム起動画面で「F2」を押して BIOS セットアップ画面を表示します。
2. 「起動」のタグより 1. ~ 4. の中に [取外し可能デバイス] があることを確認します。
3. 「ハードディスク」を選択します。 1. に [その他の起動ドライブ] がくるように設定します。
4. 設定を保存してシステム再起動してください。SCSI ハードディスクより起動を開始します。 [起動時のメニュー] が表示されるようになります。Enter を押してください。

Windows98/95 のトラブル

REX-PCI32 のドライバを完全削除するには

Q:

インストールの途中で、Setup Disk からの読み込みを行わず「完了」を押してしまいました。再度、REX-PCI32 を装着しましたが、新しいハードウェアの追加が行われません。

A:

インストールに失敗した場合など REX-PCI32 環境を完全に取り除く方法を説明します。以下の 3 つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- ドライバファイルと INF ファイルの削除
- レジストリの削除

デバイスツリーからの削除

1. コントロールパネルを開きます。
[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。
[システム] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。
[デバイスマネージャ] タグを選択するとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. SCSI BOARD を削除します。
[SCSI コントローラ] の [+] をクリックして [RATO C REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter...] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。
SCSI コントローラにない場合 [その他のデバイス] の [+] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。

ドライバファイルと INF ファイルの削除

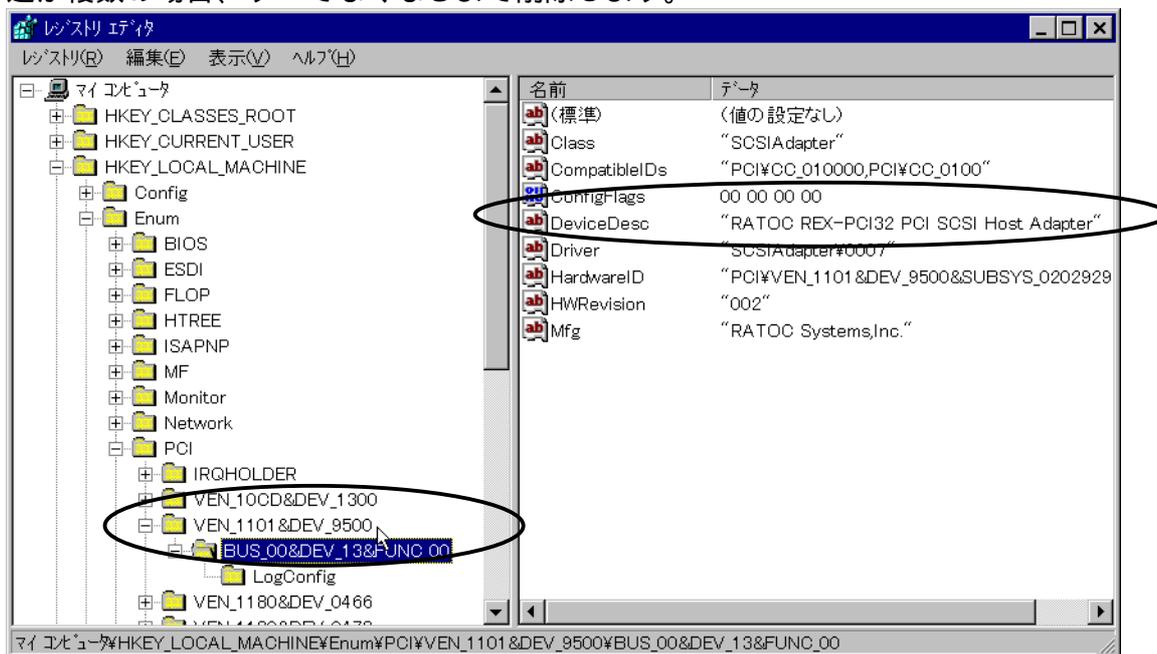
1. [マイコンピュータ] を開き、[表示(V)] - [オプション(O)] にて [すべてのファイルを表示(S)] をチェックします。
2. [スタート] ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。
3. [名前(N):] に「REXPCI32.MPD」と入力します。
4. [探す場所(L):] に Windows 98/95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [検索開始(I)] をクリックします。
6. [REXPCI32.MPD] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常 [Windows\system\iosubsys] ディレクトリにあります。
7. [名前(N):] に「PCI32RATOCREXPCI32.INF」と入力します。

8. [探す場所(L):] に Windows 98/95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [検索開始(I)] をクリックします。
10. [PCI32RATOCREXPCI32.INF] が表示されたら、ファイルを開いて REX-PCI32 の情報ファイルであることを確認します。
そのファイル(PCI32RATOCREXPCI32.INF)を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常[Windows¥inf¥other]ディレクトリにあります。

レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分に注意してください。

1. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. [名前(0):] に「REGEDIT」と入力して [OK] ボタンをクリックします。
3. [HKEY_LOCAL_MACHINE] - [Enum] - [PCI] と順番に開きます。そして、文字列が [RATOC REXPCI32 PCI SCSI Host Adapter] と登録されているか確認します。そのキー (VEN_1101&DEV_9500) を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。



4. 削除したらレジストリエディタを終了します。
これで完全にドライバは削除されました。

Windows 98 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバFD を入手したのだが組み込みには？

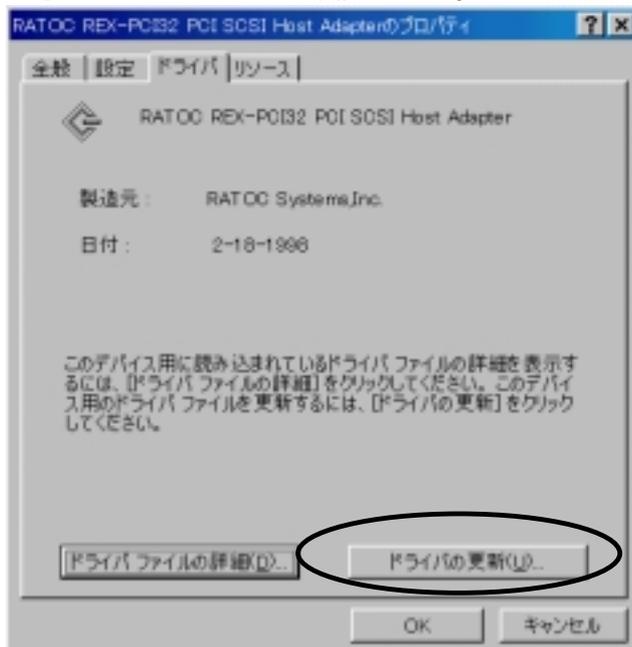
A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI32 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCI32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

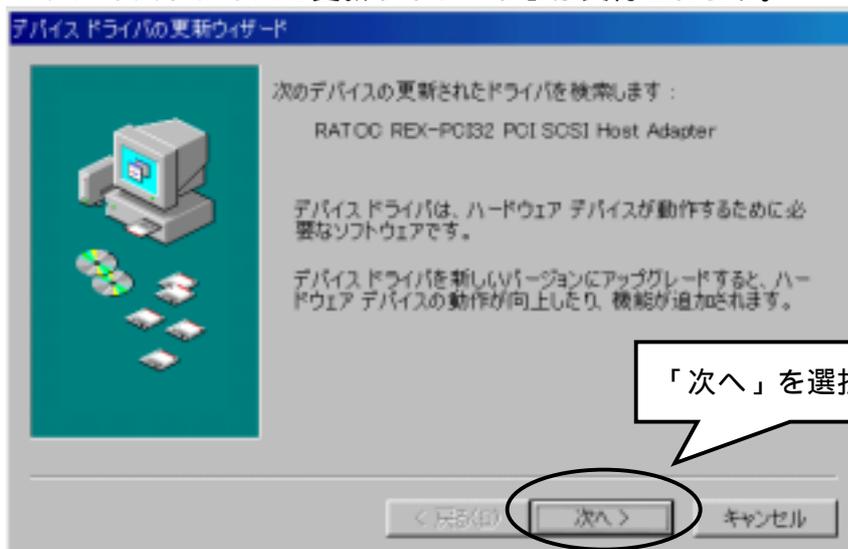
新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。
2. SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter」と表示されていることを確認します。「プロパティ」「ドライバ」を表示します。



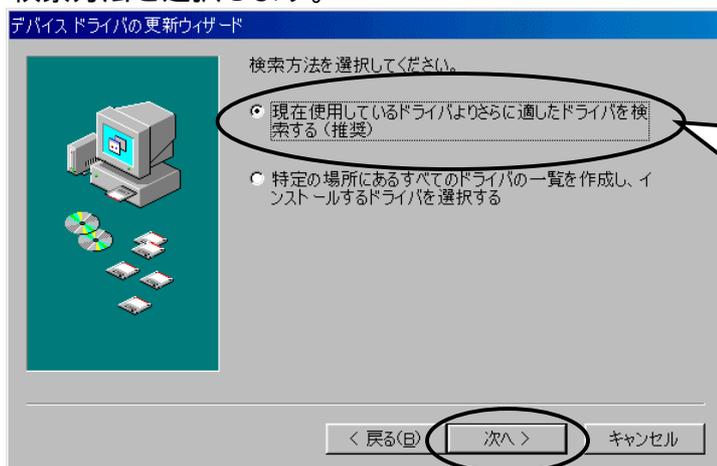
「ドライバの更新」を
押します。

3. 「デバイスドライバの更新ウィザード」が実行されます。



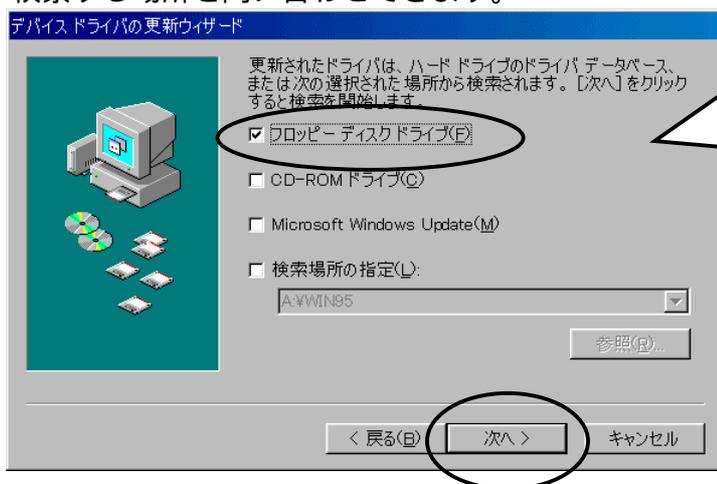
「次へ」を選択します。

4. 検索方法を選択します。



「さらに適したドライバを検索する(推奨)」を選択します。
「次へ」を選択します。

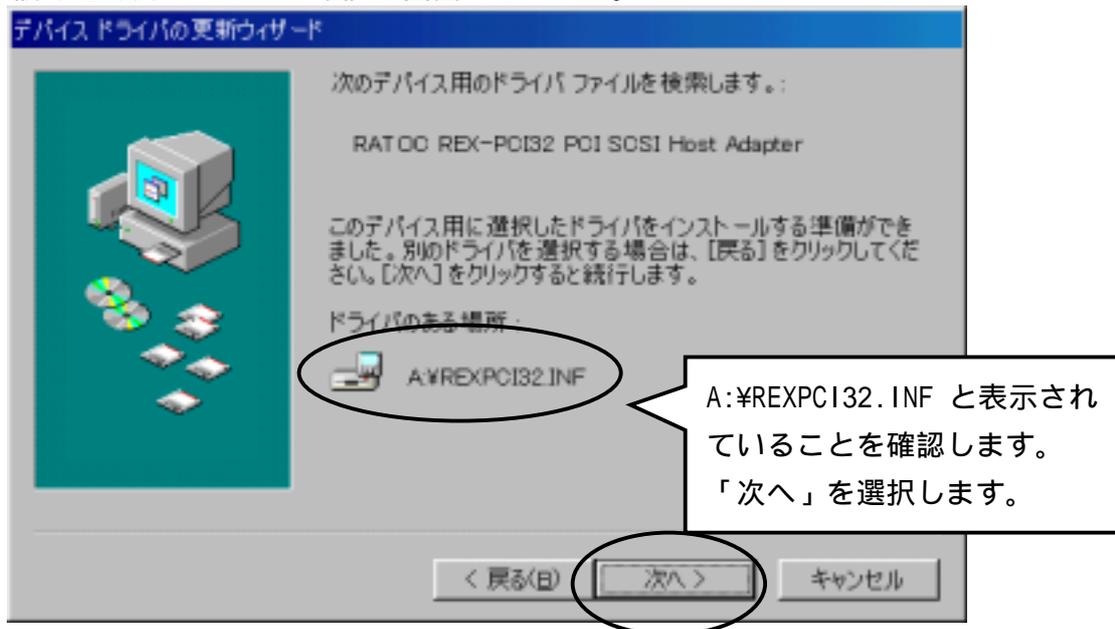
5. 検索する場所を問い合わせてきます。



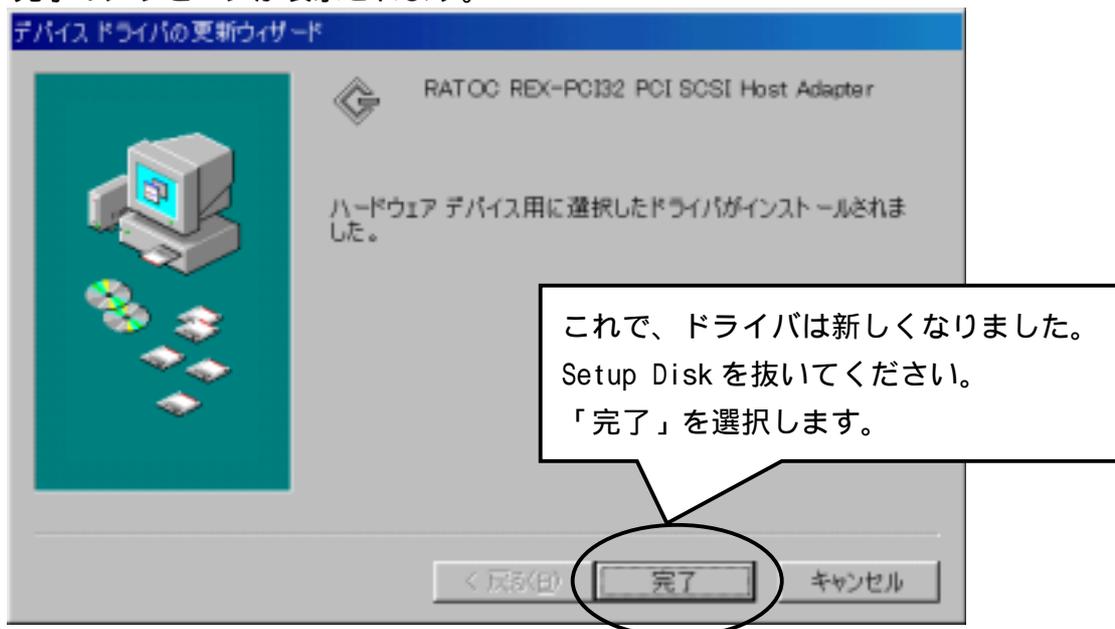
「フロッピーディスクドライブ」を選択し、先ほど作成した新しい Setup Disk をセットします。「次へ」を選択します。

第 13 章トラブルシューティング

6. 読み込み元のドライバ確認の画面になります。



7. 完了のメッセージが表示されます。



更新されたかどうかの確認を行います。

1. 再度ドライバのタグを選択します。
製造元の日付が新しくなっています。
「ドライバファイルの詳細」を選択します。
2. ドライバの詳細が表示されます。
お問い合わせの際、このバージョンをお知らせください。

Windows 95 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバFDを入手したのだが組み込みには？

A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI32 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCI32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。
SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter」と表示されていることを確認します。RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter を選択し、「プロパティ」を表示します。
2. ドライバのタグを表示します。
「ドライバの更新」を押します。
3. デバイスドライバウィザードが開始されます。
新しい Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットして、「自動検出をする」を選択します。
「次へ」を選択します。
4. ドライバ発見のメッセージが表示されます。
このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。と表示されることを確認して、「完了」を選択します。

5. 以下の画面が表示される場合があります。



「OK」を押します。

6. ファイルのコピー元を入力する画面になります。
フロッピーディスクドライブを選択し、「OK」を押します。
コピーが開始され、ドライバの更新が完了します。
Setup Disk を抜いてください。

5.6. については表示されない場合もあります。コピーが開始され、新しいドライバが実行されます。古いドライバに戻す場合、一度ドライバの削除(P74)を行い、以前の Setup Disk を使用して新規インストールしてください。

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合

Q:

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりします。

A:

- ・ SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。
- ・ ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。
- ・ SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内(Ultra の場合)であるか確認してください。
外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。
SCSI 機器の台数を減らしてみてください。
- ・ SCSI 機器台数が多いと自動ターミネータが正しく動作しない場合があります。
SCSI コンフィギュレーションの SCSI-BIOS の設定を実行して手動設定してください。

SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合

Q:

SCSI 機器に対して転送速度を設定したい。

A:

オペレーティングシステムでの設定は、有効となりません。

Windows 98/95 のデバイスマネージャのディスクドライブのプロパティ表示での「同期データ転送」設定は有効となりません。

SCSI-BIOS の設定を使用して、転送方式の項目で該当する SCSI 機器の速度に設定してください。

ドライバがインストールされていないとなる場合

Q:

ドライバのインストールが正しく行われたにも関わらず、プロパティの画面でインストールされていないと表示され黄色の(!)エクスクラメーションマークになります。

A:

SCSI 機器との転送不具合の場合にこのようになります。

一度 SCSI 機器の電源を OFF にして立ち上げます。ドライバのプロパティが正常に動作していますと表示されていることを確認し、システム再起動して SCSI-BIOS の設定から最大同期転送速度を現在の設定値より小さな値に設定してください。

全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合

Q:

コントロールパネルのシステムのプロパティのパフォーマンスを見ると「全体的なシステムのパフォーマンスが低下します」と表示されているのですがどうしてでしょうか。

A:

16 ビット版 ASPI マネージャ (ASP950.SYS) が登録されているためです。
CONFIG.SYS を編集して ASP950.SYS をコメントにしてください。

その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。
ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。ドライバディスクをセットしドライバの場所を選択してインストールします。

その他のデバイスに PCI Bridge として登録される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI Bridge を選択し、削除キーを押してください。
システム再起動により“新しいハードウェア”の画面が表示されます。
後は、本文の記述に従ってインストールしてください。

PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合

Q:

ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示しようとしてありません。

A:

PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。
[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンスモード]を実行してください。
また、レジストリエディタを起動する場合も同様です。

SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q:

REX-PCI32 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A:

Windows NT の場合、ディスクアドミニストレータでドライブ名の変更を行ってください。Windows 95 の場合、システムプロパティで MO, CD-ROM 等はドライブ名の変更ができません。REX-PCI32 の SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」の項目を No : にします (コントロールしない)。

UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合

Q:

Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続ユーティリティ (WinSSC) で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A:

適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

UltraSCSI 対応の機器であってもその SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返す場合は、「SCSI-3」と表示されます。

ほとんどの UltraSCSI ハードディスクは「SCSI-2」を返します。詳細についてはドライブメーカーへお問い合わせください。

不明なデバイスが検出されると表示の場合

Q:

スキャナを接続して REX-PCI32 をインストールすると「不明なデバイスが検出されました」と表示してドライバの読み込みが行われません。

A:

「不明なデバイスが検出されました」の表示は REX-PCI32 に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。スキャナに Windows 98/95 のドライバ (INF) が添付されている場合は、デバイスドライバウィザードで読み込ませてください。添付されていない場合は、「完了」を押してください。次回からこのメッセージは表示されなくなります。詳しくは、スキャナメーカーにお問い合わせください。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が認識されない

Q:

Windows 98/95 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95)にて、接続されている CD-R, CDRW, DVD を認識できません。Windows 98/95 用 SCSI 機器確認ユーティリティでは確認できるのですが。

A:

Windows 98/95 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95)は、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを対象としています。CD-ROM、CD-R、CDRW、DVD は対象としていません。初期化が必要な場合、ドライブメーカーにお問い合わせください。

SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される

Q:

Windows 98/95 用 SCSI 機器確認ユーティリティ (WINSSC)にて、接続されている CD-R, CDRW, MO 等を確認すると、Device Status の欄に「ドライブの準備ができていません」と表示されます。

A:

CD-ROM、CD-R、MO 等の場合、メディアが挿入されていないときには、「ドライブの準備ができていません」と表示されます。これで正常です。メディアを装着し、再度画面表示しますと「Ready」となります。

WindowsNT のトラブル

スキャナを検出できない場合

Q:

スキャナソフトを起動すると、スキャナを検出できないというエラーが表示されて使用できません。

コントロールパネルの SCSI アダプタから確認するとスキャナは認識できています。

A:

Windows NT4.0 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) が組み込まれていない場合に発生します。

REX-PCI32 には、Windows NT4.0 用の ASPI マネージャは添付しておりませんので、市販の Windows NT4.0 用の ASPI マネージャを別途ご用意ください。

ドライブ名が割り当たらない場合

Q:

RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter の下に OLMPUS MOS341 (例) と表示されているが、マイコンピュータにリムーバブルアイコンが表示されません。

A:

D: ドライブに CD-ROM 等のアイコンがあり、それが D: ドライブ固定としてある場合おこります。ドライブ固定の設定を止めるか他のドライブ名を割り当てます。

変更の方法は、ディスクアドミニストレータで CD-ROM を選択状態にして「ドライブ文字の変更」を行います。

SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q:

REX-PCI32 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A:

ディスクアドミニストレータでドライブ名の変更を行ってください。

MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合

Q:

MO または PD をアクセスするとパラメタに誤りがありますと表示されます。

A:

フォーマットすることにより回避できます。以下の方法で行います。

1. 管理ツールのディスクアドミニストレータを起動します。
2. MO の領域が " 空き領域 " になっていることを確認します。それを選択します。
3. 「パーティション」 「作成」を実行し、作成するパーティションサイズを全領域にします。
4. " 空き領域 " が " 未フォーマット " に変わります。
5. 「パーティション」 「今すぐ変更を反映」を実行します。
6. " ディスク構成を変更しました " と表示されます。「保存しますか」で「はい」を選択。
7. " ディスクは正常に更新されました " と表示されます。
8. 「ツール」 「フォーマット」を実行します。「開始」を押します。
9. マイコンピュータからリムーバブルディスクでアクセスが可能になります。

DOS/Windows3.1 のトラブル

PD、Changer の一部が認識できない場合

Q:

DOS/Windows 3.1 で PD の CD-ROM が使用できない。または Changer の 2 枚目以降が使用できない。

A:

ASP950.SYS の /L オプションを付加してください。

「ASP950.SYS Installation Successful」と表示後ハングする場合

Q:

DOS 用 ASPI マネージャ ASP950.SYS の組み込み時、「ASP950.SYS Installation Successful」と表示後、そのままパソコンがハングアップします。

A:

EMM386.EXE Version 4.48 以前を組み込んでいる場合に発生します。Version 4.49 以降へ変更すれば正常に動作します。

Windows98 や Windows95 に標準で含まれている EMM386.EXE は Version 4.49 以降です。また、NIFTY-Serve の FMSPOS (Microsoft POS Users Forum) データライブラリの修正モジュール 10 番 NEWEMM.EXE – EMM386.EXE 修正版からも入手可能です。

ハングアップする原因は、EMM386.EXE の Version 4.48 以前が PCI の 32 ビット Configuration Space へのアクセスをサポートしていないためです。

記入例：RATOC REX-PCI32V 質問用紙（拡大コピーの上ご記入ください）

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名	ラトックシステム株式会社			
	所属・部署				
氏名	ラトック 太郎				
住所	〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル				
TEL	06-6633-8263	FAX	06-6633-8295	E-Mail	xxx@rexpccard.co.jp
製品型番	REX-PCI32V	シリアル番号	PB32xxxxxxx	NIFTY	XXX1234
販売店名	アール・ピー・エス		購入年月日	1999/12/20	

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	自作機 (ASUS P2B-F Pentium 400MHz)
使用 OS	Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows 95 Windows NT4.0 DOS/Windows 3.1
接続 SCSI 機器に関する情報	<p>接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。 拡張 Slot: Slot 1 REX-PCI32V 通常 CPU に近いほうが Slot 1 Slot 2 REX-CBS51</p> <p>ドライバのバージョン REXPCI32.MPD ファイルのプロパティ 2.14 (1998 4 13 9:24)</p> <p>SCSI 構成: WINSICC で表示される ID:0,LUN:0 (HardDisk) IBM DCAS-34330 ID:6,LUN:0 (CD-R) YAMAHA CRW4260</p>

質問内容：

CDR ドライブを増設したら動作が不安定になりました。

今まで正常に動作していた内蔵のハードディスクも不安定になりました。

それぞれ単体で接続した場合には問題ありません。

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT SYSTEM.INI

Win95 デバイスマネージャのシステム概要 ¹ Windows NT 診断プログラムのレポート ²

1 デバイスマネージャのシステム概要 (Windows 95/98 のみ)

- (1) デバイスマネージャから [印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

2 Windows NT 診断プログラムのレポート (Windows NT のみ)

- (1) Windows NT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから [レポートの印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) すべてのタブ、詳細レベル概要を選択して [OK] ボタンを押します。ファイルに出力してメールにて送信できます。

RATOC REX-PC132V 質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名				
	所属・部署				
氏名					
住所	〒				
TEL		FAX		E-Mail	
製品型番	REX-PC132V	シリアル番号		NIFTY	
販売店名			購入年月日		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名			
使用 OS	Windows 98	Windows 98 Second Edition	Windows 95
	Windows NT4.0	DOS/Windows 3.1	
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。		

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT SYSTEM.INI

Win95 デバイスマネージャのシステム概要 ¹ Windows NT 診断プログラムのレポート ²

1 デバイスマネージャのシステム概要 (Windows 95/98 のみ)

- (1) デバイスマネージャから [印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

2 Windows NT 診断プログラムのレポート (Windows NT のみ)

- (1) Windows NT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから [レポートの印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) すべてのタブ、詳細レベル概要を選択して [OK] ボタンを押します。ファイルに出力してメールにて送信できます。